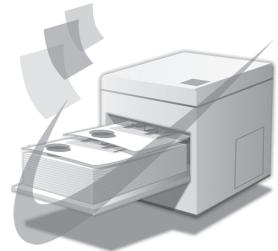


使用説明書

〈プリンター機能編〉



-
- 1 印刷するための準備
 - 2 印刷する
 - 3 蓄積文書の印刷とジョブの管理
 - 4 ファイルを直接印刷する
 - 5 ドキュメントボックスに文書を蓄積して印刷する
 - 6 印刷条件を設定する
 - 7 プリンター初期設定
 - 8 付録
-

ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『本機をお使いになる方へ』「安全上のご注意」をお読みください。

目次

使用説明書の紹介	6
はじめに	8
複製、印刷が禁止されているもの	8
おことわり	8
この本の読みかた	9
正しくお使いいただくために	9
マークについて	9
本書についてのご注意	9
おもなオプションと略称	9
画面について	10
通常画面について	10
簡単画面について	11
1. 印刷するための準備	
接続方法を確認する	13
ネットワーク接続	13
Windows の印刷ポートを使用する	13
プリントサーバーを使用する	14
ローカル接続	15
プリンタードライバーのインストール	16
おすすめインストール	17
各ポート別インストール	19
Standard TCP/IP ポートを使う	19
IPP ポートを使う	21
LPR ポートを使う	23
WSD ポートを使う	25
Network Monitor for Client ポートを使う	28
プリンタードライバーのインストール (TCP/IP)	28
プリンタードライバーのインストール (IPP)	30
Network Monitor for Client ポートの設定を変更する	33
Windows ネットワークプリンターを使う	35
NetWare プリントサーバー、リモートプリンターを使う	37
プリンタードライバーのインストール(NetWare)	37
PostScript で印刷するとき	39

フォームフィードの設定.....	40
バナーページの設定.....	40
プリンターのリセット後に印刷するとき.....	40
USB 接続.....	41
Windows 2000/XP/Vista, Windows Server 2003/2003 R2/2008 と USB で接続する.....	41
Windows 7 で接続する.....	43
パラレル接続.....	45
オプション構成や用紙の設定.....	47
双向通信が働く条件.....	47
双向通信が働いていない場合.....	47
2. 印刷する	
2 種類の操作画面.....	49
プリンタードライバーの設定画面を表示する.....	50
プロパティを表示する.....	50
印刷設定を表示する.....	51
アプリケーションから印刷設定を表示する.....	52
手差しトレイに用紙をセットする.....	53
定形サイズの用紙をセットする.....	54
不定形サイズの用紙をセットする.....	56
トレーシングペーパー、フィルムをセットする.....	58
ロール紙トレイ、カット紙トレイに用紙をセットする.....	60
不定形サイズの用紙をセットする.....	60
印刷範囲.....	63
よく使う印刷.....	64
通常印刷する.....	64
プリンタードライバーで用紙種類を選択する場合.....	66
複数のページを集約して印刷する.....	66
集約印刷の種類.....	67
原稿にイメージや文字をスタンプする.....	70
スタンプを印字する.....	70
ユーザースタンプを印字する.....	72
機密管理ナンバリングや日付印字について.....	74
機密管理印字を使用する.....	74

日付を印字する.....	76
ワンクリック設定を使用する.....	78
製本や仕分けなどをする場合に便利な機能.....	80
それぞれのタブでできる設定.....	80
1ページを複数枚に分けて印刷する（拡大連写）.....	81
部単位で印刷する（ソート）.....	83
ソートの種類.....	83
ソートを行うときの注意事項.....	83
スプール印刷について.....	84
分類コードを登録する.....	86
分類コードの設定.....	87
プリントジョブに分類コードを入力する.....	87
印刷終了後にプリンターのエミュレーションを切り替える.....	89
3. 蓄積文書の印刷とジョブの管理	
文書印刷機能を使用する.....	91
[文書印刷初期画面] を表示する.....	91
文書一覧画面から文書を印刷する.....	96
試し印刷する.....	96
2部目以降を印刷する.....	97
試し印刷文書を消去する.....	99
機密印刷する.....	99
操作部を使って機密印刷する.....	101
機密印刷文書を消去する.....	103
保留文書を印刷する.....	103
操作部を使って保留文書を印刷する.....	104
保留印刷文書を消去する.....	106
保存文書を印刷する.....	106
操作部を使って保存文書を印刷する.....	107
保存文書を消去する.....	109
ユーザーID一覧から文書を印刷する.....	111
文書を選択して印刷する場合.....	111
文書をすべて印刷する場合.....	112
ジョブを管理する.....	115

ジョブ一覧画面.....	115
ジョブの内容を確認する.....	116
ジョブの順序を入れ替える.....	117
ジョブの印刷を保留する.....	117
ジョブを削除する.....	118
ジョブの履歴を確認する.....	119
印刷を中止する.....	120
中止したいデータが印刷されている場合.....	120
中止したいデータが印刷されていない場合.....	121
エラー履歴を確認する.....	122
4. ファイルを直接印刷する	
コマンドを使用して印刷する.....	123
PDF ファイルを送信する.....	123
PDF パスワードを設定する.....	123
5. ドキュメントボックスに文書を蓄積して印刷する	
概要.....	125
Windows で RPCS (標準) をご使用の場合.....	127
RPCS (標準) での設定方法.....	127
RPCS (標準) での設定項目.....	128
Windows で PostScript 3 (オプション) をご使用の場合.....	131
PostScript 3 (オプション) での設定方法.....	131
PostScript 3 (オプション) での設定項目.....	133
Macintosh でご使用の場合.....	135
Mac OS X での設定方法.....	135
Mac OS X での設定項目.....	136
蓄積文書を管理する.....	139
6. 印刷条件を設定する	
印刷条件について.....	141
エミュレーションを切り替える.....	142
印刷条件を設定する.....	143
印刷条件の設定方法.....	143
印刷条件リストを印刷する.....	144
よく使う設定を登録する.....	146

プログラムを登録する	146
プログラムを呼び出す	147
プログラムを削除する	148
プログラムの内容を印刷する	149
給紙トレイを選択する	150

7. プリンター初期設定

初期設定を変更する	151
初期設定の変更	151
初期設定の終了	152
テスト印刷	153
テスト印刷する	154
システム設定リストの見方	155
調整 / 管理	157
システム設定	158
システム設定 (EM)	163
PS 設定	165
PDF 設定	167
インターフェース設定	169
印字設定	170

8. 付録

仕様	173
リサイクル部品について	175
商標	176
索引	179

使用説明書の紹介

本機には紙の使用説明書と画面で見る使用説明書(PDF)が用意されています。画面で見る使用説明書は付属のCD-ROMに収録されています。説明書の開きかたや使いかたについては、『本機をお使いになる方へ』「画面で見る使用説明書の使いかた」を参照してください。

以下は本機で用意されている説明書の一覧です。

本機をお使いになる方へ (img alt="book icon" data-bbox="345 258 365 278")

「安全上のご注意」について記載しています。本機のご利用前に必ずお読みください。

また、本機で使用できる機能の概要、機械を使うための準備、操作部の説明、文字入力方法、付属のCD-ROMのインストール方法、消耗品の交換などについても説明しています。

トラブル解決編 (img alt="book icon" data-bbox="275 366 295 386")

困ったときの対処方法などについて説明しています。

コピー機能&ドキュメントボックス機能編 (img alt="cd-rom icon" data-bbox="485 415 505 435")

コピーを使うための設定、機能と操作方法、原稿の設定方法について説明しています。また、ドキュメントボックスの使用方法についても説明しています。

プリンター機能編 (img alt="cd-rom icon" data-bbox="485 482 505 502")

プリンターを使うための設定、機能と操作方法について説明しています。

スキャナー機能編 (img alt="cd-rom icon" data-bbox="485 530 505 550")

スキャナーを使うための設定、機能と操作方法について説明しています。

ネットワーク&システム初期設定編 (img alt="cd-rom icon" data-bbox="485 578 505 598")

ネットワーク環境で使う方法、機器の接続方法、および付属のCD-ROMに収録されたソフトウェアを使う方法について説明しています。また、システム初期設定の変更方法やアドレス帳の登録方法についても説明しています。

セキュリティー編 (img alt="book icon" data-bbox="305 662 325 682")

管理者向けの説明書です。本機のセキュリティー機能を活用することにより、機器の不正使用、データ改ざん、情報漏洩などを未然に防止することができます。

セキュリティー強化のために、最初に下記の設定を行うことをお勧めします。

- ・機器証明書を導入する
- ・SSLを有効にする
- ・Web Image Monitorで、管理者のユーザー名とパスワードを変更する

詳しくは、『セキュリティー編』「まずははじめに」を参照してください。

セキュリティー強化機能や認証の設定を行うときには必ずお読みください。

PostScript 3 編 (◎)

PostScript 3 エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

RP-GL/2 編 (◎)

RP-GL/2 エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

RTIFF 編 (◎)

RTIFF エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

その他の使用説明書

- クイックガイド (BOOK)

▼ 補足

- PDF 形式の使用説明書をご覧になるには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Reader が必要です。
- 使用説明書の分冊により、提供形態が異なります。
- RPDL エミュレーションについては、販売店にご確認ください。

はじめに

複製、印刷が禁止されているもの

おことわり

本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスしたり本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。

本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社はいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。

この本の読みかた

この説明書の読みかたや、使われているマークについて説明します。

正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『本機をお使いになる方へ』「安全上のご注意」をお読みください。

マークについて

[]

キーとボタンの名称を示します。

『 』

本書以外の分冊名称を示します。

本書についてのご注意

おもなオプションと略称

おもなオプションの名称と、本文中で使用している略称を示します。

商品名	略称
ロール給紙ユニット 1段	1段ロール紙トレイ
ロール給紙ユニット 2段	2段ロール紙トレイ
カセット CT6500	カット紙トレイ
拡張 1284 ボード タイプ B	拡張 1284 ボード
拡張無線 LAN ボード タイプ 7	拡張無線 LAN ボード
GigaBit イーサネットボード タイプ 7	拡張ギガビットイーサネットボード
PS3 カード WG4/WG5	PS3 カード

▼ 補足

- ・ その他のオプションについては『本機をお使いになる方へ』「おもなオプションと略称」を参照してください。

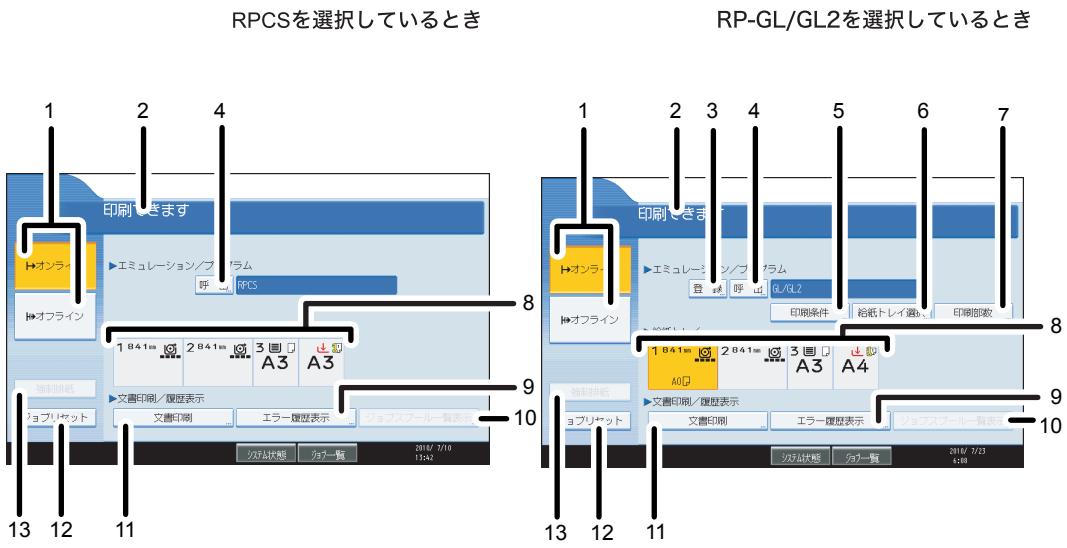
画面について

本機の画面について説明します。

通常画面について

プリンター機能の操作部で表示される画面の構成を、RPCS と RP-GL/GL2 の場合を例として説明します。

表示されているそれぞれの機能項目は、選択キーになっています。軽く押すことによって、項目を選んだり、指定したりできます。



CAT014D

1. オンライン / オフライン

オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。

オンライン状態は、パソコンからのデータを受信し、印刷できる状態です。

オフライン状態は、パソコンからのデータを受信しない状態です。

2. メッセージ表示部

「印刷できます」、「オフライン」、「印刷中です」などの本機の状態を表示します。

また、印刷中はジョブ情報（ユーザー ID および文書名）を表示します。

3. 登録

エミュレーション / プログラムを登録や削除する画面に切り替えます。

4. 呼出

エミュレーションがあるときや登録したプログラムがあるときに、エミュレーション / プログラムを呼び出す画面に切り替えます。

5. 印刷条件

選択しているエミュレーションの印刷条件を設定する画面に切り替えます。

6. 紙トレイ選択

紙トレイを切り替えます。

7. 印刷部数

印刷する部数を設定します。

エミュレーション／プログラムで、RTIFF または RPGL を選択しているときに表示されます。

8. 紙トレイ表示

現在選択されている紙トレイが、反転表示されます。

ただし、エミュレーション／プログラムで RPCS または PS3 などを選択しているときは、反転表示されません。

9. エラー履歴表示

パソコンから指定した通常印刷や、試し印刷／機密印刷／保留文書印刷／保存文書印刷などでエラーが発生したとき、履歴を表示する画面に切り替えます。

10. ジョブスプール一覧表示

スプールされたジョブの状態を表示する画面に切り替えます。

ジョブスプール印刷を有効にすると、半輝度表示されます。

11. 文書印刷

パソコンから指定した通常印刷や、試し印刷文書／機密印刷文書／保留印刷文書／保存文書を印刷する画面に切り替えます。

12. ジョブリセット

印刷している文書の受信データを消去し、印刷を中止します。

オフライン状態でヘキサダンプに設定しているときに押すと、ヘキサダンプを解除します。

13. 強制排紙

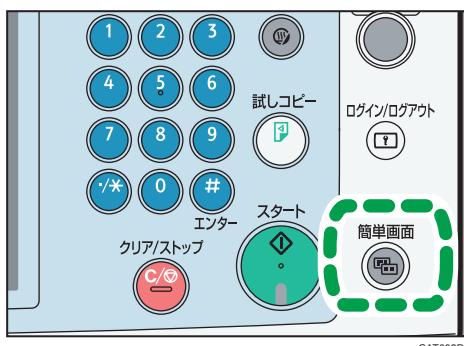
印刷されずに本機内に残っているデータを、強制的に印刷して排紙します。

RPCS のときは、利用できません。

簡単画面について

簡単画面への切り替え方法や、表示されるキーについて説明します。

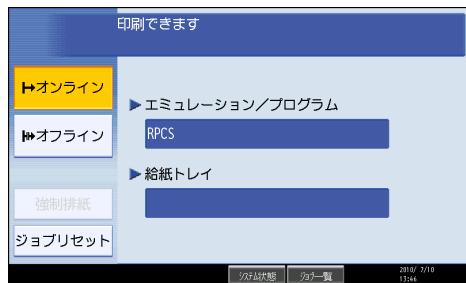
[簡単画面] キーを押すと、プリンター初期画面から簡単画面に切り替わります。



CAT002D

簡単画面とは、おもな機能のみを表示した画面です。

文字サイズとキーサイズが拡大され、より簡単に操作ができます。



↓ 補足

- ・プリンター初期画面に切り替えたいときは、再度 [簡単画面] キーを押してください。
- ・簡単画面では表示されないキーがあります。
- ・簡単画面になっているときは、[簡単画面] キーが点灯します。

1. 印刷するための準備

プリンタードライバーやソフトウェアのインストール方法について説明します。

1

接続方法を確認する

本機は、ネットワーク接続またはローカル接続ができます。プリンタードライバーをインストールする前に、本機をどのように接続したかを確認してください。

ご使用の接続方法でのインストール方法を参照し、プリンタードライバーをインストールしてください。

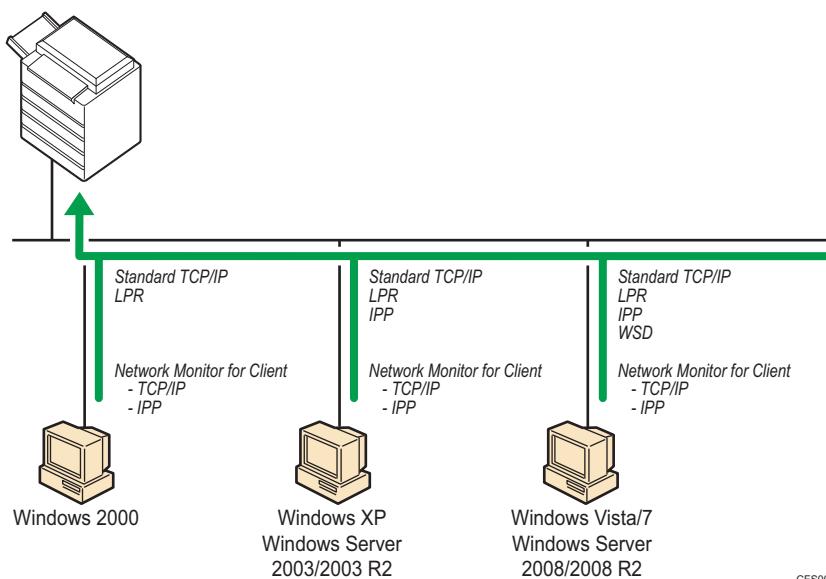
ネットワーク接続

ネットワーク接続でのプリンタードライバーのインストール方法について説明します。

ネットワーク接続では、Windows の印刷ポートを使用して本機へダイレクト印刷（Peer-to-Peer ネットワーク）、またはサーバーを使用してクライアントから印刷するネットワークプリンターとして本機を使用します。

Windows の印刷ポートを使用する

ご使用の Windows によって、使用できるポートが異なります。インターフェースは、イーサネット、無線 LAN を使用します。



CFS006

Windows 2000 の場合

接続方法	使用できるポート
<ul style="list-style-type: none"> • イーサネット • 無線 LAN 	<ul style="list-style-type: none"> • Standard TCP/IP ポート • LPR ポート • Network Monitor for Client ポート

1

Windows XP, Windows Server 2003/2003 R2 の場合

接続方法	使用できるポート
<ul style="list-style-type: none"> • イーサネット • 無線 LAN 	<ul style="list-style-type: none"> • Standard TCP/IP ポート • IPP ポート • LPR ポート • Network Monitor for Client ポート

Windows Vista/7, Windows Server 2008/2008 R2 の場合

接続方法	使用できるポート
<ul style="list-style-type: none"> • イーサネット • 無線 LAN 	<ul style="list-style-type: none"> • Standard TCP/IP ポート • IPP ポート • LPR ポート • WSD ポート • Network Monitor for Client ポート

▼ 補足

- 各ポートごとにプリンタードライバーのインストール方法を記載しています。ご使用のポートの記載を参照してください。
- Windows Server 2008 R2 をご使用の場合、販売店にご確認ください。

▶ 参照

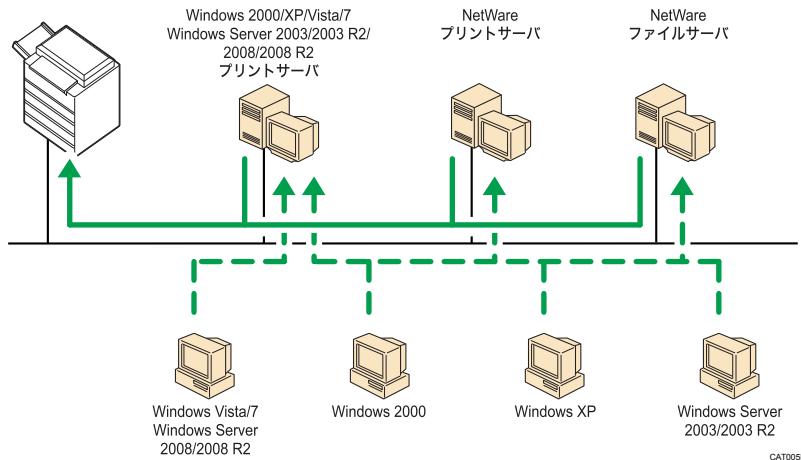
- P.19 「Standard TCP/IP ポートを使う」
- P.21 「IPP ポートを使う」
- P.23 「LPR ポートを使う」
- P.25 「WSD ポートを使う」
- P.28 「Network Monitor for Client ポートを使う」

プリントサーバーを使用する

Windows ネットワークプリンター、NetWare プリントサーバー、または NetWare リモートプリンターとして使用できます。

★ 重要

- IPv6 の環境では、NetWare は使用できません。
- Windows Vista/7 と Windows Server 2008/2008 R2 は IPX/SPX (NetWare) を使用できません。



↓ 補足

- ネットワークプリンターの種類ごとにプリンタードライバーのインストール方法を記載しています。ご使用のネットワークプリンターの記載を参照してください。
- Windows Server 2008 R2 をご使用の場合、販売店にご確認ください。

目 参照

- P.35 「Windows ネットワークプリンターを使う」
- P.37 「NetWare プリントサーバー、リモートプリンターを使う」

ローカル接続

ローカル接続には、USB 接続、パラレル接続があります。

↓ 補足

- USB 接続でのプリンタードライバーのインストール方法については、「USB 接続」を参照してください。
- パラレル接続（オプション）でのプリンタードライバーのインストール方法については、「パラレル接続」を参照してください。

目 参照

- P.41 「USB 接続」
- P.45 「パラレル接続」

プリンタードライバーのインストール

1 印刷するための準備として、プリンタードライバーのインストール方法について説明します。推奨する方法で一括インストールする「おすすめインストール」と、各ポート別にインストールする方法があります。

おすすめインストールについては「おすすめインストール」を、各ポート別のインストール方法については「各ポート別インストール」を、それぞれ参照してください。

プリンタードライバーについて

以下のプリンタードライバーは、販売店にご確認ください。

- Windows XP (64bit)
- Windows Vista (64bit)
- Windows 7 (64bit)
- Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 (64bit)

参照

- P.17 「おすすめインストール」
- P.19 「各ポート別インストール」

おすすめインストール

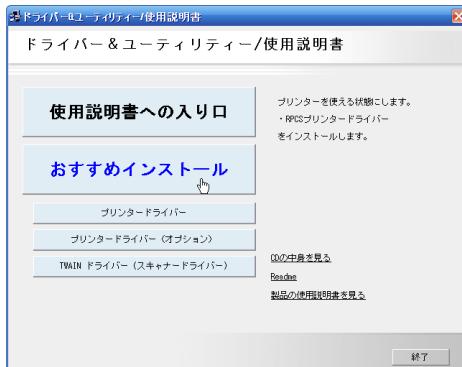
プリンタードライバーのインストールと、本機への接続が簡単に設定できます。

[おすすめインストール] ボタンをクリックすると、本機が TCP/IP を使用しているネットワークに接続されていて、IP アドレスが設定されている場合、RPCS プリンタードライバーをインストールして TCP/IP ポートが設定されます。本機がパラレル接続されている場合は、RPCS プリンタードライバーをインストールして LPT1 ポートが設定されます。

★ 重要

- 本機を USB 接続で使用する場合、おすすめインストールではプリンタードライバーを正しくインストールできません。USB で接続した場合は、「USB 接続」を参照してください。
- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

1. すべてのアプリケーションを終了します。
2. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
インストーラーが起動します。
3. [おすすめインストール] をクリックします。



[使用許諾] ダイアログが表示されます。

4. ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。
5. おすすめインストールをする機種を選択します。

ネットワーク接続の場合、[接続先] に IP アドレスが表示されているプリンターを選択します。

パラレル接続の場合、[接続先] にプリンタポートが表示されているプリンターを選択します。

6. [インストール] をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」というメッセージや、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

7. [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

[再起動の確認] ダイアログが表示された場合は、今すぐ再起動するか、後で再起動するかを選択し、Windows を再起動してください。

8. 最初のウィンドウで [終了] をクリックし、CD-ROM を取り出します。

↓ 補足

- インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。
- パラレル接続で本機とパソコンが双方向通信していない場合、おすすめインストールができません。双方向通信をするためには条件が必要です。詳細は、「オプション構成や用紙の設定」を参照してください。

目 参照

- P.41 「USB 接続」
- P.47 「オプション構成や用紙の設定」

各ポート別インストール

さまざまなポートを使用して印刷を行う場合の、RPCS プリンタードライバーのインストール方法について説明します。

Standard TCP/IP ポートを使う

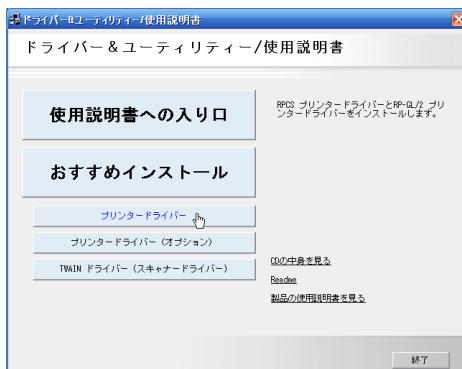
Standard TCP/IP ポートを使用する場合の、インストール方法について説明します。

ここでは Windows XP を例に説明します。

★ 重要

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- IPv6 の環境では Standard TCP/IP ポートは使用できません。IPv6 の環境で使用する場合は、Network Monitor for Client ポートを使用してください。

- すべてのアプリケーションを終了します。
- 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
インストーラーが起動します。
- [プリンタードライバー] をクリックします。



- [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。
- [プリンタードライバーの導入] ダイアログで、インストールするプリンタードライバーにチェックをします。

6. インストールするプリンタードライバーをダブルクリックし、プリンターの設定を開します。

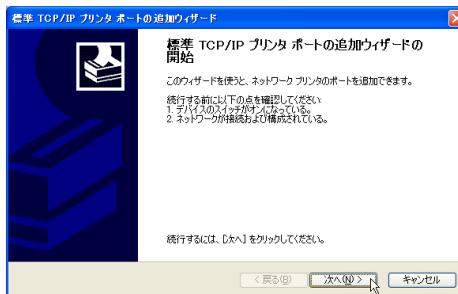
[コメント:]、[ドライバー:]、[ポート:] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7. [ポート:] を選択し、[ポートの設定の変更] にある [追加] をクリックします。

8. 「Standard TCP/IP Port」を選択し、[OK] をクリックします。

「Standard TCP/IP Port」が表示されない場合は、Windows のヘルプを参照して Standard TCP/IP の設定をしてください。

9. 「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」の開始画面で、[次へ] をクリックします。



10. [プリンタ名または IP アドレス] ボックスにプリンターナー名または本機のアドレスを入力し、[次へ] をクリックします。

[ポート名] ボックスには自動的にポート名が入力されます。必要があれば変更してください。

11. 「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」の完了画面で、[完了] をクリックします。

プリンタードライバーの導入画面に戻ります。

[ポート:] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

12. 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

[ユーザーコード:] をクリックして選択します。

入力できるのは、半角数字最大 8 衔です。英字や記号はご使用になれません。

13. 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

14. [完了] をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」というメッセージや、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

15. [プリンタードライバーの導入] ダイアログに戻り、[完了] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

16. [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

[再起動の確認] ダイアログが表示された場合は、今すぐ再起動するか、後で再起動するかを選択し、Windows を再起動してください。

17. 最初のウィンドウで [終了] をクリックし、CD-ROM を取り出します。

補足

- インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、『トラブル解決編』「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してください。

IPP ポートを使う

IPP を使用する場合の、インストール方法について説明します。

ここでは Windows XP を例に説明します。

重要

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- IPv6 の環境では、IPP ポートは使用できません。Network Monitor for Client ポートをお使いください。
- Windows 2000 をお使いの場合、IPP ポートは使用できません。IPP プロトコルを使用して印刷をする場合は、Network Monitor for Client が必要です。Network Monitor for Client をご利用の場合は、販売店にご確認ください。Network Monitor for Client で IPP プロトコルを指定して、ドライバーをインストールする方法については、「プリンタードライバーのインストール (IPP)」を参照してください。
- Windows Vista または Windows Server 2008 で IPP-SSL を利用して本機で印刷する場合は、認証局証明書をインストールする必要があります。詳細については、管理者に問い合わせてください。
- 中間証明書が必要な認証局証明書を本機に導入した場合、クライアント PC に中間証明書を導入しないと認証局証明書の検証が正しく行われないため、警告画面が表示さ

れインストール出来ません。クライアント PC から正しく認証局証明書を検証できるようにするため、中間証明書をクライアント PC に導入して、再度接続しなおしてください。

- 1 ① 本機には、中間証明書を導入することができません。
② IPP-SSL で印刷する場合、Network Monitor for Client ポートをお使いください。

1. すべてのアプリケーションを終了します。
2. [スタート] ボタンから [プリンタと FAX] をクリックし、[プリンタのインストール] をクリックします。
3. [次へ] をクリックします。
4. [プリンタの追加ウィザード] で [ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。
5. [インターネット上または自宅/会社のネットワーク上のプリンタに接続する] を選択します。
[URL:] に「`http://` (本機の IP アドレス) /printer (または `ipp`)」を入力します。
6. [次へ] をクリックします。
7. [ディスク使用...] をクリックします。
8. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
[自動再生] ダイアログが表示された場合は、[クローズ] ボタンをクリックして次の手順に進みます。
9. [参照] をクリックし、プリンタードライバーの場所を指定します。

INF ファイルを選択します。

インストールするプリンタードライバーの収録フォルダは、CD-ROM ドライブが D: の場合「`D:\DRIVERS\RPCS\XP_VISTA\DISK1`」です。

10. [開く] をクリックします。
11. [OK] をクリックします。
12. [プリンタの追加ウィザード] でインストールするプリンタードライバーを選択し、[OK] をクリックします。
プリンタードライバーがインストールされます。
インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」というメッセージや、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。
13. 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定し、[次へ] をクリックします。

14. [完了] をクリックします。

インストールが正常に完了した場合、IPP ポートに接続されたプリンターのアイコンが [プリンタと FAX] ウィンドウに追加されます。

15. 付属の CD-ROM のウィンドウで [終了] をクリックし、CD-ROM を取り出します。

参照

- P.30 「プリンタードライバーのインストール (IPP)」

LPR ポートを使う

LPR ポートを使用する場合の、インストール方法について説明します。

ここでは Windows XP を例に説明します。

重要

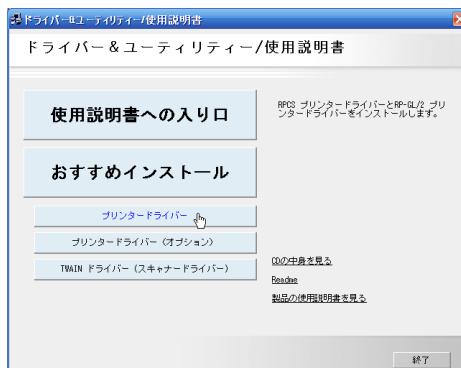
- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

1. すべてのアプリケーションを終了します。

2. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

3. [プリンタードライバー] をクリックします。



4. [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。

5. [プリンタードライバーの導入] ダイアログで、インストールするプリンタードライバーにチェックをします。

6. インストールするプリンタードライバーをダブルクリックし、プリンターの設定を開します。

[コメント:]、[ドライバー:]、[ポート:] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7. [ポート:] を選択し、[ポートの設定の変更] にある [追加] をクリックします。

8. 「LPR Port」を選択し、[OK] をクリックします。

「LPR Port」が表示されない場合は、Windows のヘルプを参照して LPR ポートを組み込んでください。

9. [LPD を提供しているサーバーの名前またはアドレス:] ボックスに、本機のアドレスを入力します。

10. [サーバーのプリンタ名または印刷キュー:] ボックスに「Ip」と入力し、[OK] をクリックします。

ポートが追加されます。

[ポート:] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

11. 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

[ユーザーコード:] をクリックして選択します。

入力できるのは、半角数字最大 8 衡です。英字や記号はご使用になれません。

12. 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

13. [完了] をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」というメッセージや、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

14. [プリンタードライバーの導入] ダイアログに戻り、[完了] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

15. [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

[再起動の確認] ダイアログが表示された場合は、今すぐ再起動するか、後で再起動するかを選択し、Windows を再起動してください。

16. 最初のウィンドウで [終了] をクリックし、CD-ROM を取り出します。

↓ 補足

- インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。

- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、『トラブル解決編』「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してください。

WSD ポートを使う

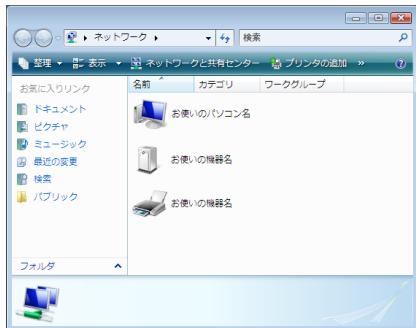
WSD ポートを使用する場合の、インストール方法について説明します。

★ 重要

- Windows Vista/7 と Windows Server 2008/2008 R2 の場合でご使用いただけます。
- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- 本機とパソコンが異なるネットワークセグメントに接続されている場合や、Windows Vista の「ネットワーク探索」が無効になっている場合、本機を検出できません。詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。

Windows Vista, Windows Server 2008 の場合

1. すべてのアプリケーションを終了します。
2. [スタート] ボタンをクリックし、[ネットワーク] をクリックします。
[ネットワーク] ウィンドウが表示され、機器の検索が自動的に始まります。



3. 本機のプリンターアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [インストール] をクリックします。
[ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示された場合は [続行] をクリックします。
[新しいハードウェアが見つかりました] ダイアログが表示されます。

4. [ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）] をクリックします。

[ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示された場合は [続行] をクリックします。

1 [新しいハードウェアの検出] 画面が表示されます。

5. [コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）] をクリックします。

6. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

[自動再生] ダイアログが表示された場合は、[クローズ] ボタンをクリックして次の手順に進みます。

7. [参照] をクリックし、プリンタードライバーの場所を指定します。

インストールするプリンタードライバーの収録フォルダは、CD-ROM ドライブが D: の場合 「D:¥DRIVERS¥RPCS¥XP_VISTA¥DISK1」 です。

8. [次へ] をクリックします。

インストールの途中で [ドライバソフトウェアの発行元を検証できません] というメッセージが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックします。

9. [閉じる] をクリックします。

インストールが正常に終了すると、「WSD」から始まるポートを [印刷するポート] に指定したプリンターが [プリンタ] ウィンドウに作成されます。

10. 付属の CD-ROM のウィンドウで [終了] をクリックし、CD-ROM を取り出します。

↓ 補足

- ・「WSD」に続くポート名は不特定の文字列になります。任意に変更できません。
- ・インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。再度インストールを行う場合は、[ネットワーク] ウィンドウで本機のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [アンインストール] を実行してください。

Windows 7 の場合

1. すべてのアプリケーションを終了します。

2. [スタート] ボタンをクリックし、[コンピューター] をクリックします。

3. [ネットワーク] をクリックします。

[ネットワーク] ウィンドウが表示され、機器の検索が自動的に始まります。

4. 本機のプリンターアイコンを右クリックし、表示されたメニューから【インストール】をクリックします。

[デバイス ドライバー ソフトウェアは正しくインストールされませんでした] ダイアログが表示された場合はメッセージを閉じて、次の手順に進みます。

5. [スタート] ボタンをクリックし、[デバイスとプリンター] をクリックします。

6. [プリンターの追加] をクリックします。

7. [ローカルプリンターを追加します] をクリックします。

8. [既存のポートを使用:] が選択されていることを確認して、WSD ポートを選択します。

9. [次へ] をクリックします。

10. [ディスク使用...] をクリックします。

11. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

[自動再生] ダイアログが表示された場合は、[クローズ] ボタンをクリックして次の手順に進みます。

12. [参照] をクリックし、プリンタードライバーの場所を指定します。

インストールするプリンタードライバーの収録フォルダは、CD-ROM ドライブが D: の場合「D:\DRIVERS\RPCS\XP_VISTA\DISK1」です。

13. [OK] をクリックします。

14. インストールしたいプリンターを選んで、[次へ] をクリックします。

15. 画面の指示に従ってインストールします。

必要に応じて、プリンターの名前、プリンターの共有、通常使うプリンターの設定、テストページを印刷するかどうかの設定をします。

16. [完了] をクリックします。

インストールが正常に終了すると、「WSD」から始まるポートを [印刷するポート] に指定したプリンターが [デバイスとプリンター] ウィンドウに作成されます。

17. 付属の CD-ROM のウィンドウで [終了] をクリックし、CD-ROM を取り出します。

↓ 補足

- ・「WSD」に続くポート名は不特定の文字列になります。任意に変更できません。
- ・インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。再度インストールを行う場合は、[ネットワーク] ウィンドウで本機のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [アンインストール] を実行してください。

Network Monitor for Client ポートを使う

Network Monitor for Client ポートを使用する方法について説明します。

1

Network Monitor for Client ポートを使うには、Network Monitor for Client が必要です。Network Monitor for Client をご利用の場合は、販売店にご確認ください。

★ 重要

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- Network Monitor for Client ポートを使う場合、プリンタードライバーをインストールする前に Network Monitor for Client をインストールします。

プリンタードライバーのインストール (TCP/IP)

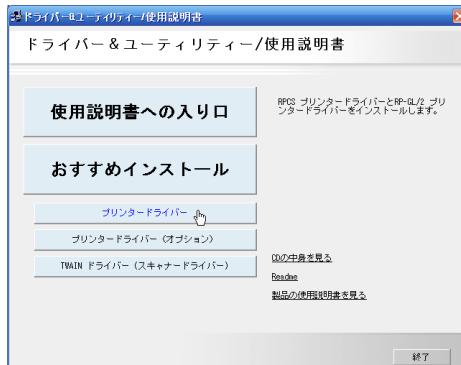
TCP/IP を使用する場合の、インストール方法について説明します。

ここでは Windows XP を例に説明します。

★ 重要

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

- すべてのアプリケーションを終了します。
- 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
インストーラーが起動します。
- [プリンタードライバー] をクリックします。



- [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。

5. [プリンタードライバーの導入] ダイアログで、インストールするプリンタードライバーにチェックします。

6. インストールするプリンタードライバーをダブルクリックし、プリンターの設定を開きます。

[コメント:]、[ドライバー:]、[ポート:] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7. [ポート:] を選択し、['ポート'の設定の変更] にある [追加] をクリックします。

8. 「Network Monitor for Client」を選択し、[OK] をクリックします。

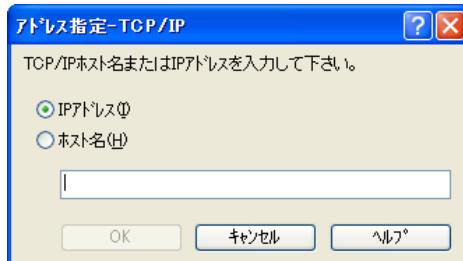
9. [プロトコル選択] から [TCP/IP] を選択します。

10. [機器検索] をクリックします。

TCP/IP プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

11. 使用するプリンターを選択します。

コンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定] をクリックします。本機のアドレスまたはホスト名を直接入力し、[OK] をクリックしてください。



12. [OK] をクリックします。

ポートの追加ダイアログが閉じます。

プリンタードライバーの導入画面に戻ります。

[ポート:] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

13. 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

[ユーザーコード:] をクリックして選択します。

入力できるのは、半角数字最大 8 行です。英字や記号はご使用になれません。

14. 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

15. [完了] をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」というメッセージや、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

16. [プリンタードライバーの導入] ダイアログに戻り、[完了] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

17. [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

[再起動の確認] ダイアログが表示された場合は、今すぐ再起動するか、後で再起動するかを選択し、Windows を再起動してください。

18. 最初のウィンドウで [終了] をクリックし、CD-ROM を取り出します。

補足

- インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、『トラブル解決編』「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してください。

プリンタードライバーのインストール (IPP)

IPP を使用する場合の、インストール方法について説明します。

ここでは Windows XP を例に説明します。

重要

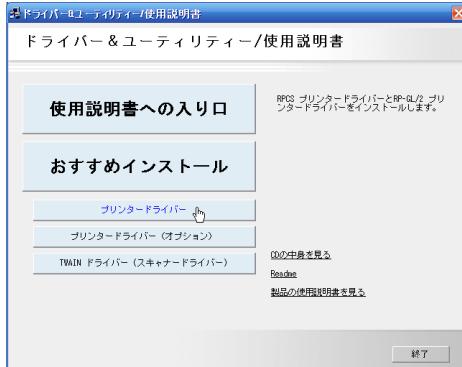
- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

1. すべてのアプリケーションを終了します。

2. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

3. [プリンタードライバー] をクリックします。



1

4. [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。
5. [プリンタードライバーの導入] ダイアログで、インストールするプリンタードライバーにチェックをします。
6. インストールするプリンタードライバーをダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。
[コメント:]、[ドライバー:]、[ポート:] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。
7. [ポート:] を選択し、['ポート'の設定の変更] にある [追加] をクリックします。
8. 「Network Monitor for Client」を選択し、[OK] をクリックします。
9. [プロトコル選択] から [IPP] を選択します。
10. [プリンタの URL] に 「http:// (本機のアドレス) /printer」 または 「http:// (本機のアドレス) /ipp」 を入力します。
SSL (暗号化通信) の設定を有効にしている場合、「https:// (本機のアドレス) / printer」と入力します。この場合、ご使用のパソコンに Internet Explorer がインストールされている必要があります。最新のバージョンをお使いください。Internet Explorer6.0 以降を推奨します。
11. 必要に応じて [IPP ポート名] にプリンターを区別するための名前を入力します。すでにある他の IPP ポート名と違う名前を入力してください。
入力を省略すると、[プリンタの URL] に入力したアドレスが IPP ポート名に設定されます。
12. プロキシサーバーや IPP ユーザー名などの設定を行う場合は、[詳細設定] をクリックし、必要な項目を設定し、[OK] をクリックします。
詳しい設定項目については、Network Monitor for Client のヘルプを参照してください。

13. [OK] をクリックします。

ポートの追加ダイアログが閉じます。

プリンタードライバーの導入画面に戻ります。

[ポート:] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

14. 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

[ユーザーコード:] をクリックして選択します。

入力できるのは、半角数字最大 8 衔です。英字や記号はご使用になれません。

15. 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

16. [完了] をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」というメッセージや、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

17. [プリンタードライバーの導入] ダイアログに戻り、[完了] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

18. [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

[再起動の確認] ダイアログが表示された場合は、今すぐ再起動するか、後で再起動するかを選択し、Windows を再起動してください。

19. 最初のウィンドウで [終了] をクリックし、CD-ROM を取り出します。

↓ 補足

- インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。
- ユーザーコードを設定しておくと、ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができます。Network Monitor for Admin で確認できます。詳しくは、Network Monitor for Admin のヘルプを参照してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、『トラブル解決編』「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してください。

Network Monitor for Client ポートの設定を変更する

TCP/IP のタイムアウト、代行印刷や並行印刷、プリンターグループなど、Network Monitor for Client の設定を変更できます。

1

Windows 2000 の場合

1. [スタート] ボタンから [設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。
[プリンタ] ウィンドウが表示されます。
2. 印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。
3. [ポート] タブをクリックし、[ポートの構成] をクリックします。
ポートの設定画面が表示されます。

Windows XP, Windows Server 2003/2003 R2 の場合

1. [スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックし、[プリンタと FAX] をクリックします。
[プリンタと FAX] ウィンドウが表示されます。
2. 印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。
3. [ポート] タブをクリックし、[ポートの構成] をクリックします。
ポートの設定画面が表示されます。

Windows Vista, Windows Server 2008 の場合

1. [スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックし、[ハードウェアとサウンド] カテゴリーから [プリンタ] をクリックします。
[プリンタ] ウィンドウが表示されます。
2. 印刷するプリンターのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックします。
3. [ポート] タブをクリックし、[ポートの構成] をクリックします。
ポートの設定画面が表示されます。

Windows 7, Windows Server 2008 R2 の場合

1. [スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。
[デバイスとプリンター] ウィンドウが表示されます。

2. 印刷するプリンターのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから
[プリンターのプロパティ] をクリックします。

3. [ポート] タブをクリックし、[ポートの構成] をクリックします。
ポートの設定画面が表示されます。

1

↓ 補足

- 印刷通知、代行印刷 / 並行印刷の設定は拡張機能設定で行います。設定は Network Monitor for Client ポートで TCP/IP の場合に有効となります。拡張機能設定を行うには、Network Monitor for Client が起動している状態でタスクトレイの Network Monitor for Client アイコンを右クリックします。[プロパティ] をポイントし、表示されたメニューから [拡張機能設定] を選択してください。
- [代行印刷 / 並行印刷] はポート毎に設定できます。設定を行うには、Network Monitor for Client が起動している状態でタスクトレイの Network Monitor for Client アイコンを右クリックします。[プロパティ] をポイントし、表示されたメニューから [拡張機能設定] を選択して [代行 / 並行印刷をポート毎に設定する] にチェックを付けます。
- IPP の場合、IPP ユーザー設定、プロキシ設定、タイムアウト設定ができます。
- 設定方法については、Network Monitor for Client のヘルプを参照してください。

Windows ネットワークプリンターを使う

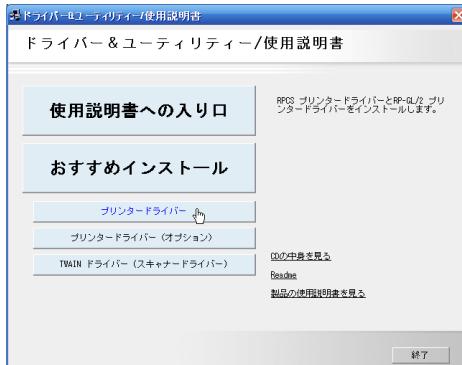
Windows ネットワークプリンターを使う場合は、RPCS プリンタードライバーを「ネットワークプリンタ」を指定してインストールし、Windows ネットワーク上の共有プリンターを選択します。

ここでは Windows XP を例に説明します。

★ 重要

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- Network Monitor for Client ポートで本機を接続しているネットワークプリンターをご使用の場合、クライアントからの代行印刷、並行印刷できません。
- Windows XP/Vista/7、Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 の共有プリンターの場合、クライアントに印刷通知が行われない場合があります。

- すべてのアプリケーションを終了します。
- 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
インストーラーが起動します。
- [プリンタードライバー] をクリックします。



- [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。
- [プリンタードライバーの導入] ダイアログで、インストールするプリンタードライバーにチェックをします。
- インストールするプリンタードライバーをダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。
[コメント:]、[ドライバー:]、[ポート:] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7. [ポート:] を選択し、['ポートの設定の変更'] にある [追加] をクリックします。
8. [ネットワークプリンター] を選択し、[OK] をクリックします。
9. ネットワークツリー上で、プリントサーバーとして使用するコンピューターの名前をクリックします。
10. インストールするプリンタードライバーを選択し、[OK] をクリックします。
[ポート:] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。
11. 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。
入力できるのは、半角数字最大 8 衔です。英字や記号はご使用になれません。
12. 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。
13. [完了] をクリックします。
プリンタードライバーがインストールされます。
インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」というメッセージや、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。
14. [プリンタードライバーの導入] ダイアログに戻り、[完了] をクリックします。
お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。
15. [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。
[再起動の確認] ダイアログが表示された場合は、今すぐ再起動するか、後で再起動するかを選択し、Windows を再起動してください。
16. 最初のウィンドウで [終了] をクリックし、CD-ROM を取り出します。

↓ 補足

- インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、『トラブル解決編』「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してください。
- Windows ネットワークプリンターが正しく設定されていないと、インストールが継続できません。インストールをキャンセルしてから、『ネットワーク & システム初期設定編』「Windows ネットワークプリンターを設定する」を参照して、Windows ネットワークプリンターを設定してください。

NetWare プリントサーバー、リモートプリンターを使う

NetWare プリントサーバー、リモートプリンターを使う方法について説明します。

★ 重要

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- IPv6 の環境では、NetWare は使用できません。
- Windows Vista/7 と Windows Server 2008/2008 R2 では IPX/SPX (NetWare) を使用できません。

1

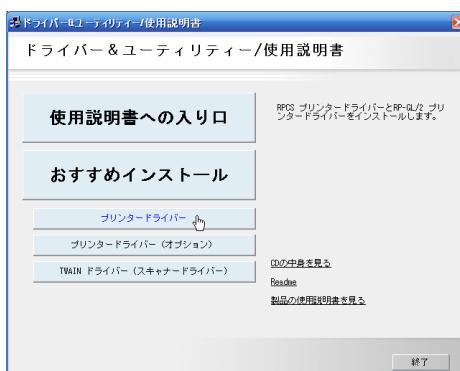
プリンタードライバーのインストール(NetWare)

Windows を NetWare のクライアントとして使用する場合の、セットアップ方法について説明します。

NetWare のファイルサーバーにログインした状態で操作してください。操作例は次の条件で設定しています。

- NetWare のバージョン：4.1J
- ファイルサーバーの名前：CAREE
- キューの名前：R-QUEUE

- すべてのアプリケーションを終了します。
- 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
インストーラーが起動します。
- [プリンタードライバー] をクリックします。



4. [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。
5. [プリンタードライバーの導入] ダイアログで、インストールするプリンタードライバーにチェックをします。
6. インストールするプリンタードライバーをダブルクリックし、プリンターの設定を開きます。
[コメント:]、[ドライバー:]、[ポート:] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。
7. [ポート:] を選択し、['ポート'の設定の変更] にある [追加] をクリックします。
8. [ネットワークプリンター] を選択し、[OK] をクリックします。
9. ネットワークツリー上で、NetWare のファイルサーバーの名前をダブルクリックします。
作成されているキューが展開されます。
10. インストールするキューを選択し、[OK] をクリックします。
[ポート:] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。
11. [完了] をクリックします。
プリンタードライバーがインストールされます。
インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」というメッセージや、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。
12. [プリンタードライバーの導入] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。
お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。
13. [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。
[再起動の確認] ダイアログが表示された場合は、今すぐ再起動するか、後で再起動するかを選択し、Windows を再起動してください。
14. Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[プリンタと FAX] をクリックします。
Windows 2000 の場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。
15. インストールしたプリンタードライバーのアイコンを反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。
16. [NetWare 設定] タブをクリックします。

17. [フォームフィード] と [バナーの使用] のチェックを両方とも外します。

Windows のプリンタードライバーで改ページの制御を行っているので、フォームフィード（用紙送り）を NetWare 上で設定する必要はありません。設定していると正しく印刷できない場合があります。

↓ 補足

- ・本機の工場出荷時の設定はプロトコルが無効になっています。本機の操作部、Web Image Monitor または、telnet で有効にしてください。プロトコルの設定方法については、『ネットワーク＆システム初期設定編』「Web ブラウザーを使う」または「telnet を使う」を参照してください。
- ・インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- ・OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。

PostScript で印刷するとき

PostScript 3 を含んだモジュールを使って PostScript 印刷するときは、次の設定をします。

1. Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[プリンタと FAX] をクリックします。

Windows 2000 の場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

Windows Vista、Windows Server 2008 の場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[ハードウェアとサウンド] のカテゴリーの中から、[プリンタ] をクリックします。

Windows 7、Windows Server 2008 R2 の場合は、[スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。

2. インストールしたプリンタードライバーのアイコンを反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

Windows 7、Windows Server 2008 R2 の場合は、インストールしたプリンターのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [プリンターのプロパティ] をクリックします。

3. [デバイスの設定] タブをクリックします。

4. [ジョブの前に CTRL-D を送信] と [ジョブの後に CTRL-D を送信] の設定を両方とも [いいえ] にします。

5. [OK] をクリックし、プロパティを閉じます。

フォームフィードの設定

NetWare 上で用紙送り（フォームフィード）の設定をしないでください。Windows のプリンタードライバーで改ページの制御を行っているため、NetWare 上で設定する必要はありません。設定していると正しく印刷できない場合があります。

用紙送りしないようにするには、プリンターのプロパティの [NetWare 設定] タブで [フォームフィード] のチェックを外します。

バナーページの設定

NetWare 上でバナーページの設定をしないでください。

バナーページを付けないようにするには、プリンターのプロパティの [NetWare 設定] タブで [バナーの使用] のチェックを外します。

プリンターのリセット後に印刷するとき

リモートプリンターとして使用しているプリンターをリセットすると、プリンターは 30 ~ 40 秒後にいったんプリントサーバーから切断され、その後再び接続されます。リセット後、切断されるまでの間も印刷ジョブは受け付けられますが、このジョブは実際には廃棄されて印刷されないことがあります。これは NetWare の仕様によるものです。

プリンターをリモートプリンターとして使用していて、リセットした直後に印刷するときは、プリントサーバー上でプリンターのステータスが未接続になったことを確認するか、リセットしてから 2 分程度待って印刷してください。

USB 接続

本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、プリンタードライバーをインストールする方法について説明します。

セットアップを始める前に USB ケーブルを接続するパソコンが以下の状態であることを確認してください。

- OS 以外のソフトウェアが起動していない
- 印刷を行っていない

Windows 2000/XP/Vista, Windows Server 2003/2003 R2/2008 と USB で接続する

Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2/2008 で、USB 接続をしてプリンタードライバーをインストールする方法について説明します。

★ 重要

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

USB ケーブルを初めて使用した場合、[新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示され、「USB 印刷サポート」が自動的にインストールされます。

ご使用の機器のプリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイの画面が表示され、[プリンタと FAX] ウィンドウに USB ケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

プリンタードライバーがインストールされていない場合は、プラグアンドプレイのウィザードに従って、付属の CD-ROM からプリンタードライバーをインストールします。

1. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。

[新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示されます。

2. Windows XP, Windows Server 2003/2003 R2 の場合は、「いいえ、今回は接続しません」にチェックし、[次へ] をクリックします。

Windows 2000 の場合は、[新しいハードウェアの検出ウィザード] で、[次へ] をクリックします。

3. [新しいハードウェアの検出ウィザード] で [一覧または特定の場所からインストールする (詳細)] をチェックし、[次へ] をクリックします。

Windows 2000 の場合は、[デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] をチェックし、[次へ] をクリックします。

Windows Vista、Windows Server 2008 の場合は、[ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)] をクリックします。

[ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示された場合は [続行] をクリックします。

[新しいハードウェアの検出] 画面が表示されます。

- 1** 4. Windows 2000 の場合は、[場所を指定] をチェックし、[次へ] をクリックします。

5. キーボードの左側の Shift キーを押しながら、付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

パソコンが CD-ROM を完全に認識するまで左側の Shift キーを押し続けます。

CD-ROM のオートランプログラムが起動した場合は、[終了] をクリックします。

Windows Vista、Windows Server 2008 の場合は、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。自動的に検索が始まり、プリンタードライバーの一覧が表示されます。

6. Windows XP, Windows Server 2003/2003 R2 の場合は、[次の場所で最適のドライバを検索する] の [次の場所を含める] をチェックし、[参照] をクリックしてプリンタードライバーの場所を指定します。

Windows 2000 の場合は、[参照] をクリックし、プリンタードライバーの場所を指定します。

インストールするプリンタードライバーの収録フォルダは、CD-ROM ドライブが D: の場合「D:\DRIVERS\RPCS\XP_VISTA\DISK1」です。

7. Windows XP, Windows Server 2003/2003 R2 の場合は、プリンタードライバーの場所が表示されていることを確認し、[次へ] をクリックします。

8. Windows XP, Windows Server 2003/2003 R2 の場合は、インストールするプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

Windows 2000 の場合は、[次へ] をクリックします。

Windows Vista、Windows Server 2008 の場合は、本機の RPCS プリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

9. プリンタードライバーのインストールが開始されます。

インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」というメッセージや、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

インストールの途中で「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」というメッセージが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックします。

10. [完了] または [閉じる] をクリックします。

インストールが正常に終了すると、「USB001」を [印刷するポート] に指定したプリンターが [プリンタと FAX] ウィンドウに作成されます。

↓ 補足

- ・「USB001」の数字部分は、接続しているプリンターの台数によって異なります。
- ・「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、『トラブル解決編』「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してください。

1

Windows 7 で接続する

Windows 7 で、USB 接続をしてプリンタードライバーをインストールする方法について説明します。

★ 重要

- ・管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

本機のプリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイの画面が表示され、[プリンタ] ウィンドウに USB ケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

プリンタードライバーがインストールされていない場合は、プラグアンドプレイのウィザードに従って、付属の CD-ROM からプリンタードライバーをインストールします。

1. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。
2. [スタート] ボタンをクリックし、[デバイスとプリンター] をクリックします。
[デバイスとプリンター] 画面が表示されます。
3. [未指定] で、インストールしたいプリンターのアイコンをダブルクリックします。
4. ドライバーのプロパティ画面で、[ハードウェア] タブをクリックします。
5. インストールしたいプリンターの名前を選択し、[プロパティ] をクリックします。
6. [設定の変更] をクリックします。
7. [ドライバー] タブをクリックします。
8. CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
[自動再生] ダイアログが表示された場合は、[閉じる] ボタンをクリックして次の手順に進みます。
9. [ドライバーの更新...] をクリックします。
10. [コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します] をクリックします。

11. [参照...] をクリックして、プリンタードライバーの場所を指定します。

インストールするプリンタードライバーの収録フォルダは、CD-ROM ドライブが D: の場合「D:\DRIVERS\RPCS\XP_VISTA\DISK1」です。

1

12. [次へ] をクリックします。

インストールの途中で「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」というメッセージが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックします。

13. [閉じる] をクリックします。

インストールが正常に終了すると、「USB001」を [印刷するポート] に指定したプリンターが [プリンタ] ウィンドウに作成されます。

 **補足**

- 「USB001」の数字部分は、接続しているプリンターの台数によって異なります。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、『トラブル解決編』「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してください。

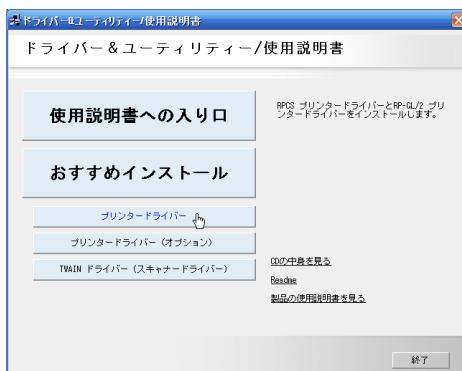
パラレル接続

本機とパソコンをパラレル接続して使う場合は、RPCS プリンタードライバーを「ローカルポート」に指定してインストールします。

重要

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

1. すべてのアプリケーションを終了します。
 2. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
インストーラーが起動します。
 3. [プリンタードライバー] をクリックします。



4. [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は【同意します】を選択し、[次へ]をクリックします。
 5. [プリンタードライバーの導入] ダイアログで、インストールするプリンタードライバーにチェックをします。
 6. インストールするプリンタードライバーをダブルクリックし、プリンターの設定を開きます。

[コメント:]、[ドライバー:]、[ポート:] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。
[ポート:] にプリンターを接続したポート（通常は、LPT1:）が設定されていることを確認します。
 7. 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

入力できるのは、半角数字最大 8 衔です。英字や記号はご使用になれません。
 8. 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

9. [完了] をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」というメッセージや、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

1

10. [プリンタードライバーの導入] ダイアログに戻り、[完了] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

11. [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

[再起動の確認] ダイアログが表示された場合は、今すぐ再起動するか、後で再起動するかを選択し、Windows を再起動してください。

12. 最初のウィンドウで [終了] をクリックし、CD-ROM を取り出します。

↓ 補足

- インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、『トラブル解決編』「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してください。

オプション構成や用紙の設定

本機に装着されたオプションやセットされている用紙サイズなどの情報を、パソコン側で自動的に取得できます。これを双方向通信といいます。双方向通信が働いていると、本機の状態も確認できます。

双方向通信が働いている場合は、オプション構成や用紙の設定は必要ありません。

双方向通信が働いていない場合は、手動で本機に装着されているオプションや、セットされている用紙の情報をパソコンで設定します。

双方向通信が働く条件

双方向通信が働く条件について説明します。

ネットワーク接続の場合

- 標準 TCP/IP ポートが使用されている
- RPCS プリンタードライバーのプロパティ画面で、[ポート] タブにある [双方向サポートを有効にする] にチェックが入っていて、[プリンタプールを有効にする] にチェックが入っていない

標準 TCP/IP ポートを使用しない場合は、以下の条件を満たしている必要があります。

- プロトコルに TCP/IP か IPP (IPP ポート名に IP アドレスを含んでいる) が使用されている
- RPCS プリンタードライバーのプロパティ画面で、[ポート] タブにある [双方向サポートを有効にする] にチェックが入っていて、[プリンタプールを有効にする] にチェックが入っていない

ローカル接続の場合

- パソコンが双方向通信に対応している
- RPCS プリンタードライバーのプロパティ画面で、[ポート] タブにある [双方向サポートを有効にする] にチェックが入っている

上記 2 つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- 本機とパソコンが、双方向通信に対応したインターフェースケーブルで接続されている
- 本機とパソコンが、USB インターフェースケーブルで接続されている

双方向通信が働いていない場合

手動で本機に装着されているオプションや、セットされている用紙の情報をパソコンで設定する方法について説明します。

★ 重要

- [プリンタ] フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

1

1. Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[プリンタと FAX] をクリックします。

Windows 2000 の場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

Windows Vista、Windows Server 2008 の場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[ハードウェアとサウンド] のカテゴリーの中から、[プリンタ] をクリックします。

Windows 7、Windows Server 2008 R2 の場合は、[スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。

2. 追加したプリンターのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックします。

Windows 7、Windows Server 2008 R2 の場合は、追加したプリンターのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [プリンターのプロパティ] をクリックします。

インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に、オプション設定を促すダイアログが表示されます。ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックします。

3. [オプション構成の変更 / 給紙トレイ設定] タブをクリックします。

4. [オプション選択:] ボックスで、取り付けたオプションにチェックを付けます。

5. [給紙トレイ設定:] で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、[トレイ用紙サイズ:]・[トレイ用紙セット方向]・[トレイ用紙種類:] を正しく設定し、自動トレイ選択の対象にしない場合は [自動トレイ選択の対象にしない] にチェックを付けます。

6. [OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

↓ 補足

- [オプション構成の変更 / 給紙トレイ設定] タブの項目がグレー表示になっていて選択できないときは、双方向通信が働いています。このときオプションの設定は必要ありません。

2. 印刷する

プリンタードライバーの画面と印刷方法について説明します。

2種類の操作画面

プリンタードライバーの設定画面は「機能別ウィンドウ」と「ワンクリック設定」の2つの表示タイプがあります。

本書では「機能別ウィンドウ」の画面例を使用しています。表示タイプの切り替え方については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

機能別ウィンドウ

印刷のたびに設定を変更することが多く、さまざまな印刷をする方に向いているウィンドウタイプです。



ワンクリック設定

あまり印刷条件を変えず、いつも決まった印刷のしかたをする方に向いているウィンドウタイプです。



ワンクリック設定の表示はオプションの装着状態によって変化することがあります。

プリンタードライバーの設定画面を表示する

プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法について説明します。

2

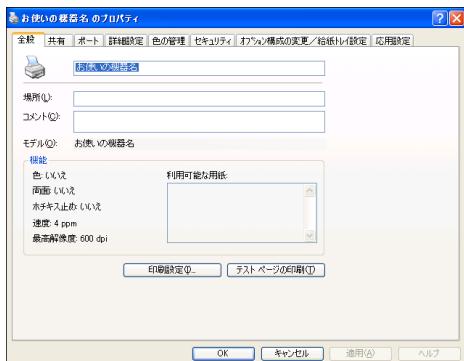
プロパティを表示する

[プリンタと FAX] ウィンドウから、プリンタードライバーのプロパティを表示させる方法について説明します。

★ 重要

- ・プリンターのプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- ・プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変更できません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。

[プリンタと FAX] ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、[全般]、[共有]、[ポート]、[詳細設定]、[色の管理]、[セキュリティ]、[オプション構成の変更 / 給紙トレイ設定]、[応用設定] タブが表示されます。



1. [スタート] ボタンをクリックし、[プリンタと FAX] をクリックします。

[プリンタと FAX] ウィンドウが表示されます。

2. 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

↓ 補足

- ・アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

印刷設定を表示する

2

[プリンタとFAX] ウィンドウから、プリンタードライバーの印刷設定を表示させる方法について説明します。

★ 重要

- ・プリントサーバーから配布されたドライバーの場合は、プリントサーバーで設定された【標準の設定】の内容が初期値として表示されます。
- ・印刷設定をユーザーごとに変更できません。印刷設定で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
- ・アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

[プリンタとFAX] ウィンドウから印刷設定を表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[ユーティリティ] タブが表示されます。

これらのタブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、アプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。



1. [スタート] ボタンをクリックし、[プリンタとFAX] をクリックします。

[プリンタとFAX] ウィンドウが表示されます。

2. 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [印刷設定] をクリックします。

[印刷設定] ダイアログが表示されます。

↓ 補足

- ・お使いの機器によっては、表示されないタブがあります。

アプリケーションから印刷設定を表示する

アプリケーションからプリンタードライバーの印刷設定を表示させる方法について説明します。

2

アプリケーションから印刷ダイアログを表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[ユーティリティー] タブが表示されます。

これらのタブには [プリンタと FAX] ウィンドウから表示させた印刷設定の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。



ここでは Windows XP に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1. [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。

2. 本機を選択し、[詳細設定] をクリックします。

[印刷設定] ダイアログが表示されます。

補足

- ・アプリケーションによっては、印刷の初期値が反映されない場合があります。
- ・アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。
- ・実際の表示方法はアプリケーションによって異なります。詳しくは、アプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- ・アプリケーションの [印刷] ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更できます。
- ・お使いの機器によっては、表示されないタブがあります。

手差しトレイに用紙をセットする

手差しトレイに用紙をセットする方法について説明します。

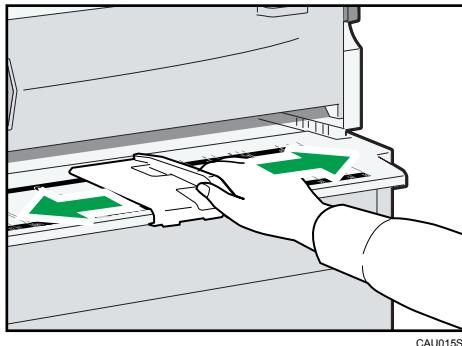
給紙トレイに用紙をセットする方法については、『本機をお使いになる方へ』「用紙をセットするとき」を参照してください。

★ 重要

- 手差しトレイにセットできる用紙サイズは、幅（ヨコ）210~914.4mm、長さ（タテ）257~2000mm です。
- 必ず操作部またはプリンタードライバーで用紙サイズを設定してください。
- [プリンター初期設定] の [システム設定] の [トレイ設定選択] で、[手差しトレイ] を [ドライバー／コマンド優先] に設定した場合、操作部での設定は不要です。プリンタードライバーで、用紙サイズを設定してください。
- 手差しトレイにセットした用紙に印刷する場合は、次の機能が使用できません。
 - 自動トレイ選択
 - リミットレス給紙
 - 回転ソート
- 手差しトレイにセットできる枚数は1枚のみです。

1. 手差しトレイにセットする用紙のサイズを設定します。

2. 手差し用紙ガイドを用紙サイズに合わせます。



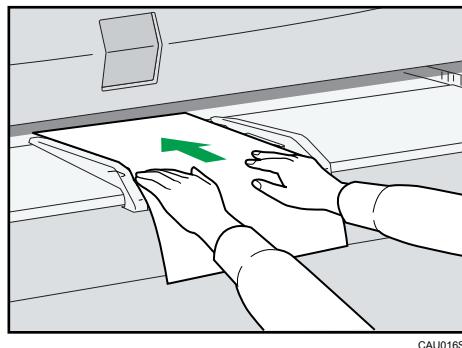
用紙ガイド板が用紙サイズに合っていないと、斜めに印刷されたり、用紙がつまる原因になります。

3. 印刷データを本機に送信します。

4. 印刷する面を上にして、用紙を軽く差し込みます。

用紙は左右均等に挿入し、ピッと音がしてローラーに引き込まれるまで、確実に手を添えておいてください。自動的に用紙が送られ、印刷が始まります。

2



5. 用紙が正しく送られることを確認します。

補足

- 用紙サイズを操作部から設定する方法については、「定形サイズの用紙をセットする」「不定形サイズの用紙をセットする」「トレーシングペーパー、フィルムをセットする」を参照してください。
- 複数枚の印刷をするときは、続けて用紙をセットします。
- ロール状の用紙をセットする場合は、下排紙補助ガイドを引き出して、その上に用紙を置いてセットします。詳しくは、『コピー機能＆ドキュメントボックス機能編』「ロール状の原稿をセットする」を参照してください。
- トレーシングペーパーまたはフィルムをセットするときは、操作部かプリンタードライバーで用紙種類を「トレーシングペーパー」または「フィルム」に設定してください。
- プリンタードライバーでの設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

参照

- P.54 「定形サイズの用紙をセットする」
- P.56 「不定形サイズの用紙をセットする」
- P.58 「トレーシングペーパー、フィルムをセットする」

定形サイズの用紙をセットする

手差しトレイに定形サイズの用紙をセットするときの、設定方法について説明します。

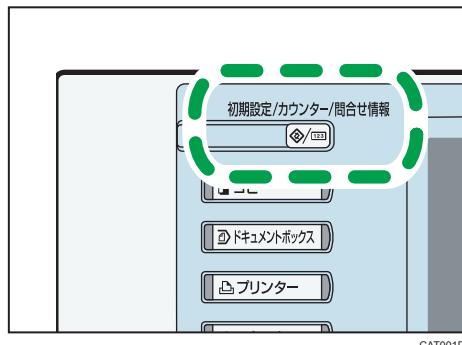
重要

- [プリンター初期設定] の [システム設定] の [トレイ設定選択] で、[手差しトレイ] を [ドライバー / コマンド優先] に設定した場合、以降の操作は不要です。プリンタードライバーで、用紙サイズを設定してください。
- [プリンター初期設定] の [システム設定] の [トレイ設定選択] で、[手差しトレイ] を [機器側設定優先] に設定した場合、プリンタードライバーと操作部の用紙設

定が一致していなければなりません。不一致が起きた場合、[システム設定] の [エラースキップ設定] を [しない] に設定していると、操作部に警告画面が表示されて印刷が停止します。

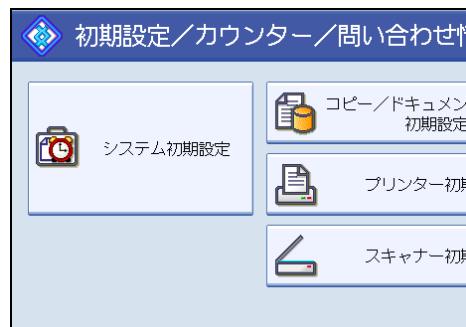
- ・プリンタードライバーを使用しない場合は、[プリンター初期設定] の [システム設定] の [トレイ設定選択] で、[手差しトレイ] を必ず [機器側設定優先] に設定し、操作部で用紙サイズを設定してください。

1. [初期設定 / カウンター / 問合せ情報] キーを押します。



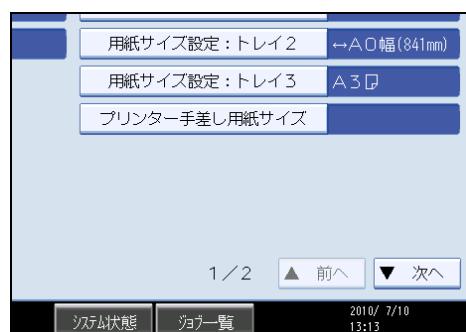
2

2. [システム初期設定] を押します。



3. [用紙設定] タブを押します。

4. [プリンター手差し用紙サイズ] を押します。



5. 目的の用紙サイズを選択します。



2

6. [設定] を押します。

設定した用紙サイズが表示されます。

7. [初期設定 / カウンター / 問合せ情報] キーを押します。

通常画面に戻ります。

補足

- トレーシングペーパーまたはフィルムをセットするときは、操作部かプリンタードライバーで用紙種類を「トレーシングペーパー」または「フィルム」に設定してください。
- 印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

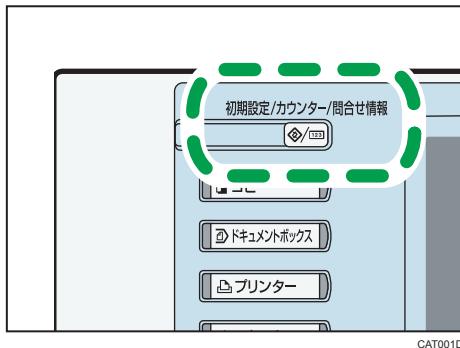
不定形サイズの用紙をセットする

手差しトレイに不定形サイズの用紙をセットするときの、設定方法について説明します。

重要

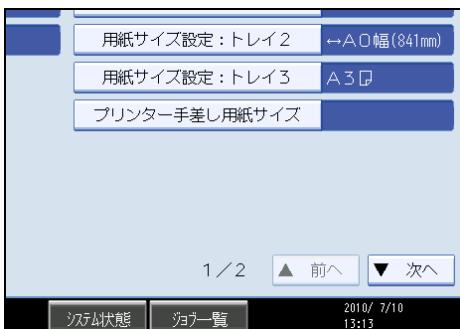
- 手差しトレイにセットできる用紙サイズは、幅（ヨコ）210~914.4mm、長さ（タテ）257~2000mm です。
- 【プリンター初期設定】の【システム設定】の【トレイ設定選択】で、【手差しトレイ】を【ドライバー / コマンド優先】に設定した場合、以降の操作は不要です。プリンタードライバーで、用紙サイズを設定してください。
- 【プリンター初期設定】の【システム設定】の【トレイ設定選択】で、【手差しトレイ】を【機器側設定優先】に設定した場合、プリンタードライバーでの設定よりも、操作部での設定が有効になります。
- プリンタードライバーを使用しない場合は、【プリンター初期設定】の【システム設定】の【トレイ設定選択】で、【手差しトレイ】を必ず【機器側設定優先】に設定し、操作部で用紙サイズを設定してください。

1. [初期設定 / カウンター / 問合せ情報] キーを押します。

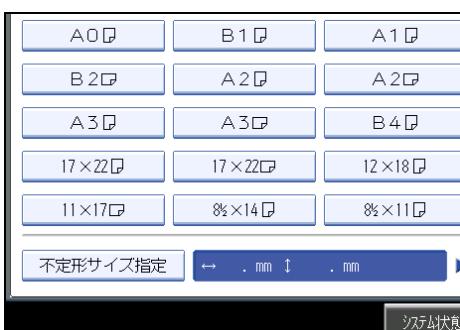


2

2. [システム初期設定] を押します。
3. [用紙設定] タブを押します。
4. [プリンター手差し用紙サイズ] を押します。



5. [不定形サイズ指定] を押します。



6. [タテ] または [ヨコ] を押してから、テンキーで用紙のサイズを入力し、[#] キーを押します。



タテ、ヨコのサイズを入力したら [設定] を押します。

設定したサイズが表示されます。

7. [設定] を押します。

8. [初期設定 / カウンター / 問合せ情報] キーを押します。

通常画面に戻ります。

↓ 補足

- トレーシングペーパーまたはフィルムをセットするときは、操作部かプリンタードライバーで用紙種類を「トレーシングペーパー」または「フィルム」に設定してください。

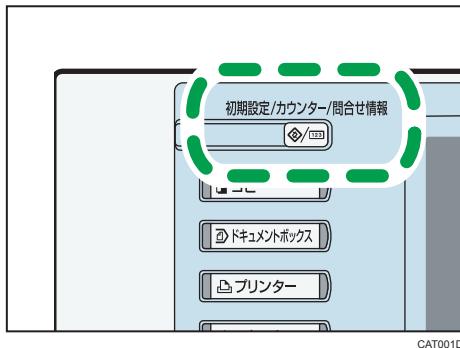
トレーシングペーパー、フィルムをセットする

手差しトレイにトレーシングペーパーやフィルムをセットするときの設定方法について説明します。

重要

- [プリンター初期設定] の [システム設定] の [トレイ設定選択] で、[手差しトレイ] を [ドライバー／コマンド優先] に設定した場合、以降の操作は不要です。プリンタードライバーで、用紙サイズを設定してください。
 - [プリンター初期設定] の [システム設定] の [トレイ設定選択] で、[手差しトレイ] を [機器側設定優先] に設定した場合、プリンタードライバーでの設定よりも、操作部での設定が有効になります。
 - プリンタードライバーを使用しない場合は、[プリンター初期設定] の [システム設定] の [トレイ設定選択] で、[手差しトレイ] を必ず [機器側設定優先] に設定し、操作部で用紙サイズを設定してください。

1. [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。



2

2. [システム初期設定] を押します。

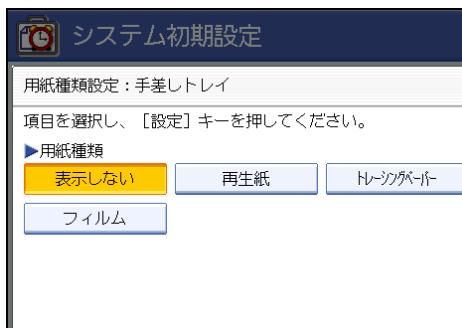
3. [用紙設定] タブを押します

4. [用紙種類設定：手差しトレイ] を押します。

目的の項目が表示されていないときは、[▲前へ] または [▼次へ] を押して表示を切り替えます。



5. 用紙の種類を選択します。トレーシングペーパーをセットする場合は【トレーシングペーパー】、フィルムをセットする場合は【フィルム】を選択します。



6. [設定] を押します。

設定した用紙種類が表示されます。

7. [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。

通常画面に戻ります。

↓ 補足

- ここで設定した内容は、再設定するまで有効です。トレーシングペーパーやフィルムへの印刷が終了したら、次に作業をする人のために、元の状態に設定し直してください。
- 印刷手順の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

2

ロール紙トレイ、カット紙トレイに用紙をセットする

トレイを指定して不定形サイズを出力するときの設定方法について説明します。

ロール紙トレイまたはカット紙トレイの用紙種類やサイズを設定する場合は、本機の【システム初期設定】から設定します。

ロール紙トレイまたはカット紙トレイに用紙をセットする方法については、『本機をお使いになる方へ』「用紙をセットするとき」を参照してください。

ロール紙トレイまたはカット紙トレイにセットできる用紙のサイズと種類の詳細については、『本機をお使いになる方へ』「用紙について」を参照してください。

カット紙トレイにセットした用紙に印刷する場合は、次の機能が使用できません。

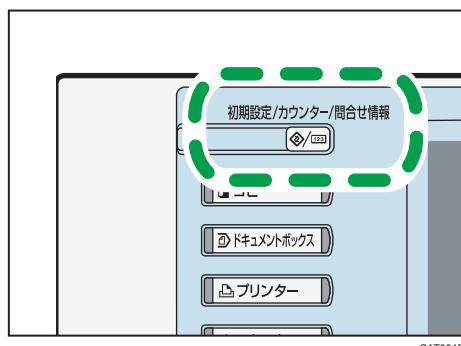
- リミットレス給紙

不定形サイズの用紙をセットする

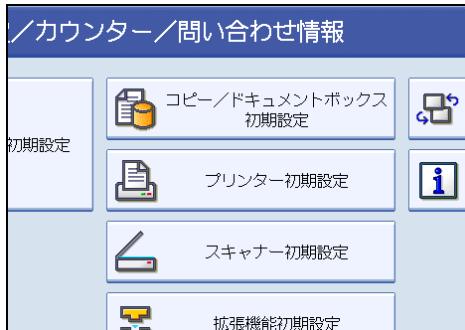
RP-GL/GL2、RTIFFなどのエミュレーションで、ロール紙トレイに不定形サイズの用紙をセットするときの設定方法について説明します。

エミュレーションを切り替える方法については、「エミュレーションを切り替える」を参照してください。

1. [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。



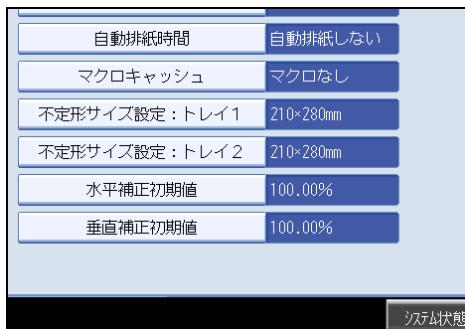
2. [プリンター初期設定] を押します。



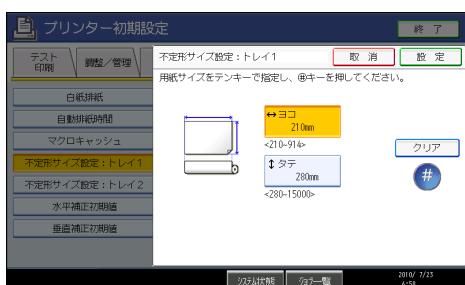
2

3. [システム設定 (EM)] タブを押します。

4. 不定形サイズを設定するロール紙トレイを選択します。[不定形サイズ設定：トレイ 1] または [不定形サイズ設定：トレイ 2] を押します。



5. [タテ] または [ヨコ] を押してから、テンキーで用紙のサイズを入力し、[#] キーを押します。



6. [設定] を押します。

設定したサイズが表示されます。

7. [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。

通常画面に戻ります。

↓ 補足

- ・[システム設定 (EM)] は、[RPGL]、[RTIFF] を選択しているときに表示されます。

- ロール紙トレイの指定可能範囲は、幅（ヨコ）210~914mm、長さ（タテ）280~15000mm です。
- トレーシングペーパーまたはフィルムをセットするときは、必ず操作部またはプリンタードライバーで「トレーシングペーパー」または「フィルム」を設定してください。
- 印刷手順の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

2

参照

- P.142 「エミュレーションを切り替える」

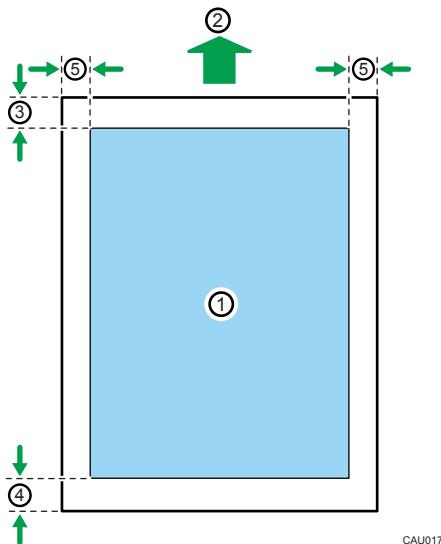
印刷範囲

印刷範囲についての説明です。

本機の印刷範囲は以下の図のとおりです。

用紙

2



1. 印刷範囲
2. 搬送方向
3. 約 5 mm
4. 約 8 mm
5. 約 0~4 mm (左右のマージンを合わせた最大値 : 5 mm)

↓ 補足

- プリンタードライバーや印刷条件の設定によっては印刷範囲外の余白まで印刷することができますが、上記の数値を超える範囲は推奨する印刷範囲に含まれていません。
- 縁無し印刷には対応していません。
- 手差しトレイに長尺紙をセットしたときは、正しく用紙が送られるように手で持って支えてください。また、用紙の厚さや紙幅により用紙の送られ方や画質が異なりますので、事前にご使用になる用紙で印刷結果を確認してください。

よく使う印刷

通常印刷、集約印刷、スタンプ印刷の印刷のしかたについて説明します。

ここで説明するそれぞれの機能は、「ワンクリック設定」と呼ばれる印刷設定にあらかじめ登録されています。ワンクリック設定の設定値を変更するだけで、これらの機能が適用できます。

2

補足

- ・ワンクリック設定については、「ワンクリック設定を使用する」を参照してください。
- ・手順で説明している画面の表示はアプリケーションによって異なる場合があります。ここではWindows XPに付属の「ワードパッド」を例に説明します。

参考

- ・P.78「ワンクリック設定を使用する」

通常印刷する

プリンタードライバーで文書を通常印刷する方法について説明します。

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定を開きます。
2. [原稿サイズ:]から、印刷する原稿のサイズを選択します。

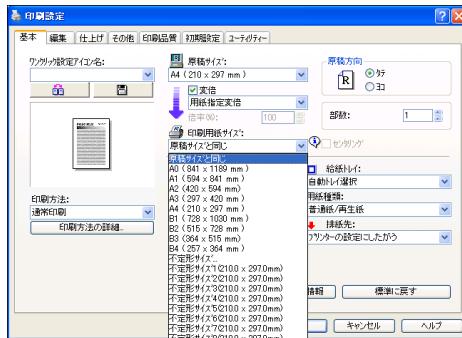


3. 原稿サイズと印刷後の用紙サイズを変更する場合は、[変倍]にチェックを付け、次の3つの選択項目から1つを指定します。

- ・[用紙指定変倍]：印刷後の用紙サイズに合わせて変倍します。
- ・[ズーム]：倍率を指定します。
- ・[独立変倍]：用紙の縦と横の比率をそれぞれ指定します。



[印刷用紙サイズ:] から、印刷後の用紙サイズを選択します。



4. 印刷する原稿の向きを [原稿方向] の [タテ] または [ヨコ] から選択します。

5. 複数の部数を印刷する場合は、[部数] ボックスに部数を入力します。

6. [給紙トレイ:]、[用紙種類:] プルダウンメニューから、印刷に使用する給紙トレイと、指定した給紙トレイに設定されている用紙種類を選択します。



[給紙トレイ:] で [自動トレイ選択] を選択した場合は、用紙サイズと用紙種類に応じて給紙トレイが自動的に選択されます。

7. 必要に応じて [排紙先:] を選択します。

8. [OK] をクリックします。

9. アプリケーションから印刷の指示を出します。

プリンタードライバーで用紙種類を選択する場合

プリンタードライバーで用紙種類を選択する方法について説明します。

2

印刷時に選択する用紙の種類は、プリンタードライバーで設定します。本機の給紙トレイにセットされている用紙の種類は、操作部のプリンター画面、またはコピー画面に表示されますので、選択した種類の用紙がどの給紙トレイにセットされているかを確認できます。

ただし、プリンタードライバーで選択できる用紙種類の設定値と、本機のプリンター画面、またはコピー画面での用紙種類表示は多少異なる場合があります。プリンタードライバーで用紙の種類を選択するときは、どのトレイにどの種類の用紙がセットされているかも確認してください。

▼ 補足

- 用紙種類で「普通紙」を設定したいときは、[システム初期設定] の [用紙設定] の [用紙種類設定] で [表示しない] を選択してください。この場合、本機の操作部には用紙種類が表示されません。
- 用紙種類の設定は、[システム初期設定] の [用紙設定] の [用紙種類設定] で行います。「用紙種類設定」については、『ネットワーク & システム初期設定編』「システム初期設定」を参照してください。

複数のページを集約して印刷する

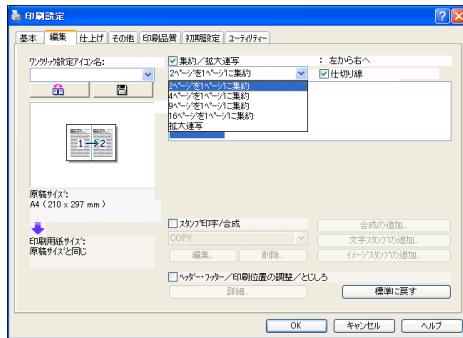
プリンタードライバーで集約印刷する方法について説明します。集約を設定すると、複数のページを縮小して1ページにまとめて印刷ができます。

★ 重要

- 不定形サイズの用紙には集約を設定できません。定形サイズの用紙を使用してください。

- アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定を開きます。
- 【編集】タブをクリックします。

3. [集約／拡大連写] にチェックを付け、プルダウンメニューから集約の種類を選択します。



2

4. ページの並べ方をアイコンの中から選択します。



5. その他の印刷の設定を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。

6. アプリケーションから印刷の指示を出します。

補足

- 1つの文書内に原稿方向の異なるページがある場合は、そのページの前で改ページします。
- 同じ機能を設定できるアプリケーションから印刷する場合は、アプリケーション側では機能を設定しないでください。アプリケーション側の設定を有効にして印刷すると、意図しない印刷結果になることがあります。
- 縦横が混在する原稿を集約する場合など、詳しくはプリンタードライバーのヘルプを参照してください。

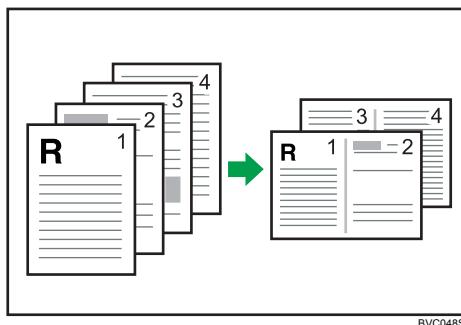
集約印刷の種類

集約の種類について説明します。

集約印刷で1ページにまとめることができるのは、2ページ、4ページ、9ページ、16ページです。ページの並べ方は最大4つのパターンの中から任意に選択ができます。

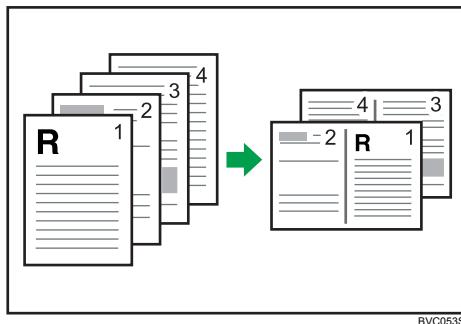
2ページを1ページに集約

- 左から右へ

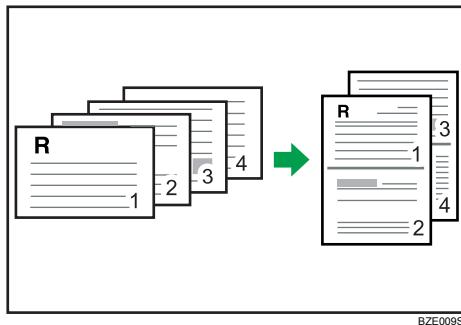


2

- 右から左へ

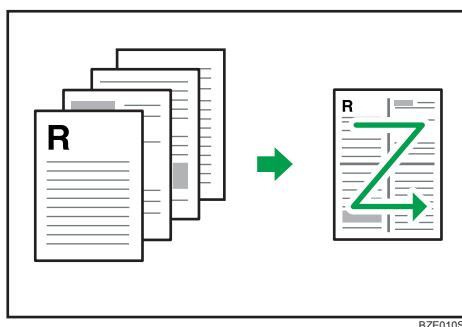


- 上から下へ

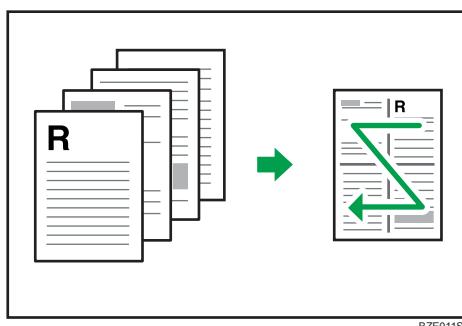


4ページを1ページに集約

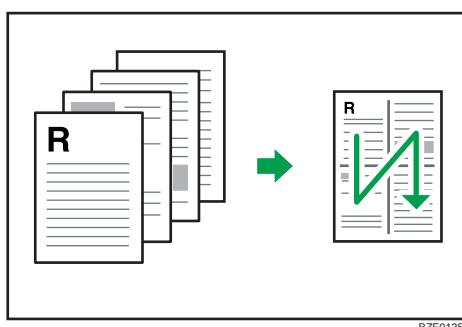
- 左上→右上→左下→右下



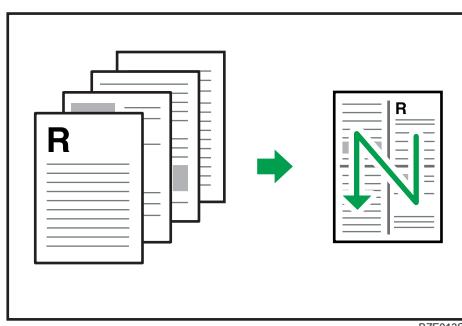
- 右上→左上→右下→左下



- 左上→左下→右上→右下



- 右上→右下→左上→左下



原稿にイメージや文字をスタンプする

プリンタードライバーでスタンプ印刷する方法について説明します。スタンプを設定すると、作成した文書にイメージデータや文字を重ねて印刷ができます。

スタンプには、ビットマップファイル (.bmp) を使った「イメージスタンプ」と、文字データを使った「文字スタンプ」があります。一度に指定できるスタンプはどちらかのみです。

2

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定を開きます。
 2. [編集] タブをクリックします。
 3. [スタンプ印字／合成] にチェックを付け、プルダウンメニューからスタンプの種類を選択します。



選択したスタンプの内容を変更するときは [編集...] をクリックします。

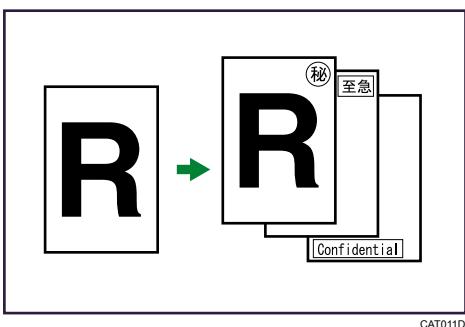
4. その他の印刷の設定を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。
 5. アプリケーションから印刷の指示を出します。

↓ 補足

- あらかじめ用意されているスタンプのほかにも、任意にスタンプを作成し使用できます。
 - スタンプの作成・編集方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

スタンプを印字する

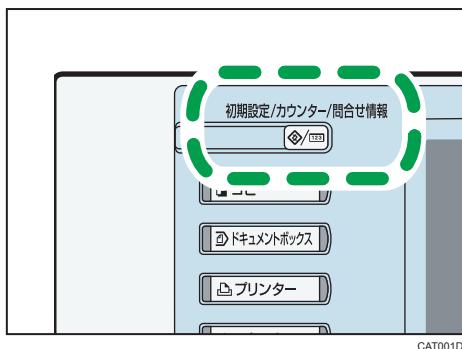
あらかじめ登録されているスタンプを印字します。



★ 重要

- スタンプには次の 8 種類が用意されています。
 - マル秘
 - 回収
 - 複製厳禁
 - 至急
 - マル仮
 - 回覧
 - CONFIDENTIAL
 - DRAFT
- 印字するページの位置を変更できます。
- スタンプは一度に 1 種類しか印字できません。ただし、ユーザースタンプ 1 種類と組み合わせて印字することもできます。

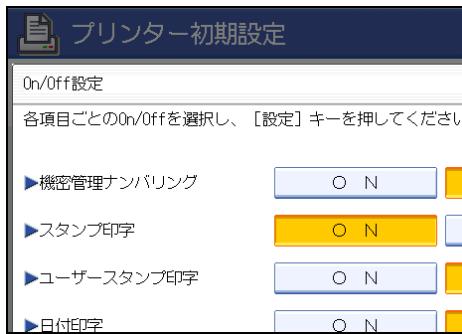
1. [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。



2. [プリンター初期設定] を押します。

3. [印字設定] タブを押し、[On/Off 設定] を押します。

4. [スタンプ印字] の [ON] を押し、[設定] を押します。

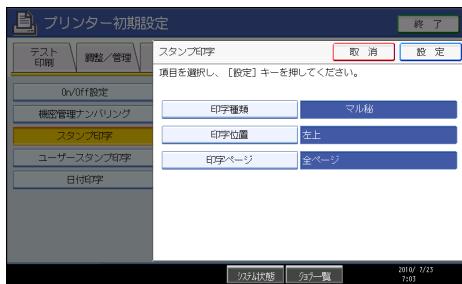


2

印字設定の選択画面に戻ります。

5. [スタンプ印字] を押します。

6. [印字種類] [印字位置] [印字ページ] を押し、各項目を設定します。



- [印字種類] では、スタンプの種類を選択します。
- [印字位置] では、スタンプの印字位置を選択します。
- [印字ページ] では、[全ページ] を選択すると全ページに、[先頭ページのみ] を選択すると先頭ページだけにスタンプを印字します。

7. [設定] を押します。

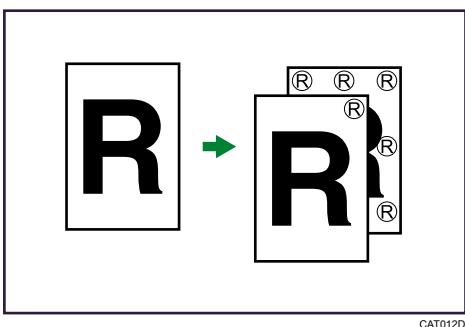
印字設定の選択画面に戻ります。

8. [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。

通常画面に戻ります。

ユーザースタンプを印字する

よく使用する文字やマークを登録して、「スタンプ印字」として印字できます。

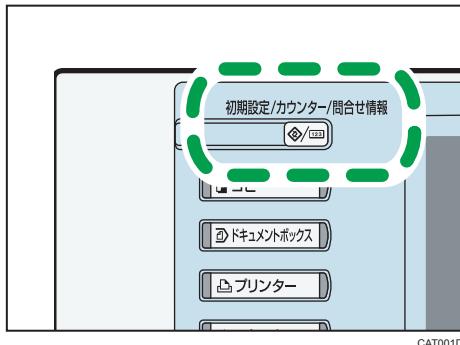


CAT012D

★ 重要

- ・ユーザースタンプを印字するには、ユーザースタンプの登録が必要です。詳しくは、『コピー機能＆ドキュメントボックス機能編』「ユーザースタンプ印字」を参照してください。
- ・印字するページの位置を変更できます
- ・定型のスタンプ 1 種類と組み合わせて印字することもできます。

1. [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。

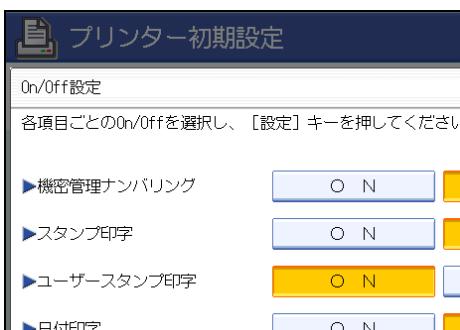


CAT001D

2. [プリンター初期設定] を押します。

3. [印字設定] タブを押し、[On/Off 設定] を押します。

4. [ユーザースタンプ印字] の [ON] を押し、[設定] を押します。



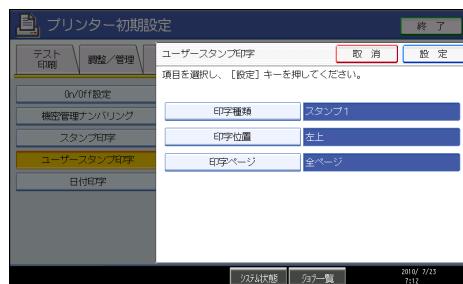
複数のパスワードが設定してある場合は、パスワードが一致した文書とパスワードが設定されていない文書が印刷の対象になります。

印字設定の選択画面に戻ります。

5. [ユーザースタンプ印字] を押します。

6. [印字種類] [印字位置] [印字ページ] を押し、各項目を設定します。

2



- [印字種類] では、登録したスタンプの種類を選択します。
- [印字位置] では、スタンプの印字位置を選択します。
- [印字ページ] では、[全ページ] を選択すると全ページに、[先頭ページのみ] を選択すると先頭ページだけにスタンプを印字します。

7. [設定] を押します。

印字設定の選択画面に戻ります。

8. [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。

通常画面に戻ります。

機密管理ナンバリングや日付印字について

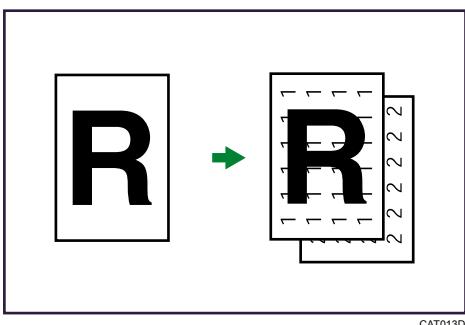
印字機能について説明します。文書管理に欠かせない機密管理番号やスタンプをはじめ、日付を印字することができます。

★ 重要

- 機密管理印字やスタンプ印字を使用した後に、通常のプリンター機能を使用する場合は、設定した機能を解除してください。
- PostScript 3 では、印字機能の設定は無効になります。

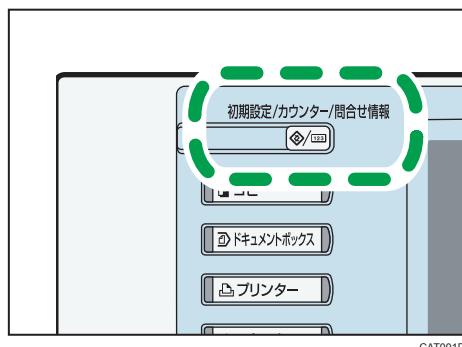
機密管理印字を使用する

機密文書の全面にナンバリングの地紋を印刷します。



2

1. [初期設定/カウンター/問合せ情報] キーを押します。

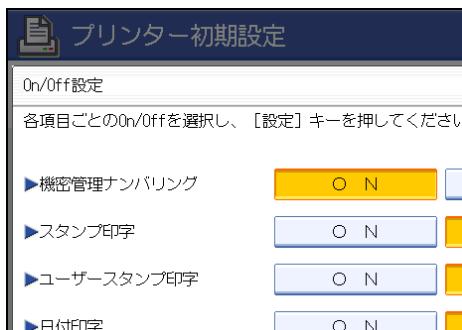


CAT001D

2. [プリンター初期設定] を押します。

3. [印字設定] タブを押し、[On/Off 設定] を押します。

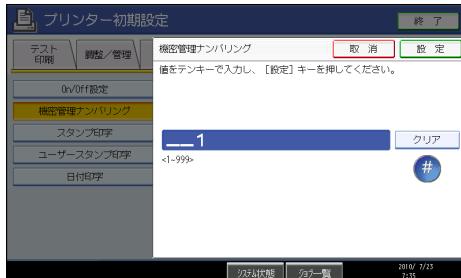
4. [機密管理ナンバリング] の [ON] を押し、[設定] を押します。



印字設定の選択画面に戻ります。

5. [機密管理ナンバリング] を押します。

6. テンキーで印字を開始する番号を入力します。



2

印刷を開始する番号は、1～999 の範囲で指定します。

入力を間違えたときは、[クリア/ストップ] キーまたは [クリア] を押して入力し直してください。

7. [設定] を押します。

印字設定の選択画面に戻ります。

8. [初期設定/カウンター/問合せ情報] キーを押します。

通常画面に戻ります。

補足

- 印字する管理番号の濃さや数字のサイズを変更できます。詳しくは、『コピー機能&ドキュメントボックス機能編』「機密管理ナンバリング」を参照してください。
- ソートを指定している場合、各部内で同一の管理番号が印字され、次の部で番号が繰り上がります。たとえば、「開始番号：5」「3部ソート」の場合、1部目の全原稿に「5」が印字され、引き続き、2部目に「6」、3部目に「7」と印字されます。

日付を印字する

日付は以下のような書式で印字することができます。

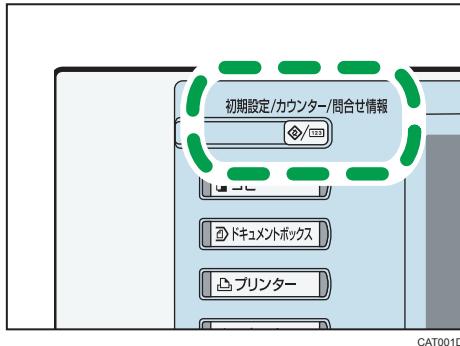
例) 2010 年 10 月 6 日

- 2010.10.06
- 2010 年 10 月 6 日
- 06.OCT.2010
- 10/06/2010
- 10.06.2010
- 06/10/2010
- 06.10.2010

重要

- 印字するページの位置を変更できます。

1. [初期設定／カウンター／問合せ情報] キーを押します。

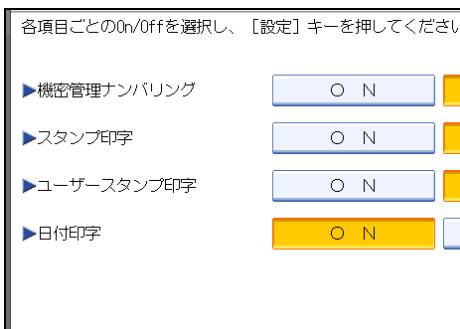


2

2. [プリンター初期設定] を押します。

3. [印字設定] タブを押し、[On/Off 設定] を押します。

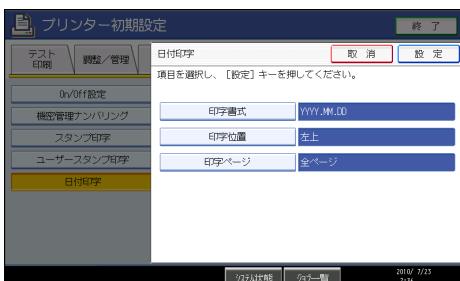
4. [日付印字] の [ON] を押し、[設定] を押します。



印字設定の選択画面に戻ります。

5. [日付印字] を押します。

6. [印字書式] [印字位置] [印字ページ] を押し、各項目を設定します。



- ・[印字書式] では、印字する日付の書式を選択します。
- ・[印字位置] では、日付の印字位置を選択します。
- ・[印字ページ] では、[全ページ] を選択すると全ページに、[先頭ページのみ] を選択すると先頭ページだけに日付を印字します。

7. [設定] を押します。

印字設定の選択画面に戻ります。

8. [初期設定/カウンター/問合せ情報] キーを押します。

通常画面に戻ります。

2

ワンクリック設定を使用する

プリンタードライバーのワンクリック設定について説明します。

プリンタードライバーには、あらかじめ登録されている印刷設定があります。これをワンクリック設定といいます。この機能を使うことで印刷するときに何カ所も設定を変更したり、誤って設定して無駄な印刷をしてしまうミスを防ぐことができます。また、ワンクリック設定を追加でき、複数のメンバーで同じワンクリック設定を共有して使用もできます。プリンタードライバーに関する特別な知識がなくても、登録したワンクリック設定を使うだけで、さまざまな機能の活用ができます。

あらかじめ登録されているワンクリック設定は、追加、変更、削除ができますが、[通常]は、削除や変更ができません。登録できるワンクリック設定は、最大で 16 件です。詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1. アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの印刷設定を開きます。

2. [ワンクリック設定アイコン名:] から、使いたい機能を選択します。



3. [OK] をクリックします。

4. アプリケーションから印刷の指示を出します。

補足

- 適切なワンクリック設定を使用するため、本機のオプションを変更したときは、プリンタードライバーでワンクリック設定を更新してください。機能別ウィンドウの [基本] タブ、またはワンクリック設定の [印刷機能] タブで をクリックします。[プリンター情報の更新] をクリックすると、双方向通信が働いている場合は、オプション構成の設定とワンクリック設定の表示が更新されます。双方向通信が働い

ていない場合は、[オプション構成の変更/ 紙トレイ設定] タブからオプションの設定を手動で行ってください。双方向通信と、手動でオプションを設定する方法については、「オプション構成や用紙の設定」を参照してください。

- 指定した色のみでの印刷は、ワンクリック設定に登録できません。

 参照

- P.47 「オプション構成や用紙の設定」

製本や仕分けなどをする場合に便利な機能

ソートなどの、便利な印刷機能について説明します。

「よく使う印刷」で使用する [基本]、[編集] タブの一部の機能のほかにも、[仕上げ]、[その他] タブなどから印刷機能を設定できます。

2

それぞれのタブでできる設定

[編集]、[仕上げ]、[その他] タブの概要について説明します。

[編集] タブ

拡大連写やその他の印刷機能を設定できます。

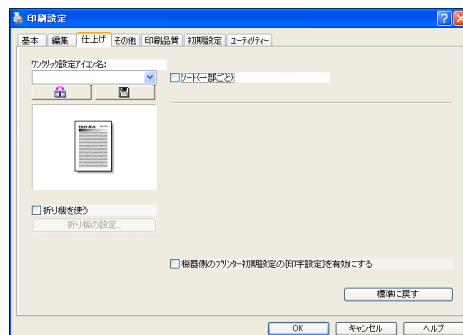


- 大判印刷（拡大連写）

1 ページを複数枚の用紙に分けて拡大印刷し、それらを貼り合わせることで、ポスターのような大判の印刷物を作ることができます。

[仕上げ] タブ

ソートを設定できます。

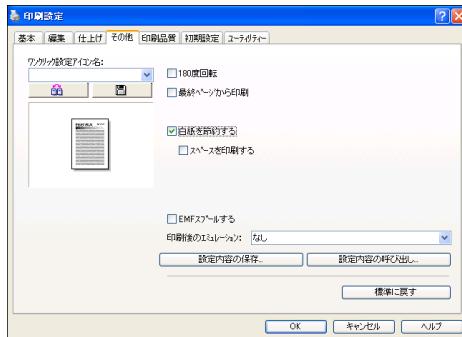


- ソート

会議資料など複数部数の印刷をする場合、ページ順に仕分けして印刷できます。

[その他] タブ

スプール方式やその他の印刷オプションを設定できます。



2

- EMF スプール印刷

チェックを付けると、スプール方式を EMF に設定します。印刷処理から解放されるまでの時間が短くなります。正しく印刷できない場合、スプール方式を変更すると印刷できることがあります。

補足

- 印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1ページを複数枚に分けて印刷する（拡大連写）

1ページを複数枚の用紙に分けて拡大印刷し、それらを貼り合わせることで、ポスターのような大判の印刷物を作ることができます。この機能を拡大連写といいます。用紙の端から 15 mm の部分がのりしろとして印刷されます。印刷された用紙を貼り合わせるときは、端から 15 mm を重ねると、継ぎ目が目立たなくなります。

重要

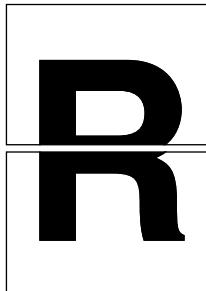
- 拡大率は、指定した用紙のサイズと分割枚数に応じて決まります。

ここでは原稿の向きがのりの場合を例に説明します。

- 2枚に分けて印刷

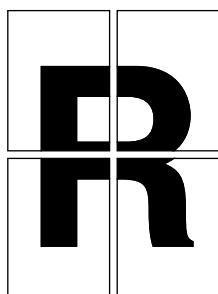
上下 2枚に分割します。

2



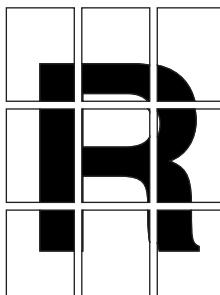
CAT019S

- 4枚に分けて印刷
縦2枚、横2枚に分割します。



CAT020S

- 9枚に分けて印刷
縦3枚、横3枚に分割します。



CAT021S

⬇ 補足

- とじしろを設定している場合は、拡大連写を設定できません。とじしろについては、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- 不定形サイズの用紙は、拡大連写を設定できません。
- 拡大連写での印刷時は、画像によっては用紙の裏汚れなどの不具合が発生することがあります。

部単位で印刷する（ソート）

会議資料など複数部数の印刷をする場合、ページ順に仕分けして印刷できます。この機能を「ソート」といいます。ソートは、パソコンから送信されてきたデータをメモリーに読み込むことによって行います。ソートには2種類あります。

★ 重要

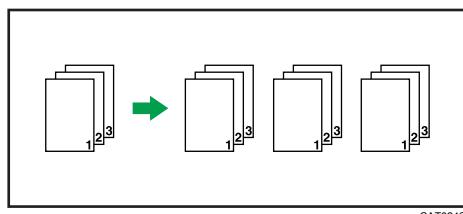
- ソート可能なページ数：最大1,000ページ
- ソート可能な部数：最大999部
- 1部目でエラースキップが発生した場合は、ソートは解除されます。

2

ソートの種類

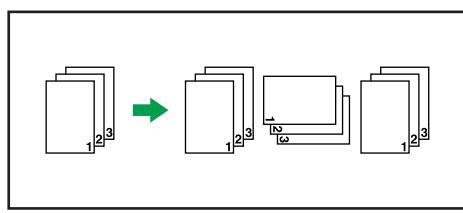
ソートの種類について説明します。ソートには3種類あります。

- ソート
1部ずつそろえて印刷します。



CAT024S

- 回転ソート
1部ずつロロ交互に向きを変えて印刷します。



CAT025S

ソートを行うときの注意事項

ソートが解除される場合について説明します。

★ 重要

- 手差しトレイから給紙する場合は、回転ソートできません。
- サイズの異なるページが混在したデータを回転ソートすることはできません。

- ・[プリンター初期設定] の [自動排紙時間] で設定した時間が過ぎるまでは、最終ページが印刷されない場合があります。
- ・一部目でエラースキップが発生した場合は、ソートは解除されます。
- ・回転ソートには、同じ用紙サイズで、同じ用紙種の用紙を異なる方向 (□□) にセットした2段の給紙トレイが必要です。

回転ソートが解除されるとき

2

以下の場合、回転ソートが解除され、ソートになります。

- ・A2 より大きいサイズや、用紙サイズが混在している場合
- ・給紙トレイが指定された場合
- ・不定形サイズが指定された場合

補足

- ・回転ソートすると、印刷速度は他のソートより多少遅くなります。
- ・RPCS を選択しているとき、ソートまたは回転の設定はプリンタードライバーで行います。
- ・プリンタードライバーでソートまたは回転の設定をするとき、アプリケーションのソート（部単位印刷設定）にチェックが入っていると、意図しない印刷結果になることがあります。チェックをはずして印刷してください。
- ・各オプションごとのソート、回転ソートできる用紙のサイズと枚数については、『コピー機能＆ドキュメントボックス機能編』「コピーの仕上げを指定する」を参照してください。
- ・印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

スプール印刷について

スプール印刷とは、パソコンから転送される印刷ジョブを一時的に本機に蓄積して印刷する機能です。スプール印刷をすると、大容量のデータのとき、パソコンが印刷処理から早く開放されます。

重要

- ・スプール印刷中は、ハードディスクへのアクセスが行われ、データインランプが点滅します。スプール印刷中に本機やパソコンの電源を切ると、ハードディスクが破損するおそれがあります。スプール印刷中は本機やパソコンの電源を切らないでください。
- ・diprint、ftp、IPP、LPR、SMB (TCP/IP (IPv4))、sftp、WSD (Printer) 以外のプロトコルで受信したデータは、スプール印刷できません。

スプール印刷を設定する

Web Image Monitor と telnet で設定できます。

- Web Image Monitor の場合

詳しくは、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

- telnet の場合

「spoolsw spool on」で設定します。詳しくは、『ネットワーク＆システム初期設定編』「telnet を使う」を参照してください。

スプールジョブの一覧を操作部に表示する

スプール印刷が設定されている場合は、スプール中のジョブ一覧を本機の操作部の画面に表示できます。

[プリンター] キーを押してから [ジョブスプール一覧表示] を押します。スプールされているジョブの一覧が表示されます。

Web Image Monitor または telnet でスプール印刷が設定されていない場合は、[ジョブスプール一覧表示] を選ぶことはできません。

- スプール中のジョブを削除する場合

削除したい文書を押して反転表示させ、[消去] を押します。

Web Image Monitor からスプールジョブを閲覧・削除する

本機に蓄積されたスプールジョブは、Web Image Monitor から閲覧・削除ができます。削除するには、管理者モードで Web Image Monitor にログインしてください。詳しくは、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

補足

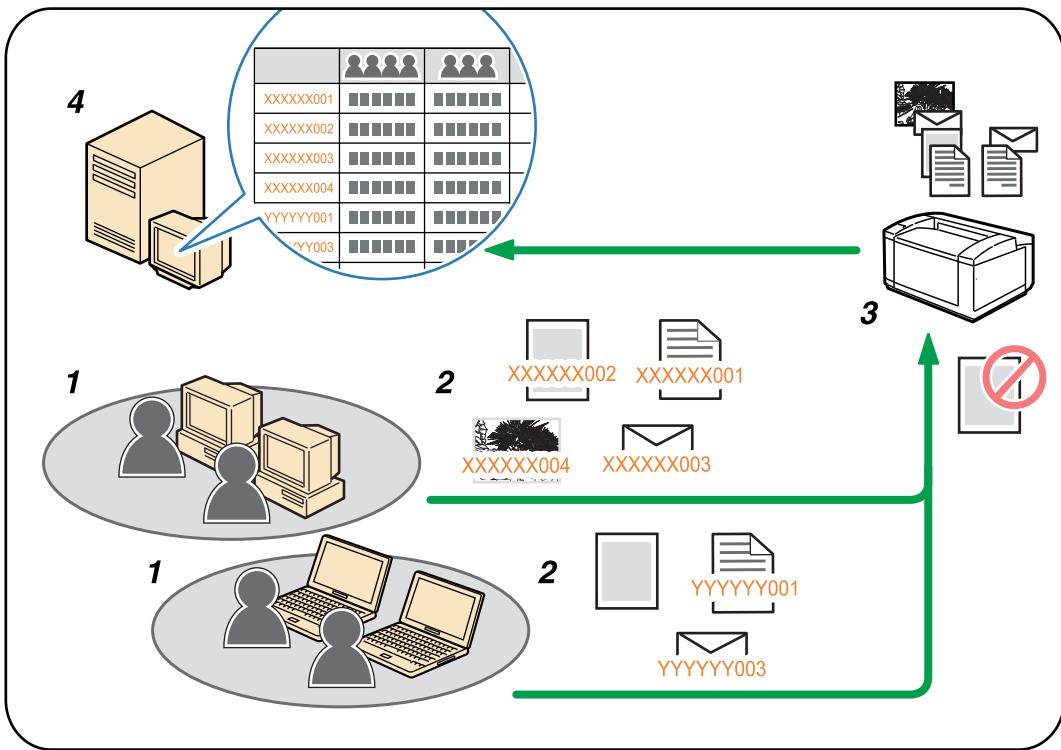
- Web Image Monitor を表示させるためには、Web ブラウザーを起動します。アドレスバーに「http://（本機の IP アドレス）もしくは（ホスト名）/」を入力すると、Web Image Monitor のトップページが表示されます。
- 一度に最大 150 ジョブまでスプールできます。
- スプール印刷をすると、1 ページ目の印刷開始は遅くなります。

分類コードを登録する

分類コードについて説明します。

分類コードを登録しておくと、分類コードごとの印刷枚数が本機に記録されます。

この機能を使い、たとえば利用目的や個人ごとに分類コードを設定しておくと、印刷枚数を利用目的や個人ごとに確認ができます。勘定科目ごとの収集やクライアントごとの課金管理などに適しています。



BZE044S

1. 管理する部や課、プロジェクトチーム、ユーザーなど
2. 利用目的に応じて、分類コードをプリントジョブに入力
3. 印刷
4. 外部ログ管理システムで分類コードを収集、管理

補足

- 分類コードを入力する方法については、「プリントジョブに分類コードを入力する」を参照してください。
- 分類コードが必須の環境では、分類コードが付与されていないプリントジョブは印刷されません。詳しくは、「分類コードの設定」を参照してください。

F 参照

- P.87 「プリントジョブに分類コードを入力する」
- P.87 「分類コードの設定」

分類コードの設定

2

プリントジョブに分類コードを必須とするか任意とするかを、Web Image Monitor で設定します。

★ 重要

- 分類コードを必須に設定した場合、分類コードが付与されていないプリントジョブは印刷できません。
- 分類コードに未対応のプリンタードライバー、PostScript 3 ドライバーからは印刷できません。
- 分類コードを必須に設定した場合でも、システム設定リストは印刷できます。
- 初期状態は【任意】に設定されています。

1. Web Image Monitor に管理者モードでログインします。

ログイン方法については、『ネットワーク & システム初期設定編』「Web ブラウザーを使う」を参照してください。

2. 左フレームのメニューから【設定】をクリックします。

3. 「機器」メニューの【ログ】をクリックします。

4. 【共通設定】カテゴリーの中の【分類コード】の【必須】か【任意】をクリックします。

5. 【OK】をクリックします。

6. 【ログアウト】をクリックします。

7. Web Image Monitor を終了します。

プリントジョブに分類コードを入力する

分類コードが必須の環境で印刷するときは、プリントジョブに分類コードを指定して印刷します。

★ 重要

- 入力した分類コードはプリンタードライバーに保持されます。
- 複数の分類コードを切り替えたい場合は、プリンタードライバーを別の名前で複数インストールし、それぞれに個別の分類コードを設定します。

RPCS プリンタードライバーの場合

1. 印刷したいアプリケーションからプリンタードライバーの印刷設定画面を開きます。
2. [基本] タブから [印刷方法の詳細...] をクリックします。
3. [分類コード:] ボックスに分類コードを入力します。
分類コードは半角英数字と- (ハイフン) を合計 32 文字まで使用できます。
4. [OK] をクリックします。

 **補足**

- RPCS プリンタードライバーをお使いの場合、[印刷方法:] プルダウンメニューで以下の 3 つのうちいずれかを選択した場合、分類コードを入力できません。
 - Job Binder に保存する
 - ドキュメントボックスに蓄積する
 - 合成用データを保存する

印刷終了後にプリンターのエミュレーションを切り替える

複数のパソコンで本機を共有している場合で、その中に MS-DOS または UNIX で印刷しているパソコンがあるときに使用する機能です。

通常 MS-DOS または UNIX から印刷するには、使用するアプリケーションに応じてプリンターのエミュレーションを設定しておく必要があります。印刷後のエミュレーションとして MS-DOS または UNIX から印刷するときのエミュレーション（またはプログラム）を選択しておくと、次の印刷が MS-DOS または UNIX からの場合でもエミュレーションを切り替えずに印刷できます。

2

1. Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[プリンタと FAX] をクリックします。

Windows 2000 の場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

Windows Vista、Windows Server 2008 の場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。[ハードウェアとサウンド] のカテゴリーの中から、[プリンタ] をクリックします。

Windows 7、Windows Server 2008/2008 R2 の場合は、[スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。

2. 設定するプリンタードライバーのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [印刷設定] をクリックします。

印刷設定が表示されます。

3. ウィンドウタイプとして [ワンクリック設定] を設定しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更 / 新規作成] をクリックし、[その他] タブをクリックします。

[機能別ウィンドウ] を選択しているときは、[その他] タブをクリックします。

4. [印刷後のエミュレーション] ボックスのドロップダウンメニューからエミュレーションを選択します。

Windows だけお使いのときは、[なし] または [直前のエミュレーション] を選択してください。

[直前のエミュレーション] を選択すると、印刷前に設定されていたエミュレーションに戻ります。

5. [ワンクリック設定] を設定しているときは、[名前をつけて保存] または [上書き保存] をクリックし、設定を保存します。

[機能別ウィンドウ] を選択しているときは、[] をクリックします。

必要に応じて、アイコン名とコメントを入力してください。

6. その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。

プリンタードライバーの設定画面が閉じます。

3. 蓄積文書の印刷とジョブの管理

本機に蓄積されたジョブの印刷方法と、印刷しているジョブの管理について説明します。

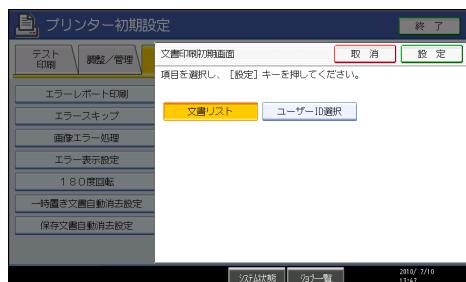
文書印刷機能を使用する

本機に蓄積された文書を印刷する、文書印刷機能について説明します。

文書印刷機能では、あらかじめプリンタードライバーからの印刷指示で本機のハードディスクに蓄積された、試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書および保存文書の印刷、または削除ができます。

試し印刷文書、機密印刷文書および保留文書は、文書印刷機能で指示された印刷が終了すると蓄積されていた文書は消去されます。保存文書は、印刷が終了しても消去されません。

プリンター初期画面の【文書印刷】を押すと、文書を選択する画面が表示されます。文書を選択する画面は、文書一覧画面とユーザーID一覧画面の2種類あり、最初に表示される画面を、文書一覧画面またはユーザーID一覧画面のどちらかにするかを設定できます。

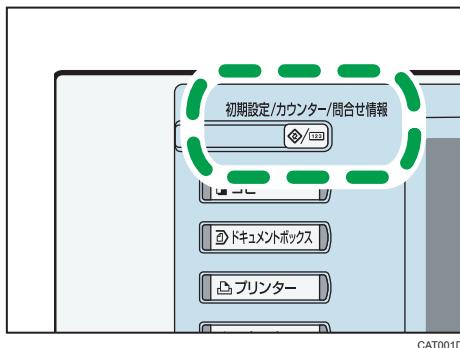


【文書印刷初期画面】を表示する

文書印刷初期画面の設定方法と、文書選択画面の表示方法について説明します。

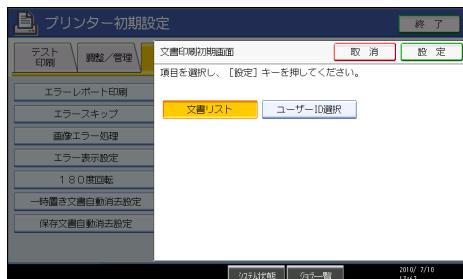
文書印刷初期画面を設定する

1. [初期設定/カウンター/問合せ情報] キーを押します。



3

2. [プリンター初期設定] を押します。
3. [システム設定] タブを押し、[文書印刷初期画面] を押します。
4. [文書リスト] または [ユーザー ID 選択] を押し、[設定] を押します。

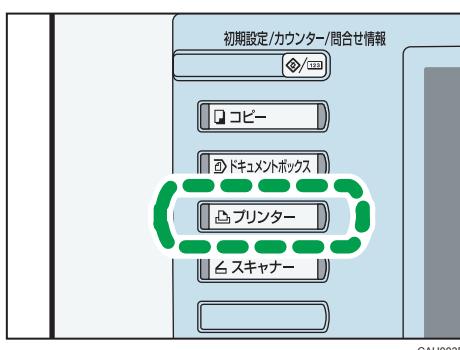


5. [初期設定/カウンター/問合せ情報] キーを押します。

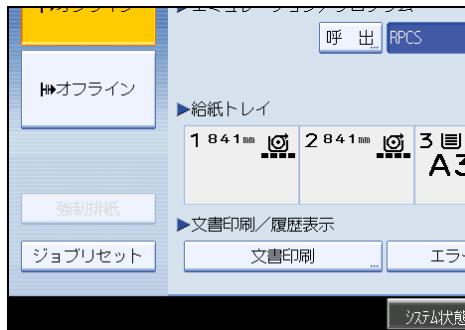
通常画面に戻ります。

文書一覧画面、またはユーザー ID 一覧画面を表示する

1. [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。



2. [文書印刷] を押します。

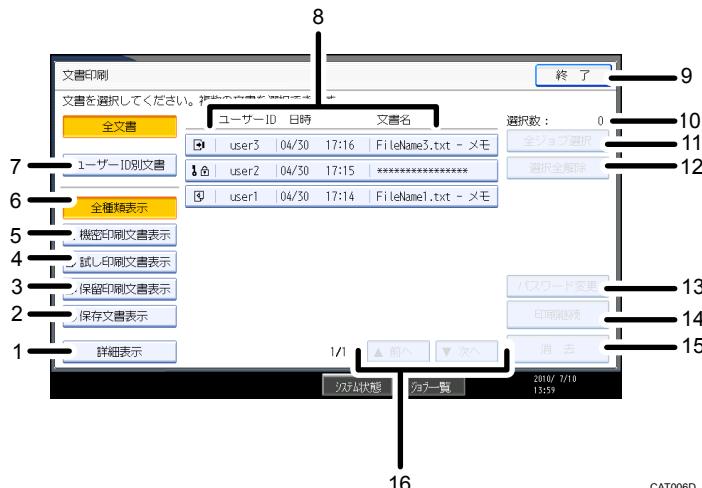


3

文書一覧画面、またはユーザー ID 一覧画面が表示されます。

文書一覧画面

[プリンター初期設定] の [システム設定] で、[文書印刷初期画面] を [文書リスト] に設定すると、[文書印刷] を押したときに次の画面が表示されます。



1. 詳細表示

選択している文書の詳細情報を表示します。

2. 保存文書表示

蓄積されている保存文書だけを表示します。セキュリティーの設定によっては全ての文書が表示されない場合があります。

3. 保留印刷文書表示

蓄積されている保留印刷文書だけを表示します。セキュリティーの設定によっては全ての文書が表示されない場合があります。

4. 試し印刷文書表示

蓄積されている試し印刷文書だけを表示します。セキュリティーの設定によっては全ての文書が表示されない場合があります。

5. 機密印刷文書表示

蓄積されている機密印刷文書だけを表示します。セキュリティーの設定によっては全ての文書が表示されない場合があります。

6. 全種類表示

蓄積されているすべての文書を表示します。セキュリティーの設定によっては全ての文書が表示されない場合があります。

7. ユーザー ID 別文書

ユーザー ID 選択画面に表示を切り替えます。

切り替わったユーザー ID 一覧画面の右下に表示される [前の画面に戻る] を押すと、文書一覧画面に切り替わります。

8. ユーザー ID / 日時 / 文書名

ユーザー ID には、プリンタードライバーで設定したユーザー ID が表示されます。

日時には、パソコンから印刷を指示した時刻が表示されます。

文書名には、文書名が表示されます。

9. 終了

プリンター画面に戻ります。

10. 選択数表示

選択している文書数を表示します。

11. 全ジョブ選択

表示されているすべての文書を選択します。

12. 選択全解除

すべての選択を取り消します。

13. パスワード変更

選択している文書にパスワードが設定されている場合に、そのパスワードを変更できます。また、パスワードの設定が可能でパスワード設定がされていない文書に、パスワードを設定できます。保存文書に対しては、設定されているパスワードが削除できます。

パスワードを変更・削除する場合は、もとのパスワードが必要です。もとのパスワードを知らない場合は変更・削除はできません。

14. 印刷継続

選択している文書を印刷します。

15. 消去

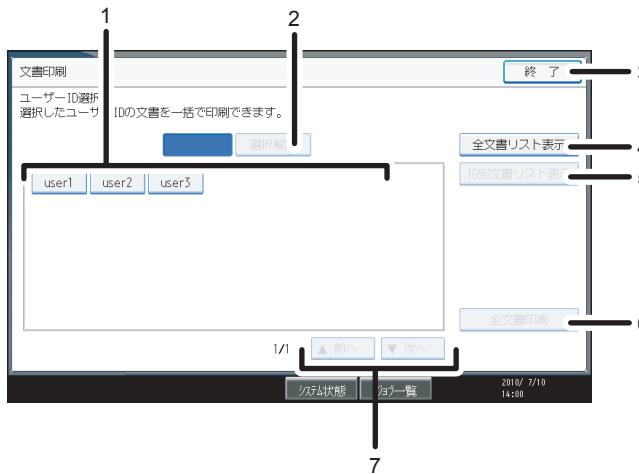
選択している文書を消去します。

16. 前へ / 次へ

文書一覧が一画面に収まらない場合は、一覧をスクロールできます。

ユーザー ID 一覧画面

[プリンター初期設定] の [システム設定] で、[文書印刷初期画面] を [ユーザー ID 選択] に設定すると、[文書印刷] を押したときに次の画面が表示されます。



CAT007D

1. ユーザー ID

蓄積されている文書のユーザー ID 一覧を表示します。

2. 選択解除

選択を取り消します。

3. 終了

プリンター画面に戻ります。

4. 全文書リスト表示

文書一覧画面の表示に切り替えます。切り替わった文書一覧画面の左に表示される [ユーザー ID 別文書] を押すと、ユーザー ID 一覧画面に切り替わります。

5. ID 別文書リスト表示

選択したユーザー ID の文書一覧を表示します。

6. 全文書印刷

選択したユーザー ID の文書を印刷します。同じユーザーが異なる種類の文書を蓄積している場合は、印刷する文書の種類を選択できます。

7. 前へ / 次へ

ユーザー ID 一覧が一画面に収まらない場合は、一覧をスクロールできます。

↓ 補足

- 文書選択画面では、複数の文書を選択できます。選択を取りやめる場合は、反転表示している文書をもう一度押します。
- 文書一覧やユーザー ID 一覧を表示しているときに新たに文書が蓄積された場合、表示は更新されません。表示を更新するには、いったん [終了] を押してプリンター画面に戻ってから、もう一度 [文書印刷] を押してください。
- 本機に多くの文書を蓄積・保存している場合は、お使いの機能によっては機器の反応が一時的に遅くなることがあります。

文書一覧画面から文書を印刷する

試し印刷、機密印刷、保留印刷、保存印刷について説明しています。

試し印刷する

3

複数部数印刷する場合など、最初に1部だけ印刷し、その結果を確認した後に操作部を使用して残り部数を印刷できます。いったん本機にデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータを印刷できます。内容や印刷の指定を間違えたときなどに大量のミスプリントを防ぐことができます。

★ 重要

- 以下の場合、文書は本機に蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー履歴で確認できます。
 - 本機に蓄積されている文書と保存文書の合計が、100 ジョブに達しているとき（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）
 - 1 文書のページ数が 1,000 ページを超えるとき
 - 本機に蓄積されている文書と保存文書がすべてモノクロの場合、送信した文書との合計が 3,000 ページを超えるとき（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）

1 部目を印刷する

- 試し印刷する文書に印刷指示をします。
- プリンタードライバーの【印刷設定】の【基本】タブで、【印刷方法】から【試し印刷】を選択します。
「ワンクリック設定」を選択しているときは、【印刷機能】タブをクリックします。
- 【印刷方法の詳細...】をクリックします。
「印刷方法の詳細」画面が表示されます。
- 【ユーザー ID】を半角英数字 8 文字以内で入力します。
- 【OK】をクリックします。
- 印刷の指示をします。
1 部目が印刷され、本機に文書が蓄積されます。
- 印刷結果を確認し、操作部から 2 部目以降を印刷するか消去するかを指示します。

↓ 補足

- ここでは RPCS プリンタードライバーを使用した場合の説明をしています。PostScript 3 プリンタードライバーを使用した場合の説明については『PostScript 3 編』を参照してください。
- エミュレーションによってはエミュレーション固有のオプションも用意されています。詳しくは、各エミュレーションの使用説明書を参照してください。
- 主電源スイッチを「Off」にしても、蓄積された試し印刷文書は消去されずに残りますが、[一時置き文書自動消去設定] や [保存文書自動消去設定] が優先されます。「一時置き文書自動消去設定」や「保存文書自動消去設定」については、「システム設定」を参照してください。

E 参照

- P.158 「システム設定」

2 部目以降を印刷する

試し印刷で、2 部目以降を印刷する方法について説明します。[プリンター初期設定] の [システム設定] で、[文書印刷初期画面] を [文書リスト] に設定した場合を例にして説明します。

★ 重要

- 印刷が終了すると、蓄積されていた文書は消去されます。

1. [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。
2. [文書印刷] を押します。



3. [試し印刷文書表示] を押します。



3

本機に蓄積されている試し印刷文書の一覧が表示されます。セキュリティーの設定によっては、すべての文書が表示されない場合があります。

4. 印刷したい文書を押して反転表示させます。

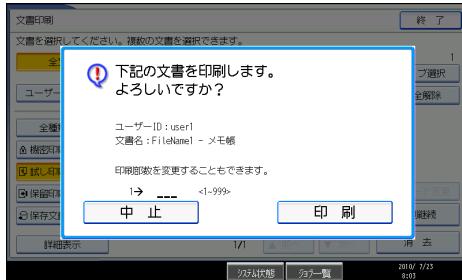


複数の文書を選択できます。選択を取りやめる場合は、反転表示されている文書をもう一度押します。

5. [印刷継続] を押します。

印刷の確認画面が表示されます。

6. 印刷部数を変更する場合はテンキーで部数を入力し、[印刷] を押します。



2部目以降が印刷されます。

↓ 補足

- 印刷を取りやめる場合は、[中止] を押します。
- 複数の文書を選択し、確認画面で部数を指定しなかった場合、印刷対象の文書の中で、プリンタードライバーから指定したもっとも少ない部数より1部少ない部数で、

選択したすべての文書が印刷されます。設定した部数の中でもっとも少ない部数が1の場合は、すべての文書が1部ずつ印刷されます。

- 部数を変更した場合は、選択したすべての文書が変更した部数で印刷されます。
- 2部目以降の印刷中に印刷を中止するには、[終了] を押しプリンター画面を表示させ [ジョブリセット] を押します。この場合、本機に蓄積した文書は消去されます。
- 他のジョブがある場合は、そのジョブの終了後に印刷されます。
- 蓄積した文書を印刷するために必要な用紙サイズまたは用紙種類がトレイにセットされていない場合、操作部に警告画面が表示されます。トレイの設定を変更してください。画面の表示はオプションの装着状態などによって異なります。

試し印刷文書を消去する

試し印刷の内容を確認し、2部目以降を印刷しない場合は、本機に蓄積されている文書を消去します。

1. [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2. [文書印刷] を押します。

3. [試し印刷文書表示] を押します。

本機に蓄積されている試し印刷文書の一覧が表示されます。セキュリティーの設定によっては、すべての文書が表示されない場合があります。

4. 消去したい文書を押して反転表示させます。

複数の文書を選択できます。選択を取りやめる場合は、反転表示されている文書をもう一度押します。

5. [消去] を押します。

消去の確認画面が表示されます。

6. [消去する] を押します。

文書が消去されます。

補足

- 消去を取りやめる場合は、[消去しない] を押します。

機密印刷する

ネットワークでプリンターを共有している場合など、他人に見られたくない文書を印刷するときなどに有効な機能です。いったん本機にデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータを印刷できます。機密印刷を使うと本機の操作部からパスワードを入力しないと印刷できなくなりますので、他人に見られる心配がありません。

★ 重要

- 以下の場合、文書は本機に蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー履歴で確認できます。
- 本機に蓄積されている文書と保存文書の合計が、100 ジョブに達しているとき（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）
- 1 文書のページ数が 1,000 ページを超えるとき
- 本機に蓄積されている文書と保存文書がすべてモノクロの場合、送信した文書との合計が 3,000 ページを超えるとき（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）

3

本機に文書データを送る

- 機密印刷する文書に印刷指示をします。
- プリンタードライバーの【印刷設定】の【基本】タブで、【印刷方法】から【機密印刷】を選択します。
「ワンクリック設定」を選択しているときは、【印刷機能】タブをクリックします。
- 【印刷方法の詳細...】をクリックします。
「印刷方法の詳細」画面が表示されます。
- 【ユーザー ID】を半角英数字 8 文字以内で入力します。
- 【パスワード】を半角数字 4 文字以上 8 文字以内で入力します。
- 【OK】をクリックします。
パスワードの確認画面が表示されます。
- パスワードを再度入力して、【OK】をクリックします。
- 印刷の指示をします。
本機に文書が蓄積されます。
- 操作部でパスワードを入力し、印刷するか消去するかを指示します。

↓ 補足

- ここでは RPCS プリンタードライバーを使用した場合の説明をしています。PostScript 3 プリンタードライバーを使用した場合の説明については『PostScript 3 編』を参照してください。
- エミュレーションによってはエミュレーション固有のオプションも用意されています。詳しくは、各エミュレーションの使用説明書を参照してください。
- 主電源スイッチを「Off」にしても、蓄積された機密印刷文書は消去されずに残りますが、【一時置き文書自動消去設定】や【保存文書自動消去設定】が優先されます。「一時置き文書自動消去設定」や「保存文書自動消去設定」については、「システム設定」を参照してください。

F 参照

- P.158 「システム設定」

操作部を使って機密印刷する

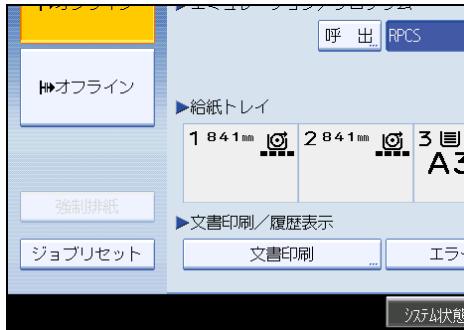
[プリンター初期設定] の [システム設定] で、[文書印刷初期画面] を [文書リスト] に設定した場合を例にして説明します。

★ 重要

- 印刷が終了すると、蓄積されていた文書は消去されます。

3

1. [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。
2. [文書印刷] を押します。



3. [機密印刷文書表示] を押します。



本機に蓄積されている機密印刷文書の一覧が表示されます。セキュリティーの設定によっては、すべての文書が表示されない場合があります。

4. 印刷したい文書を押して反転表示させます。



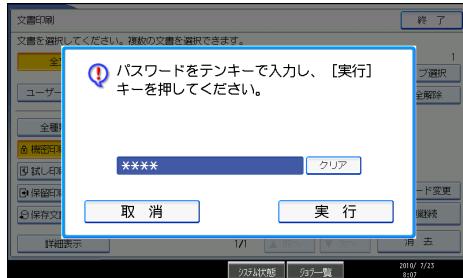
3

複数の文書を選択できます。選択を取りやめる場合は、反転表示している文書をもう一度押します。

5. [印刷継続] を押します。

パスワード入力画面が表示されます。

6. テンキーでパスワードを入力し、[実行] を押します。



印刷の確認画面が表示されます。入力したパスワードが正しくないときは、パスワード確認画面が表示されますので [確認] を押して、再度入力します。

7. [印刷] を押します。

機密印刷文書が印刷されます。

補足

- 印刷を取りやめる場合は、[中止] を押します。
- 複数の文書を選択した場合は、パスワードが一致した文書が印刷の対象になります。確認画面には、印刷される文書数が表示されます。
- 印刷開始後に印刷を中止する方法には、[終了] を押しプリンター画面を表示させ [ジョブリセット] を押します。この場合、本機に蓄積した文書は消去されます。
- 蓄積した文書を印刷するために必要な用紙サイズまたは用紙種類がトレイにセットされていない場合、操作部に警告画面が表示されます。トレイの設定を変更してください。画面の表示はオプションの装着状態などによって異なります。

機密印刷文書を消去する

1. [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2. [文書印刷] を押します。

3. [機密印刷文書表示] を押します。

本機に蓄積されている機密印刷文書の一覧が表示されます。セキュリティーの設定によっては、すべての文書が表示されない場合があります。

4. 消去したい文書を押して反転表示させます。

5. [消去] を押します。

パスワード入力画面が表示されます。

6. テンキーでパスワードを入力し、[実行] を押します。

消去の確認画面が表示されます。

7. [消去する] を押します。

文書が消去されます。

3

補足

- ・消去を取りやめる場合は、[消去しない] を押します。
- ・入力したパスワードが正しくないときは、確認画面が表示されますので [確認] を押して、再度入力します。
- ・複数の文書を選択した場合は、パスワードが一致した文書が消去の対象になります。確認画面には、消去される文書数が表示されます。

保留文書を印刷する

本機に文書を一時的に蓄積し、必要に応じて印刷を行います。複数の文書をまとめて印刷するときなどに有効です。

重要

- ・以下の場合、文書は本機に蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー履歴で確認できます。
 - ・本機に蓄積されている文書と保存文書の合計が、100 ジョブに達しているとき（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）
 - ・1 文書のページ数が 1,000 ページを超えるとき
 - ・本機に蓄積されている文書と保存文書がすべてモノクロの場合、送信した文書との合計が 3,000 ページを超えるとき（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）

本機に文書データを送る

1. 保留文書印刷をする文書に印刷指示をします。
2. プリンタードライバーの【印刷設定】の【基本】タブで、【印刷方法】から【保留印刷】を選択します。
「ワンクリック設定」を選択しているときは、【印刷機能】タブをクリックします。
3. 【印刷方法の詳細...】をクリックします。
「印刷方法の詳細」画面が表示されます。
4. 【ユーザー ID】を半角英数字 8 文字以内で入力します。
5. 【OK】をクリックします。
6. 印刷の指示をします。

文書が本機に蓄積されます。

補足

- ここでは RPCS プリンタードライバーを使用した場合の説明をしています。PostScript 3 プリンタードライバーを使用した場合の説明については『PostScript 3 編』を参照してください。
- エミュレーションによってはエミュレーション固有のオプションも用意されています。詳しくは、各エミュレーションの使用説明書を参照してください。
- 主電源スイッチを「Off」にしても、蓄積された保留印刷文書は消去されずに残りますが、【一時置き文書自動消去設定】や【保存文書自動消去設定】が優先されます。「一時置き文書自動消去設定」や「保存文書自動消去設定」については、「システム設定」を参照してください。
- 保留文書には文書名が設定できます。ただし、必須ではありません。

参照

- P.158 「システム設定」

操作部を使って保留文書を印刷する

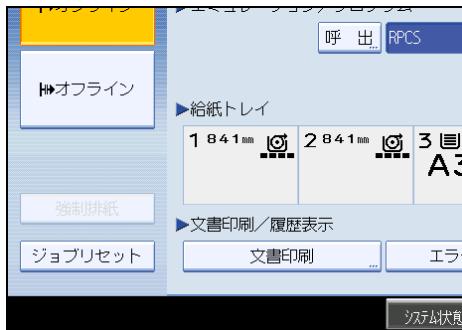
[プリンター初期設定] の【システム設定】で、[文書印刷初期画面] を [文書リスト] に設定した場合を例にして説明します。

★ 重要

- 印刷が終了すると、蓄積されていた文書は消去されます。

1. [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2. [文書印刷] を押します。



3

3. [保留印刷文書表示] を押します。



本機に蓄積されている保留印刷文書の一覧が表示されます。セキュリティーの設定によっては、すべての文書が表示されない場合があります。

4. 印刷したい文書を押して反転表示させます。



複数の文書を選択できます。選択を取りやめる場合は、反転表示している文章をもう一度押します。

5. [印刷継続] を押します。

印刷の確認画面が表示されます。

6. [印刷] を押します。

保留文書が印刷されます。

補足

- 印刷を取りやめる場合は、[中止] を押します。

- 保留印刷文書として蓄積された文書を印刷するときに、部数の変更はできません。
- 印刷開始後に印刷を中止する方法には、[終了] を押しプリンター画面を表示させ [ジョブリセット] を押します。この場合、本機に蓄積した文書は消去されます。
- 蓄積した文書を印刷するために必要な用紙サイズまたは用紙種類がトレイにセットされていない場合、操作部に警告画面が表示されます。トレイの設定を変更してください。画面の表示はオプションの装着状態などによって異なります。

保留印刷文書を消去する

3

1. [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2. [文書印刷] を押します。

3. [保留印刷文書表示] を押します。

本機に蓄積されている保留印刷文書の一覧が表示されます。セキュリティーの設定によっては、すべての文書が表示されない場合があります。

4. 消去したい文書を押して反転表示させます。

5. [消去] を押します。

消去の確認画面が表示されます。

6. [消去する] を押します。

文書が消去されます。

補足

- 消去を取りやめる場合は、[消去しない] を押します。

保存文書を印刷する

本機に文書を蓄積し、必要に応じて印刷を行います。印刷終了後にも文書が消去されないので、繰り返し印刷するときなどに有効です。

★ 重要

- 以下の場合、文書は本機に蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー履歴で確認できます。
 - 本機に蓄積されている文書と保存文書の合計が、100 ジョブに達しているとき（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）
 - 1 文書のページ数が 1,000 ページを超えるとき
 - 本機に蓄積されている文書と保存文書がすべてモノクロの場合、送信した文書との合計が 3,000 ページを超えるとき（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります。）

本機に文書データを送る

1. 保存文書にする文書に印刷指示をします。
2. プリンタードライバーの【印刷設定】の【基本】タブで、【印刷方法】から【プリンターに保存する】または【プリンターに保存して印刷】を選択します。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、【印刷機能】タブをクリックします。

- 【プリンターに保存して印刷】を選択した場合は、1部目をすぐに印刷し、本機にも文書を蓄積します。
- 【プリンターに保存する】を選択した場合は、本機に蓄積のみを行い、後から本機の操作部で印刷を実行します。

3

3. 【印刷方法の詳細...】をクリックします。

「印刷方法の詳細」画面が表示されます。

4. 【ユーザー ID】を半角英数字 8 文字以内で入力します。

5. 【OK】をクリックします。

6. 印刷の指示をします。

本機に文書が蓄積されます。

▼ 補足

- ここでは RPCS プリンタードライバーを使用した場合の説明をしています。PostScript 3 プリンタードライバーを使用した場合の説明については『PostScript 3 編』を参照してください。
- エミュレーションによってはエミュレーション固有のオプションも用意されています。詳しくは、各エミュレーションの使用説明書を参照してください。
- 主電源スイッチを「Off」にしても、蓄積された保存印刷文書は消去されずに残りますが、【一時置き文書自動消去設定】や【保存文書自動消去設定】が優先されます。「一時置き文書自動消去設定」や「保存文書自動消去設定」については、「システム設定」を参照してください。
- 保存文書には文書名とパスワードを設定できます。ただし、どちらも必須ではありません。

□ 参照

- P.158 「システム設定」

操作部を使って保存文書を印刷する

[プリンター初期設定] の【システム設定】で、[文書印刷初期画面] を [文書リスト] に設定した場合を例にして説明します。

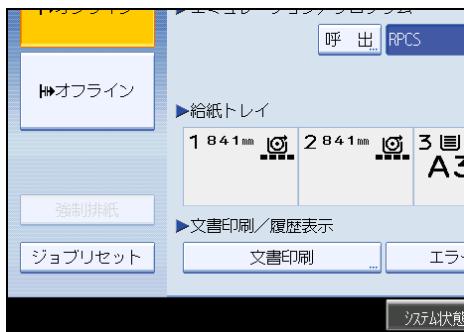
★ 重要

- 印刷が終了しても、蓄積した文書は消去されません。文書を消去する方法は「保存文書を消去する」を参照してください。

1. [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2. [文書印刷] を押します。

3



3. [保存文書表示] を押します。



蓄積されている保存文書の一覧が表示されます。セキュリティーの設定によっては、すべての文書が表示されない場合があります。

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間やユーザー ID、文書名が表示されます。

4. 印刷したい文書を押して反転表示させます。

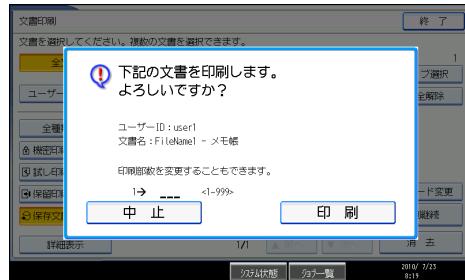


複数の文書を選択できます。選択を取りやめる場合は、反転表示している文書をもう一度押します。

5. [印刷継続] を押します。

印刷の確認画面が表示されます。

6. 印刷部数を変更する場合はテンキーで部数を入力し、[印刷] を押します。



3

保存文書が印刷されます。

印刷が終了しても、保存文書は消去されません。

補足

- 印刷を取りやめる場合は、[中止] を押します。
- 文書にパスワードが設定されている場合は、パスワード入力の画面が表示されます。パスワードを入力してください。
- 複数の文書を選択し、パスワード付の文書が含まれていた場合は、パスワードが一致した文書と、パスワードが設定されていない文書が印刷の対象になります。確認画面には、印刷される文書数が表示されます。
- 複数の文書を選択し、確認画面で印刷部数を指定しなかった場合、印刷対象の文書の中でプリンタードライバーから指定したもっとも少ない部数で、選択したすべての文書が印刷されます。
- 部数を変更した場合は、印刷対象のすべての文書が変更した部数で印刷されます。
- 印刷開始後に印刷を中止するには、[終了] を押しプリンター画面を表示させ [ジョブリセット] を押します。この場合、本機に蓄積した文書は消去されません。
- 蓄積した文書を印刷するために必要な用紙サイズまたは用紙種類がトレイにセットされていない場合、操作部に警告画面が表示されます。トレイの設定を変更してください。画面の表示はオプションの装着状態などによって異なります。

参照

- P.109 「保存文書を消去する」

保存文書を消去する

1. [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2. [文書印刷] を押します。

3. [保存文書表示] を押します。

蓄積されている保存文書の一覧が表示されます。セキュリティーの設定によっては、すべての文書が表示されない場合があります。

4. 消去したい文書を押して反転表示させます。

5. [消去] を押します。

消去の確認画面が表示されます。

6. [消去する] を押します。

文書が消去されます。

3

↓ 補足

- ・消去を取りやめる場合は、[消去しない] を押します。
- ・文書にパスワードが設定されている場合は、パスワード入力の画面が表示されます。パスワードを入力してください。
- ・複数の文書を選択し、パスワード付きの文書が含まれていた場合は、パスワードが一致した文書と、パスワードが設定されていない文書が消去の対象になります。確認画面には、消去される文書数が表示されます。

ユーザー ID 一覧から文書を印刷する

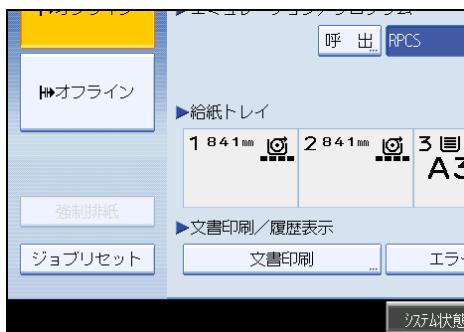
ユーザー ID 一覧から文書を選択し、印刷する方法について説明します。

[プリンター初期設定] の [システム設定] で、[文書印刷初期画面] を [ユーザー ID 選択] に設定すると、文書を蓄積したユーザー ID の一覧から印刷する文書を選択できます。

文書を選択して印刷する場合

1. [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2. [文書印刷] を押します。



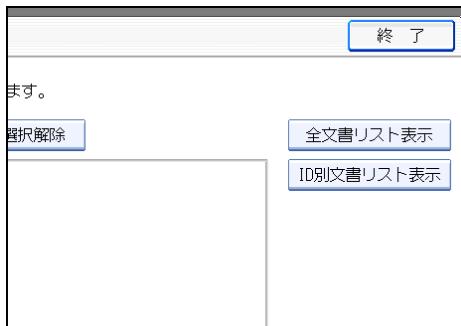
本機に文書を蓄積したユーザーの ID 一覧が表示されます。

3. 印刷したいユーザー ID を押します。



複数のユーザー ID を同時に選択できません。

4. [ID 別文書リスト表示] を押します。



3

選択した ID のユーザーが蓄積した文書一覧が表示されます。選択を取りやめる場合は、[選択解除] を押します。

5. 印刷する文書を押して反転表示させます。



6. [印刷確認] を押します。

印刷の確認画面が表示されます。

7. [印刷] を押します。

選択した文書が印刷されます。

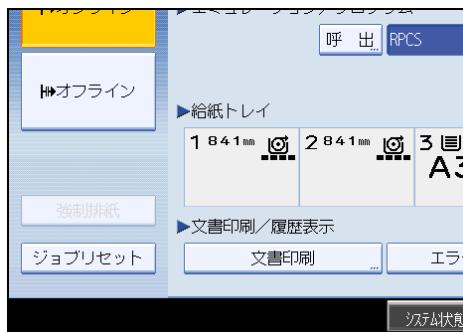
文書をすべて印刷する場合

★ 重要

- 印刷が終了すると、試し印刷、機密印刷文書、保留印刷文書は消去されます。保存文書は、消去されません。文書を消去する方法は「保存文書を消去する」を参照してください。

1. [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2. [文書印刷] を押します。



3

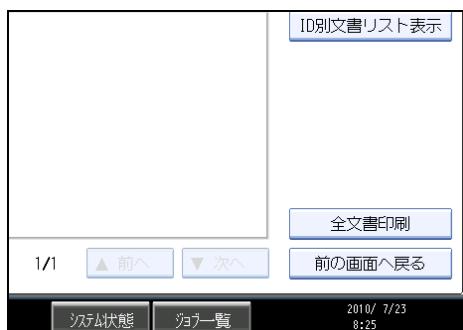
本機に文書を蓄積したユーザーの ID 一覧が表示されます。

3. 印刷したいユーザー ID を押します。



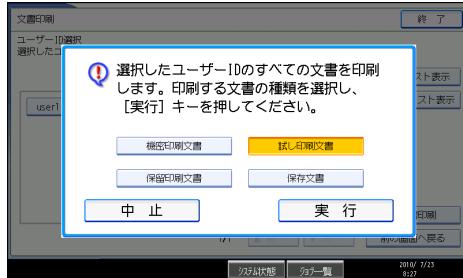
複数のユーザー ID を同時に選択できません。

4. [全文書印刷] を押します。



印刷する文書の種類を選択する画面が表示されます。

5. 印刷する文書の種類を選択し、[実行] を押します。



3

印刷の確認画面が表示されます。

選択した ID のユーザーがひとつの種類の文書だけを蓄積していた場合は、この画面は表示されません。

6. [印刷] を押します。

印刷が実行されます。

補足

- 印刷を取りやめる場合は [中止する] を押します。
- 蓄積されていない種類の文書は選択できません。
- 複数の文書を選択し、確認画面で印刷部数を指定しなかった場合、印刷対象の文書の中でプリンタードライバーから指定したもっとも少ない部数で、選択したすべての文書が印刷されます。
- 複数の文書がある試し印刷文書を選択し、確認画面で部数を指定しなかった場合は、設定した中でもっとも少ない部数より 1 部少ない部数で、選択したすべての文書が印刷されます。設定した部数の中でもっとも少ない部数が 1 の場合は、すべての文書が 1 部ずつ印刷されます。
- 機密印刷文書を選択した場合は、パスワード入力画面が表示されます。複数のパスワードが設定してある場合は、パスワードが一致した文書が印刷の対象になります。
- 保存文書を選択した場合、蓄積されている保存文書にパスワードが設定されているときは、パスワード入力画面が表示されます。複数のパスワードが設定してある場合は、パスワードが一致した文書とパスワードが設定されていない文書が印刷の対象になります。

参照

- P.109 「保存文書を消去する」

ジョブを管理する

コピー、ドキュメントボックス、プリンターなどの機能から印刷すると、一時的に本機に記憶され、順番に実行されます。ジョブ一覧機能を利用してことで、蓄積されたジョブを管理できます。

例えば、設定を間違えたジョブを取り消したい、急ぎの文書を先に印刷したいなど、さまざまな状況に対応できます。

補足

- ・ジョブ一覧機能は、割り込みコピー中は使えません。
- ・スキャナー機能から印刷した文書はジョブ一覧で表示されません。

3

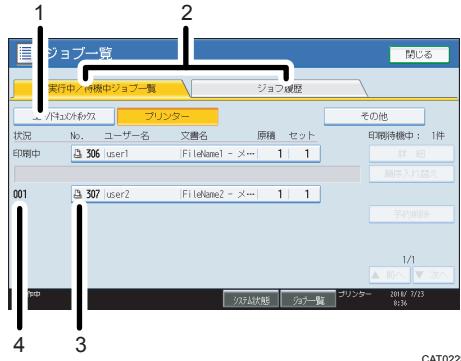
ジョブ一覧画面

ジョブ一覧画面で表示される画面とアイコンについて説明します。

[システム初期設定] にある [基本設定] の [印刷優先機能設定] で行う設定によって、表示される画面が異なります。[印刷優先機能設定] の設定項目については『ネットワーク＆システム初期設定編』「基本設定」を参照してください。

[印刷優先機能設定] で [予約順印刷] を選択していないとき

機能ごとにジョブ一覧を表示します。



[印刷優先機能設定] で [予約順印刷] を選択しているとき

全ての機能のジョブ一覧を印刷順に表示します。



3

- 機能ごとにジョブリストを切り替えます。
- 【実行中 / 待機中ジョブ一覧】と【ジョブ履歴】を切り替えます。
- 印刷した機能が表示されます。
 - : コピー機能で印刷するジョブ
 - : プリンター機能で印刷するジョブ
 - : ドキュメントボックス機能で印刷するジョブ
 - : Web Image Monitor で印刷するジョブ
- 予約番号が表示されます。

ジョブの内容を確認する

ジョブの内容を確認できます。

- 【ジョブ一覧】を押します。
- 内容を確認したいジョブを選択します。
- 【詳細】を押し、内容を確認します。



- 【閉じる】を押します。

ジョブの順序を入れ替える

予約待ちジョブリストの印刷順序を入れ替えます。

1. [ジョブ一覧] を押します。
2. 順序を入れ替えたいジョブを選択します。
3. [順序入れ替え] を押します。



4. [▲先頭へ] [▲前へ] [▼次へ] [▼最後へ] を押して、入れ替える順序を選択します。



5. [OK] を押します。

ジョブの印刷を保留する

印刷中、または実行待ちのジョブの印刷を保留します。

1. [ジョブ一覧] を押します。
2. 印刷を保留したいジョブを選択します。

3. [印刷保留] を押します。



3

選択したジョブ以降のジョブがすべて保留となります。印刷が保留中のジョブ No. の前に、「保留中」と表示されます。

補足

- ・[システム初期設定] にある [基本設定] の [印刷優先機能設定] で [予約順印刷] を選択しているときだけ使用できる機能です。
- ・印刷を再開するには、[印刷再開] を押します。

ジョブを削除する

印刷中、または予約待ちのジョブを削除できます。

1. [ジョブ一覧] を押します。
2. 削除したいジョブを選択します。
複数の文書を削除するときは、削除する文書をすべて選択します。
3. [予約削除] を押します。



確認画面が表示されます。

4. [削除する] を押します。

ジョブの履歴を確認する

印刷が終了したジョブの履歴を確認できます。また、印刷が終了したジョブの内容も確認できます。

★ 重要

- [コピー/ドキュメントボックス]、[プリンター]、[その他] のカテゴリー別で、最新 100 件のジョブ履歴が表示されます。表示順は、ジョブが終了した順番ではなく、ログが作成された順番になります。

1. [ジョブ一覧] を押します。

2. [ジョブ履歴] を押します。

今までに実行したジョブの一覧が表示されます。

3. 内容を確認したいジョブを選択します。

4. [詳細] を押し、内容を確認します。

5. [閉じる] を押します。

3

印刷を中止する

印刷を中止する場合は、本機とパソコン両方から行います。中止する方法は印刷データの状態によって異なりますので、状況を確認し、以下の手順で操作してください。

1. 印刷を中止したいデータが、現在本機から印刷されているか確認します。

データが印刷されていなくてもデータインランプが点滅・点灯していれば、本機はデータを受信しています。

3

2. 印刷を中止します。

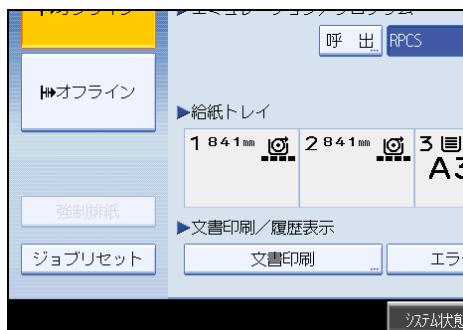
データの印刷状況によって、次のいずれかの操作を行ってください。

中止したいデータが印刷されている場合

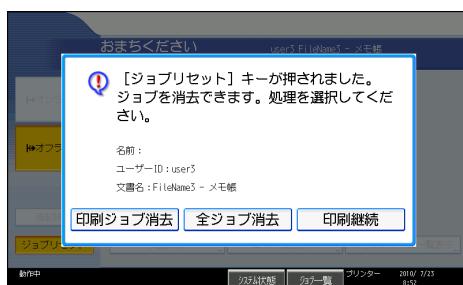
印刷を中止したいデータが印刷されている場合の、操作方法について説明します。

1. [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2. [ジョブリセット] を押します。



3. 印刷中のジョブを消去するときは【印刷ジョブ消去】、本機に送信したすべてのジョブを消去するときは【全ジョブ消去】を押します。



消去の確認画面が表示されます。

4. [消去する] を押します。

文書が消去されます。

↓ 補足

- ・印刷を続けるときは、[印刷継続] を押します。
- ・消去を取りやめるときは、[消去しない] を押します。
- ・印刷を中止し、いったん印刷は中止されたにもかかわらず、データ途中から印刷が再び開始されるときは、[プリンター初期設定] の [インターフェース設定] の [インターフェース切替時間] を長くしてください。
- ・大容量データの印刷を中止したいときは、[ジョブリセット] を押した後、パソコン側からも印刷を中止することをお勧めします。

3

中止したいデータが印刷されていない場合

印刷を中止したいデータがまだ印刷されていない場合の、操作方法について説明します。

1. Windows のタスクトレイのプリンターアイコンをダブルクリックします。

印刷中のプリンターのウィンドウが開くので、印刷を中止する文書の状態を確認します。

2. 印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。

3. [ドキュメント] メニューの [キャンセル] をクリックします。

4. [はい] をクリックします。

印刷が中止されます。

↓ 補足

- ・[プリンタ] メニューの [すべてのドキュメントの取り消し] をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、[すべてのドキュメントの取り消し] を使って印刷を中止するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。
- ・印刷の中止を選択したドキュメントの印刷が開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。

エラー履歴を確認する

エラーなどにより文書を印刷できなかった場合は、エラー履歴が残り、操作部で確認できます。

★ 重要

- エラー履歴には最新の30件が蓄積されます。すでに30件が蓄積されているときに新たなエラーが加わると、最も古い履歴が消去されます。ただし最も古い履歴が次の文書の場合は消去されずに、蓄積エラーとして30件まで別に蓄積されます。エラー履歴として、どちらの履歴も確認できます。
- 試し印刷文書
- 機密印刷文書
- 保留印刷文書
- 保存文書
- 主電源スイッチを「Off」にすると、それまでの履歴は消去されます。

3

1. [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。
2. [エラー履歴表示] を押します。



エラー履歴が表示されます。セキュリティーの設定によっては、すべてのエラー履歴が表示されない場合があります。

3. エラー履歴の種類を選びます。

[全種類表示]、[機密印刷文書表示]、[試し印刷文書表示]、[保留印刷文書表示]、[保存文書表示] から選択できます。

4. 確認したいエラー履歴を押して反転表示させ、[詳細表示] を押します。

エラー履歴の詳細が表示されます。

確認し終わったら [終了] を押します。プリンター画面に戻ります。

↓ 補足

- エラー履歴の一覧に戻る場合は、[一覧表示] を押します。

4. ファイルを直接印刷する

PDF ファイルを直接印刷するには、コマンドを使って印刷する方法があります。

コマンドを使用して印刷する

ftp、sftp、lpr などのコマンドを使用して、PDF ファイルを直接印刷できます。

補足

- Windows OS でコマンドを使用して直接印刷する方法については、『ネットワーク & システム初期設定編』「Windows からのファイル直接印刷」を参照してください。
- UNIX コマンドでの直接印刷する方法については、『ネットワーク & システム初期設定編』「オプション指定」を参照してください。

4

PDF ファイルを送信する

PDF ファイルを送信する方法について説明します。ここでは、lpr の場合を例として説明します。

lpr コマンドでは、本機の IP アドレスのほか、PDF ファイル名を指定します。書式は次のとおりです。

C:>lpr -S 本機の IP アドレス（またはホスト名） [-o] ¥パス¥ファイル名

PDF パスワードを設定する

パスワード保護された PDF ファイルを直接印刷する方法について説明します。

パスワード保護された PDF ファイルを直接印刷するには、操作部または Web Image Monitor のいずれかでパスワードを指定します。

操作部を使う

操作部を使用して PDF パスワードを設定するには、[プリンター初期設定] の [PDF 設定] で [PDF パスワード変更] を設定します。

Web Image Monitor を使う

Web Image Monitor を使用して PDF パスワードを設定するには、[設定] の [PDF 一時パスワード] を設定します。

4. ファイルを直接印刷する

4

5. ドキュメントボックスに文書を蓄積して印刷する

ドキュメントボックスを利用して、蓄積した文書を印刷する方法について説明します。

概要

ドキュメントボックスを利用するとパソコンで作成した原稿を本機のハードディスクに蓄積し、本機の操作だけで必要なときに必要な条件（ソート、スタンプなど）で印刷ができます。

複数の文書がドキュメントボックスに送られていても、本機の操作部で文書を選んで印刷するので他人の文書と混ざることはありません。また、パソコンから送られたデータを直接印刷するので高品質を保つことができます。印刷時は本機のハードディスクに展開済みのデータが対象なので高速印刷でき、待ち時間もわずかです。

★ 重要

- 万一、本機のハードディスクに不具合が発生した場合、記録保存したデータが消失する場合があります。ハードディスクを重要なデータの記録保存には使用しないことをお勧めします。お客様のデータの消失による損害につきましては、当社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- ドキュメントボックスにデータを送っているときは、途中でキャンセルしないでください。正しくキャンセルされないことがあります。誤ってキャンセルした場合は、送信したデータを本機の操作部で消去してください。ドキュメントボックスに蓄積した文書を消去する方法については、『コピー機能＆ドキュメントボックス機能編』「ドキュメントボックスを使う」または Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- 工場出荷時の設定では、ドキュメントボックスに蓄積された文書は、蓄積してから 3 日（72 時間）後に消去されます。文書の自動消去をしない、あるいは一定日数経過後に自動的に消去するように設定を変えることができます。ドキュメントボックス蓄積文書自動消去の設定変更については、『ネットワーク＆システム初期設定編』「管理者用設定」を参照してください。
- ドキュメントボックスに蓄積できる文書数は 3,000 件までです。蓄積文書が 3,000 件に達すると新しい文書が蓄積されなくなります。ただし、蓄積文書数が 3,000 件に達しないときでも、次の場合は新しい文書は蓄積されません。
 - 1 文書の総ページ数が 1,000 ページを超えた場合
 - 蓄積文書の総ページ数が、モノクロのデータだけで 3,000 ページを超えた場合
 - ハードディスクの容量がなくなった場合

パソコンで作成したデータをドキュメントボックスに送ります。ユーザー ID などの設定方法は、ご使用の OS やプリンタードライバーによって異なります。

以下のプリンタードライバーがご使用になれます。

Windows

- RPCS（標準）

プリンタードライバーの【基本】タブ（機能別ウィンドウ選択時）または【印刷機能】タブ（ワンクリック設定選択時）にある【印刷方法】で設定できます。

- PostScript 3（オプション）

プリンタードライバーの【かんたん設定】タブ、または【詳細設定項目】タブの【ジョブの設定】メニューにある【印刷方法】で設定できます。

Macintosh（PostScript 3 オプション）

プリンタードライバーの【蓄積 / 履歴】メニューで設定できます。

 **補足**

5

- なお、蓄積文書には、原稿テーブルから読み取ってドキュメントボックスに蓄積した文書も含まれます。不要になった文書はできるだけ消去してください。ドキュメントボックスに蓄積した文書を消去する方法については、『コピー機能＆ドキュメントボックス機能編』「ドキュメントボックスを使う」または Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- ドキュメントボックス以外の機能でハードディスクを使用しているときは、規定の文書数に達する前に蓄積できなくなる場合があります。

Windows で RPCS (標準) をご使用の場合

ドキュメントボックスを、Windows 環境の RPCS (標準) で使用する方法について説明します。

RPCS (標準) での設定方法

アプリケーションから蓄積する方法について説明します。ここでは、Windows XP に付属の「ワードパッド」を例にします。手順で説明している画面の表示は、アプリケーションによって異なる場合があります。

1. 蓄積する文書をアプリケーションで開き、[ファイル] から [印刷] を選択します。
2. [プリンタの選択] で本機を右クリックし、表示されたメニューから [印刷設定] を選択します。



3. [印刷方法] ボックスのドロップダウンメニューから [ドキュメントボックスに蓄積する] を選択します。



ドキュメントボックスを使うとき、機能の一部が設定できなくなります。メッセージが表示されたら [OK] をクリックします。

4. ユーザー名、文書名、パスワードを設定したいときは、[印刷方法の詳細...] をクリックします。

すべて省略することも、一部省略もできます。すべて省略するときは手順 7 に進みます。

5. 必要に応じて [ユーザー名]、[文書名]、[パスワード] を入力し、[OK] をクリックします。

ユーザー名は全角 8 文字、半角 16 文字まで、文書名は全角 8 文字、半角 16 文字まで、パスワードは半角数字 4 文字以上 8 文字以内で入力します。

6. パスワードを入力した場合は、パスワードの確認画面が表示されます。

入力したパスワードを再度入力し、[OK] をクリックします。

入力したパスワードは忘れないようにしてください。

7. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。

5

8. [OK] をクリックして設定画面を閉じます。

印刷画面に戻ります。

9. [印刷] をクリックします。

ドキュメントボックスに文書が蓄積されます。

 **補足**

- 蓄積文書の印刷方法については、『コピー機能&ドキュメントボックス機能編』「蓄積文書を印刷する」を参照してください。
- [印刷方法の詳細...] については、「RPCS（標準）での設定項目」を参照してください。

 **参照**

- P.128 「RPCS（標準）での設定項目」

RPCS（標準）での設定項目

RPCS プリンタードライバー画面の表示にしたがって、ドキュメントボックスを使うために必要な項目について説明します。

[基本] タブ



1. 印刷方法

ドキュメントボックスを利用するときにドロップダウンメニューから [ドキュメントボックスに蓄積する] を選択します。

2. 印刷方法の詳細...

[印刷方法の詳細] ダイアログを表示します。ユーザー名、文書名、パスワードの設定ができますが、これらを設定しなくともドキュメントボックスに文書を蓄積できます。

3. パスワード

蓄積した文書を他人に印刷されたり消去されたりしないよう、パスワードの設定ができます。4文字以上8文字以内の半角数字を入力してください。

4. 文書名

蓄積する文書名を設定します。全角8文字以内、半角16文字以内で入力してください。全角と半角をまぜて使うときは、全角1文字を半角2文字分で計算してください。ここで設定した文書名は、本機のドキュメントボックス一覧に表示されます。

5. ユーザー名

ユーザー名を設定します。全角8文字以内、半角16文字以内で入力してください。全角と半角をまぜて使うときは、全角1文字を半角2文字分で計算してください。ここで設定したユーザー名は、本機のドキュメントボックス一覧に表示されます。

送信時に無効となる項目

本機のドキュメントボックスで設定可能な印刷条件（給紙トレイ、部数、ソートなど）は、プリンタードライバーで指定しても無効となります。本機のドキュメントボックスで設定してください。

本機のドキュメントボックスで印刷条件を設定する方法については、『コピー機能&ドキュメントボックス機能編』「蓄積文書を印刷する」を参照してください。

補足

- 原稿サイズと印刷用紙サイズで、不定形サイズを選択できません。

- 表計算ソフトなどはシート単位で印刷してください。ブック全体を印刷する機能には対応していません。
- プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法や、ドキュメントボックス以外の設定については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows で PostScript 3 (オプション) をご使用の場合

ドキュメントボックスを、Windows 環境の PostScript 3 (オプション) で使用する方法について説明します。

★ 重要

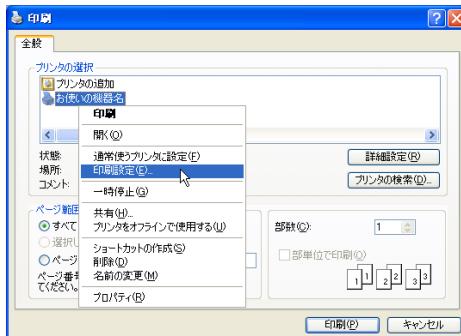
- Adobe PageMaker からは、ドキュメントボックスを利用できません。

PostScript 3 (オプション) での設定方法

Windows XP 上のアプリケーションから蓄積する方法について説明します。

ここでは Windows XP に付属の「ワードパッド」で作成した文書を使って、プリンタードライバーの「かんたん設定」タブから設定をする方法を例にして説明します。手順で説明している画面の表示は、アプリケーションによって異なる場合があります。

1. 蓄積する文書をアプリケーションで開き、[ファイル] から [印刷] を選択します。
2. [プリンタの選択] で本機を右クリックし、表示されたメニューから [印刷設定] を選択します。



3. [かんたん設定] タブをクリックします。

4. [印刷方法] ボックスのドロップダウンメニューから [ドキュメントボックスに蓄積] を選択します。



5. [詳細...] をクリックします。

5

6. [ユーザー ID] にユーザー ID が表示されていないときは、ユーザー ID を入力します。

ユーザー ID は半角英数字 8 文字まで入力できます。

ユーザー ID は、省略することもできます。

7. [文書名] と [パスワード] を入力して [OK] をクリックします。

文書名とパスワードは、省略もできます。

文書名は全角 8 文字（半角 16 文字）まで、パスワードは半角数字 4 文字以上 8 文字以内で入力します。

8. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。

9. [OK] をクリックして設定画面を閉じます。

印刷画面に戻ります。

10. [印刷] をクリックします。

ドキュメントボックスに文書が蓄積されます。

↓ 補足

- ・パスワードを入力した場合は忘れないでください。忘れるとき印刷できなくなります。
- ・ドキュメントボックスを使うとき、機能の一部が設定できなくなります。設定できない項目については本機の操作部を使用して設定してください。
- ・[詳細...] については、「PostScript 3（オプション）での設定項目」を参照してください。

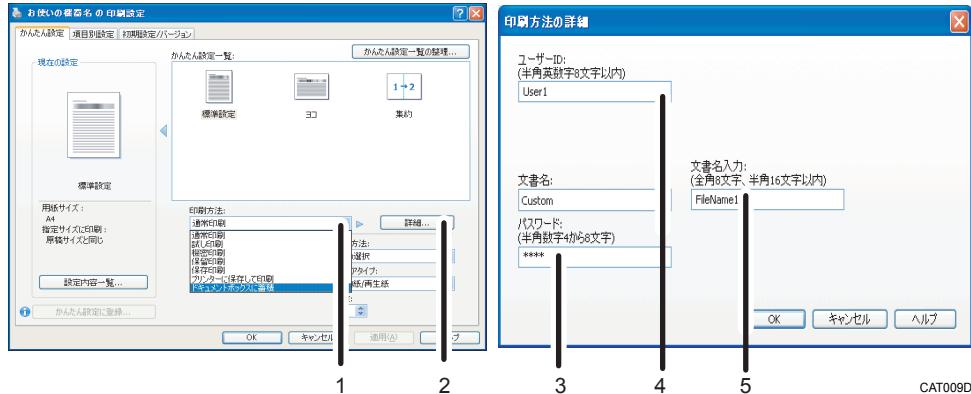
目 参照

- P.133 「PostScript 3（オプション）での設定項目」

PostScript 3 (オプション) での設定項目

PostScript 3 プリンタードライバー画面の表示にしたがって、ドキュメントボックスを使うために必要な項目について説明します。

[かんたん設定] タブ



1. 印刷方法

ドキュメントボックスを利用するときにドロップダウンメニューから [ドキュメントボックスに蓄積する] を選択します。

2. 詳細...

[印刷方法の詳細] ダイアログを表示します。ユーザー名、文書名、パスワードの設定ができますが、これらを設定しなくともドキュメントボックスに文書を蓄積できます。

3. パスワード

蓄積した文書を他人に印刷されたり消去されたりしないよう、パスワードの設定ができます。4 文字以上 8 文字以内の半角数字を入力してください。

4. ユーザー ID

文書の作成者を区別するための名称です。

半角の英数字 8 文字以内で入力します。

ユーザー ID が他人と重複すると文書の区別がしづらくなるのでご注意ください。

ここで設定したユーザー ID が、本機のドキュメントボックス一覧のユーザー名に表示されます。

5. 文書名

蓄積する文書名を設定します。文書名を任意に入力する場合は、[Custom] を選択し、[文書名入力] に全角 8 文字 (半角 16 文字) 以内で入力してください。文書名を自動で設定する場合は、[Automatic] を選択してください。ここで設定した文書名は、本機のドキュメントボックス一覧に表示されます。

送信時に無効となる項目

本機のドキュメントボックスで設定可能な印刷条件（給紙トレイ、部数、ソートなど）は、プリンタードライバーで指定しても無効となります。本機のドキュメントボックスで設定してください。

本機のドキュメントボックスで印刷条件を設定する方法については、『コピー機能＆ドキュメントボックス機能編』「蓄積文書を印刷する」を参照してください。

▼ 補足

- 表計算ソフトなどはシート単位で印刷してください。ブック全体を印刷する機能には対応していません。

Macintosh でご使用の場合

ドキュメントボックスを、Macintosh で使用する場合の方法について説明します。

Mac OS X での設定方法

Mac OS X 上のアプリケーションから蓄積する方法について説明します。

ここでは Mac OS X 10.5 を例に説明します。

 **重要**

- Mac OS X をご使用の場合、Mac OS X 10.2 以降がインストールされている必要があります。

1. 蓄積する文書をアプリケーションで開き、[ファイル] から [プリント...] を選択します。
2. ポップアップメニューの [蓄積/履歴] をクリックします。



3. [ユーザー ID] にユーザー ID を入力します。

ユーザー ID は半角英数文字 8 文字まで入力できます。

[ユーザー ID] は、省略することもできます。



5

4. [印刷方法] のポップアップメニューから [ドキュメントボックス] をクリックします。

5. [文書名] と [パスワード] を入力します。

[文書名] と [パスワード] は、省略もできます。

文書名は半角英数字 16 文字まで、パスワードは半角数字 4 文字以上 8 文字以内で入力します。

6. 必要に応じて、その他の印刷条件を設定します。

7. [プリント] をクリックします。

印刷を開始します。

↓ 補足

- パスワードを入力した場合は忘れないでください。忘れるとき印刷できなくなります。
- ドキュメントボックスを使うとき、機能の一部が設定できなくなります。設定できない項目については本機の操作部を使用して設定してください。
- [蓄積/履歴] については、「Mac OS X での設定項目」を参照してください。

目 参照

- P.136 「Mac OS X での設定項目」

Mac OS X での設定項目

PostScript 3 プリンタードライバー画面の表示にしたがって、ドキュメントボックスを使うために必要な項目について説明します。

ここでは Mac OS X 10.5 を例に説明します。

[蓄積 / 履歴] メニュー



5

1. 蓄積 / 履歴メニュー

ドキュメントボックスを利用するときに選択します。

2. ユーザー ID

文書の作成者を区別するための名称です。

半角の英数字 8 文字以内で入力します。

ユーザー ID が他人と重複すると文書の区別がしづらくなるのでご注意ください。

ここで設定したユーザー ID に対応したユーザー名が、本機のドキュメントボックス一覧に表示されます。

3. 印刷方法

ドキュメントボックスを利用するときにドロップダウンメニューから [ドキュメントボックス] を選択します。

4. 文書名

蓄積する文書名を設定します。半角の英数字 16 文字以内で入力してください。ここで設定した文書名は、本機のドキュメントボックス一覧に表示されます。

5. パスワード

蓄積した文書を他人に印刷されたり消去されたりしないよう、パスワードの設定ができます。4 文字以上 8 文字以内の半角数字を入力してください。

送信時に無効となる項目

本機のドキュメントボックスで設定可能な印刷条件（給紙トレイ、部数、ソートなど）は、プリンタードライバーで指定しても無効となります。本機のドキュメントボックスで設定してください。

本機のドキュメントボックスで印刷条件を設定する方法については、『コピー機能 & ドキュメントボックス機能編』「蓄積文書を印刷する」を参照してください。

5. ドキュメントボックスに文書を蓄積して印刷する

補足

- 表計算ソフトなどはシート単位で印刷してください。ブック全体を印刷する機能には対応していません。

蓄積文書を管理する

TCP/IP を使って、本機をネットワークプリンターとして使用している場合、Web Image Monitor を使って、ネットワーク上のパソコンから本機のドキュメントボックスに蓄積されている文書を確認したり、消去したりできます。本機から離れた場所から印刷している場合、本機の操作部で確認しなくとも遠隔操作で確認ができます。

↓ 補足

- Web Image Monitor の操作方法については、『ネットワーク & システム初期設定編』「Web ブラウザーを使う」、または Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

5. ドキュメントボックスに文書を蓄積して印刷する

5

6. 印刷条件を設定する

MS-DOS または UNIX (アプリケーション) から印刷する場合に、必要な印刷条件の設定方法について説明します。

印刷条件について

MS-DOS または UNIX (アプリケーション) から印刷する場合に、必要な印刷条件の設定方法について説明します。

印刷データを正しく印刷するには、アプリケーションやパソコンに合わせた印刷条件を設定する必要があります。正しい印刷条件を設定しないと、思いどおりの印刷結果が得られません。

印刷条件の設定は、本機の操作部を使用して行います。このあと印刷条件の設定について、RP-GL/GL2 を例にして説明します。

なお Windows でプリンタードライバーを使用して印刷する場合は、プリンタードライバーで印刷条件を設定するため、本機で設定する必要はありません。

選択しているエミュレーションによっては、印刷条件の設定がないものもあります。この場合、印刷条件の設定はプリンタードライバー側で行ってください。

RTIFF、RPGL (RP-GL/GL2) などの各エミュレーションでの印刷条件については、それぞれの使用説明書を参照してください。

エミュレーションを切り替える

エミュレーションを切り替える方法について説明します。

1. [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2. [呼出] を押します。



3. エミュレーションを押して選択します。

6



4. [OK] を押します。

呼び出したエミュレーションの画面が表示されます。

印刷条件を設定する

印刷条件の設定方法と、項目について説明します。

印刷条件の設定方法

印刷条件の設定方法について説明します。

★ 重要

- この設定を行う前には、[プリンター初期設定] にある [システム設定] で [エミュレーション検知] を [しない] に設定してください。[エミュレーション検知] の設定が [する] になっていると、意図したプログラムが呼び出されず意図しない印刷結果になることがあります。
- 本機の主電源スイッチを「Off」にしたときに、「印刷条件」は初期値に戻ります。
- ほかのエミュレーションに切り替わったとき「印刷条件」は初期値に戻ります。

使用頻度が高いアプリケーションの環境は、プログラム登録しておくことをお勧めします。プログラムを登録しておくと、エミュレーションが切り替わったり、本機の主電源スイッチを「Off」にしても、プログラムを呼び出せば、同じ条件で印刷ができます。

6

1. [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2. [印刷条件] を押します。



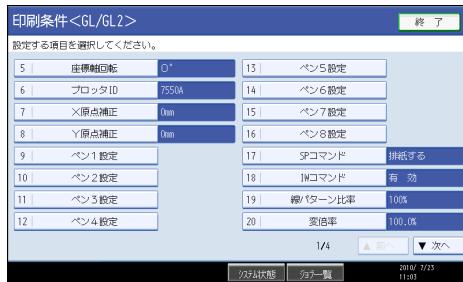
エミュレーションごとの印刷条件を設定する画面が表示されます。

選択しているエミュレーションが本機で印刷条件を設定できない場合、[印刷条件] が画面に表示されません。

3. 項目を選び、設定を変更して、[OK] を押します。

表示されているページを切り替えるには [▲前へ] [▼次へ] を押します。

6. 印刷条件を設定する



4. [終了] を押します。

プリンター画面に戻ります。

印刷条件リストを印刷する

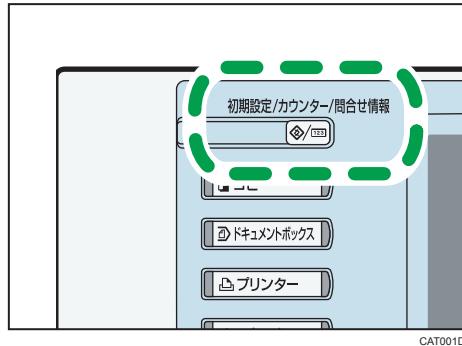
印刷条件リストの印刷方法について説明します。

現在設定されている印刷条件の一覧を印刷して確認できます。

6

- ★ 重要
- 現在使用しているエミュレーションから他のエミュレーションに切り替えると、現在使用しているエミュレーションの設定内容は初期値に戻ります。

1. [初期設定/カウンター/問合せ情報] キーを押します。

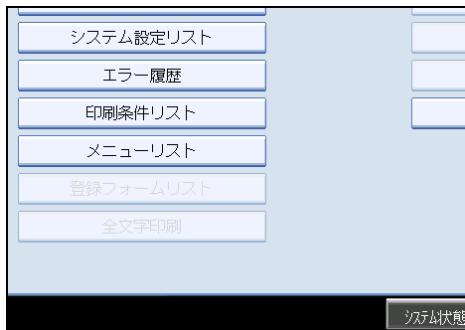


[初期設定/カウンター/問合せ情報] 画面が表示されます。

2. [プリンター初期設定] を押します。

[プリンター初期設定] 画面が表示されます。

3. [印刷条件リスト] を押します。



印刷条件リストが印刷されます。

4. 印刷が終わったら [初期設定/カウンター/問合せ情報] キーを押します。

通常画面に戻ります。

↓ 補足

- RPCS や PostScript 3 (オプション) など印刷条件が設定できないエミュレーションを選択しているときは、印刷条件リストを印刷できません。
- 印刷条件リストの見方については、各エミュレーションの使用説明書にてご確認ください。

よく使う設定を登録する

印刷条件の登録方法について説明します。

プログラムを登録する

設定した印刷条件をプログラム登録する方法について説明します。

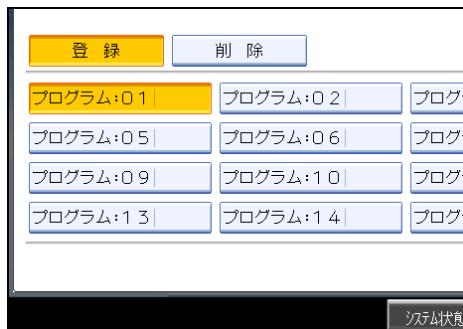
1. [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。
2. [登録] を押します。



6

[エミュレーション / プログラム登録 / 削除] 画面が表示されます。

3. 登録先のプログラム番号を押します。



4. [OK] を押します。

登録したプログラムの初期画面が表示されます。

補足

- プログラムを登録すると、登録した順にユーザーモリースイッチ番号が設定されます。ユーザーモリースイッチ番号は、エミュレーションごとに、登録された順番で「1」から自動的に採番されます。ユーザーモリースイッチ番号は、印刷条件リストの<プログラムキー登録状況>で確認できます。印刷条件リストの見方については、各エミュレーションの使用説明書にてご確認ください。

- ・メニュー プロテクトが設定されていると、[登録] を押したときにアクセスコードの入力画面が表示されることがあります。この場合は、アクセスコードをテンキーで入力してください。「メニュー プロテクト」については、『ネットワーク&システム初期設定編』「初期設定を変更する」を参照してください。

プログラムを呼び出す

登録したプログラムを呼び出す方法について説明します。

★ 重要

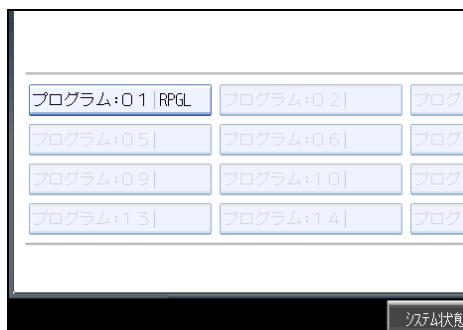
- ・複数のプログラムの中から使用するプログラムを呼び出して印刷する場合、[プリンター初期設定] にある [システム設定] で [エミュレーション検知] の設定が [する] になっていると、意図したプログラムが呼び出されず、意図しない印刷結果になります。[エミュレーション検知] を [しない] にして印刷してください。

1. [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。
2. [呼出] を押します。



[エミュレーション / プログラム呼び出し] 画面が表示されます。

3. 呼び出すプログラムのボタンを押します。



4. [OK] を押します。

プログラムを削除する

操作部で登録したプログラムを消去する方法について説明します。

1. [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2. [登録] を押します。

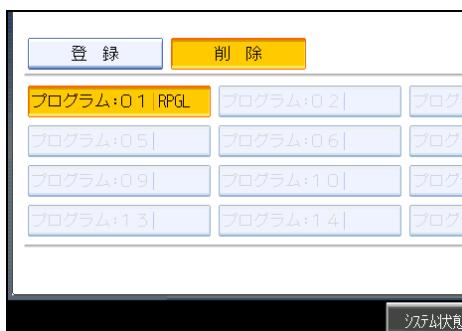


[エミュレーション / プログラム登録 / 削除] 画面が表示されます。

6

3. [削除] を押します。

4. 削除するプログラムを押します。



5. [OK] を押します。

確認の画面が表示されます。

6. [削除する] を押します。

プリンターの初期画面に戻ります。

↓ 補足

- メニュー プロテクトが設定されていると、[登録] を押したときにアクセスコードの入力画面が表示されることがあります。この場合は、アクセスコードをテンキーで入力してください。「メニュー プロテクト」については、『ネットワーク & システム初期設定編』「初期設定を変更する」を参照してください。
- 削除しない場合は、[削除しない] を押します。前の画面に戻ります。

プログラムの内容を印刷する

操作部で登録したプログラムの内容を、印刷して確認できます。

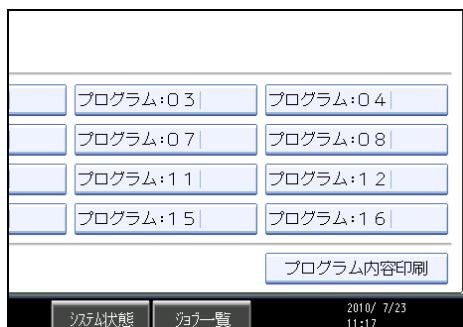
現在呼び出されているプログラムの登録一覧を印刷します。

1. [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。
2. [登録] を押します。



[エミュレーション / プログラム登録 / 削除] 画面が表示されます。

3. [プログラム内容印刷] を押します。



現在呼び出されているプログラムの登録一覧が印刷されます。

4. [取消] を押します。

プリンター画面に戻ります。

給紙トレイを選択する

操作部を使い、給紙トレイを選択できます。

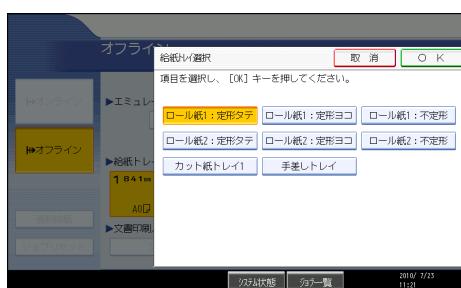
1. [プリンター] キーを押し、プリンター画面に切り替えます。

2. [給紙トレイ選択] を押します。



3. 紙トレイを選択します。

6



4. [OK] を押します。

↓ 補足

- 操作部での給紙トレイの選択は、RTIFF、RPGL を選択しているときに行えます。

7. プリンター初期設定

本機にある [プリンター初期設定] の各種項目について説明します。

初期設定を変更する

本機の運用に沿って、初期設定値や操作の条件を変更します。

補足

- 初期設定値の変更は、通常の機能とは別の機能で操作します。操作後は、通常の画面に戻してください。通常の画面への戻り方は、「初期設定の終了」を参照してください。
- 設定/変更した内容は、設定し直さないかぎり有効です。主電源スイッチを「Off」にしたり、[電源] キー、[リセット] キー、[予熱] キーを押しても取り消されません。

参考

- P.152 「初期設定の終了」

初期設定の変更

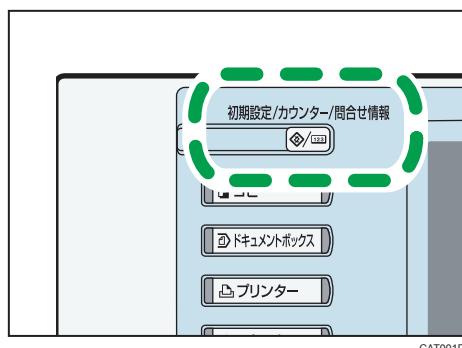
初期設定を変更する方法について説明します。

7

重要

- 管理者認証が設定されているときは、管理者に問い合わせてください。

1. [初期設定/カウンター/問合せ情報] キーを押します。



2. 設定する初期設定を選択します。

プリンター初期設定を変更したいときは、[プリンター初期設定] を押します。

3. 設定する項目を選択します。

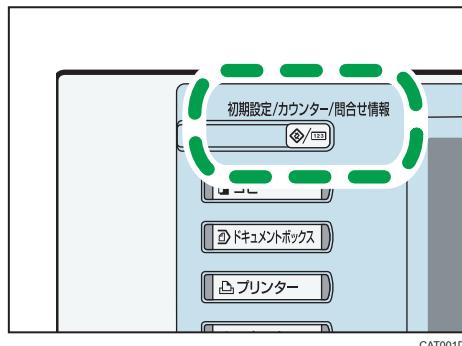
4. 画面のメッセージにしたがって初期設定値を変更し、[設定] を押します。

初期設定値の変更を中止し通常の画面に戻したいときは、[初期設定/カウンター/問合せ情報] キーを押します。

初期設定の終了

初期設定を終了する方法について説明します。

1. [初期設定/カウンター/問合せ情報] キーを押します。



CAT001D

7

↓ 補足

- 初期設定のメニュー画面の [終了] を押しても終了できます。

テスト印刷

[プリンター初期設定] にある [テスト印刷] タブの各種設定について説明します。

システム設定リストを印刷するなど、テスト印刷に関する項目です。

本機の使用環境や印刷に関する設定を変更したとき、またはプログラムを登録したときは、設定状況の一覧表を印刷して確認することをお勧めします。

印字可能なすべての文字やフォントの種類も印刷して確認できます。

一括リスト印刷

システム設定リストとエラー履歴を印刷します。

システム設定リスト

プリンター初期設定の設定値を印刷します。

エラー履歴

印刷時に発生したエラー情報を、エラー履歴として印刷します。オートジョブキャンセルや、パネルからのジョブキャンセル情報も出力されます。

エラー履歴には最新の 30 件が蓄積されます。すでに 30 件蓄積されているときに新たなエラーが加わると、最も古い履歴が消去されます。ただし最も古い履歴が試し印刷、機密印刷、保留印刷、保存印刷の場合は消去されずに蓄積エラー履歴として 30 件別に蓄積されます。

印刷条件リスト

印刷条件の設定値を印刷します。エミュレーションで [RPGL]、[RTIFF] を選択しているときに印刷できます。

メニューリスト

プリンター初期設定のメニュー構成を印刷します。

PS 情報リスト

PostScript の設定情報、および PostScript が使用可能なフォントリストを印刷できます。

エミュレーションで [PS3] を選択しているときに印刷できます。

PDF 情報リスト

PDF の設定情報、および PDF が使用可能なフォントリストを印刷できます。

エミュレーションで [PDF] を選択しているときに印刷できます。

ヘキサダンプ

印刷不良の原因を調べるために、パソコンから送られてきたデータを 16 進数で印刷します。

↓ 補足

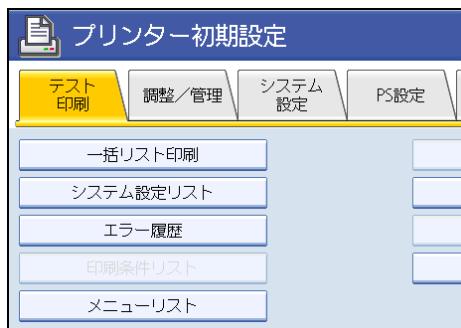
- ・給紙トレイの中から A4 (Letter) サイズの普通紙 / 再生紙がセットされているトレイを自動で選択します。もし、どの給紙トレイにも A4 (Letter) サイズの普通紙 / 再生紙がセットされていないときは、優先給紙トレイを選択します。優先給紙トレイにセットされている用紙サイズが A4 (Letter) サイズより小さいと、端が切れることができます。逆に優先給紙トレイにセットされている用紙サイズが A4 (Letter) サイズより大きいと、余白が大きくなることがあります。
- ・テスト印刷で出力されるシステム設定リスト、エラー履歴、メニューリストは、レイアウトが A4 (および Letter) サイズに固定されます。したがって給紙トレイのいずれかに、A4 (または Letter) サイズの用紙 (普通紙・再生紙) をセットすることをお勧めします。
- ・印刷条件リスト、登録フォームリスト、全文字印刷、フォントリスト、および PDF 情報リストは優先給紙トレイから出力されます。優先給紙トレイに A4 より大きいサイズの用紙がある場合は、それぞれの用紙のサイズに合わせて拡大されて出力されます。

テスト印刷する

7

テスト印刷する方法について説明します。

1. [初期設定/カウンター/問合せ情報] キーを押します。
2. [プリンター初期設定] を押します。
3. [テスト印刷] を押して、印刷する項目を押します。



選択した一覧が印刷されます。

ただし [ヘキサダンプ] を選んだときは、ここでは何も印刷されません。

4. [初期設定/カウンター/問合せ情報] キーを押します。

システム設定リストの見方

システム設定リストの印刷例です。

1 システム構成情報

本機やシステムのバージョン、カウンター情報、プリンターのメモリー容量、取り付けた外部オプションの名称などの情報、およびトナーの消耗状態です。

2 用紙設定

トレイの用紙サイズと紙種が表示されます。用紙サイズは本機の操作部で設定した値です。

「不定形サイズ」と記載されている場合は、フリーサイズに設定されています。

用紙サイズで「B」と記載されている場合は、用紙方向が□に設定されています。

3. システム設定

プリンター初期設定の [システム設定] タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

4. システム設定 (EM)

プリンター初期設定の [システム設定 (EM)] タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

5. 登録プログラム一覧

登録されているプログラムのエミュレーションが表示されます。

6. PS 設定

プリンター初期設定の [PS 設定] タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

7. PDF 設定

プリンター初期設定の [PDF 設定] タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

8. 印字設定

プリンター初期設定の [印字設定] タブにある項目と設定値です。*印が付いている項目は、工場出荷時の設定から変更されています。

9. インターフェース設定

システム初期設定またはプリンター初期設定の、インターフェース設定の項目と設定値です。

10. インターフェース情報

動作モードやプリンター名など、インターフェース設定の情報です。

- [PS 設定] [PDF 設定] の項目は、エミュレーションが追加されたときに表示されます。

調整 / 管理

[プリンター初期設定] にある [調整 / 管理] タブの各種設定について説明します。

メニュー プロテクト

管理者以外のユーザーでも設定を変更できる機能に対して、ユーザーのアクセス権のレベルを設定します。メニュー プロテクトの設定によっては、管理者以外のユーザーが設定できる機能が制限されています。

メニュー プロテクトについての詳細は、管理者に問い合わせてください。

テスト印刷禁止

[する] に設定すると、テスト印刷を禁止します。

テスト印刷の禁止については、管理者に問い合わせてください。

一時置き文書全消去

機密文書、試し文書、保留文書で蓄積されている文書をすべて消去します。

保存文書全消去

蓄積されている保存文書をすべて消去します。

システム設定

[プリンター初期設定] にある [システム設定] タブの各種項目について説明します。

エラーレポート印刷

印刷処理中に、文法エラー、メモリー不足などにより正常に印刷できなかった場合、エラーレポートを印刷するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：しない

エラースキップ

プリンタードライバーから指示した用紙サイズ・紙種の条件に合うトレイがなかった場合のプリンターの動作を設定します。

- しない

ジョブリセットするのか印刷を続けるのかを選択する画面が表示されます。ジョブリセットするときは [ジョブリセット] を押してください。条件に合わなくても印刷するときは、給紙するトレイを選択し、[実行] を押してください。

選択したトレイに用紙がセットされていないときは、用紙が補充されるまで印刷を行いません。

- 即時、1分、5分、10分、15分

設定した時間が経過すると、ジョブはリセットされます。

この設定は、エラーの発生したジョブから本機を解放するための機能です。

工場出荷時の設定：しない

7

画像エラー処理

送信されたデータサイズが大きく、プリンター内部でデータを処理できない場合のプリンターの動作を設定します。

- ジョブリセット

エラーが発生したページでジョブをキャンセルします。キャンセルされたページ以降は印刷されません。

- エラーシート印刷

エラーが発生したページは、エラーが発生した個所まで印刷されます。エラーが発生したページ以降は通常どおり印刷され、最後にエラーシートが印刷されます。

ただし電子ソートの指示は解除されます。

工場出荷時の設定：ジョブリセット

エラー表示設定

プリンター内部でのデータ処理中に発生したエラーをディスプレイに表示するかしないかを設定します。

- 簡易表示
- すべて表示

工場出荷時の設定：すべて表示

180 度回転

用紙の向きに対して、画像の向きを 180 度回転して印刷するかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：しない

一時置き文書自動消去設定

試し印刷文書、機密印刷文書、保留印刷文書など、本機に一時的に蓄積されている文書データを、蓄積後に自動で消去するかしないかを設定します。

- する
- 自動消去する時間を 1~200 時間（1 時間単位）の範囲でテンキーで入力します。
- 〔する〕を選択したときの工場出荷時の設定は、「8 時間」に設定されています。
- しない

工場出荷時の設定：しない

保存文書自動消去設定

保存文書を、蓄積後に自動で消去するかしないかを設定します。

- する
- 自動消去する時間を 1~180 日（1 日単位）の範囲でテンキーで入力します。
- 〔する〕を選択したときの工場出荷時の設定は、「3 日」に設定されています。
- しない

工場出荷時の設定：する

文書印刷初期画面

プリンター画面の【文書印刷】を押したときに表示される画面を設定します。

- 文書リスト
- 蓄積されている文書の一覧が表示されます。
- ユーザー ID 選択

本機に文書を蓄積したユーザーの ID 一覧が表示されます。

工場出荷時の設定：文書リスト

エミュレーション検知

プリンターに送られたデータを自動的に判断して、エミュレーションを決定できます。

対象となるのは RP-GL/GL2、RTIFF、PS3、PDF です。それ以外のエミュレーションは、優先エミュレーション / プログラムで設定されているエミュレーションになります。

- する
- しない

工場出荷時の設定：する

[エミュレーション検知] を [する] に設定しても、エミュレーション切り替えコマンドを受信した場合は、エミュレーション切り替えコマンドが優先されます。[する] のときの各エミュレーションの動作については、各エミュレーションの使用説明書を参照してください。

転送されたデータの種類によっては、正しいエミュレーションに切り替わらない場合があります。

連続してデータを送信する場合、[エミュレーション検知] が機能しないことがあります。その場合はデータを送信する間隔をあけてください。

複数のプログラムの中から使用するプログラムを呼び出して印刷する場合、印刷時に意図したプログラムが起動しない時は、[プリンター初期設定] にある [システム設定] で [エミュレーション検知] の設定を [しない] に設定してください。

7

圧縮データの解凍印刷

圧縮データの解凍印刷をするかしないかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：しない

優先エミュレーション / プログラム

主電源スイッチを「On」にしたときに自動的に呼び出されるエミュレーションまたは登録されているプログラムを設定します。

- RPCS
- RPGL
- RTIFF
- PS3
- PDF
- プログラム 01~16

工場出荷時の設定：RPCS

「プログラム 01」～「プログラム 16」に設定すると、その数字と同じ登録番号のプログラムが呼び出されてプリンターが起動します。プログラムは本機の操作部で設定した印刷条件を登録したものです。プログラム登録は MS-DOS または UNIX で印刷するときに使用します。

優先メモリー

優先的に使用するメモリー内容を設定します。

印刷する用紙サイズ、解像度、エミュレーションなどによって選択してください。

- ユーザーメモリー

外字やフォントなどのデータを登録するためにメモリーが優先的に使用されます。

- ページメモリー

印刷の高速化のためにフレームメモリーとして使用されます。

工場出荷時の設定：ページメモリー

印刷枚数

PS3 カードが装着されているときのメニュー項目です。印刷枚数を設定します。

プリンタードライバーで印刷部数を指定した場合は、プリンタードライバーの設定が有効になります。

「1～999」（1 枚単位）の範囲で枚数をテンキーで入力します。

工場出荷時の設定：1 枚

予約印刷明け渡し時間設定

プリンターのページ作成が間に合わず印刷待ちとなった場合、コピー機能やスキャナー機能など他の機能に印刷権をいったん明け渡しますが、明け渡しを行うまでの時間を設定できます。

- 長
- 中
- 短
- 明け渡ししない

工場出荷時の設定：短

補助用紙サイズ

A4 と Letter (8¹/₂×11) の切り替えをするかしないかを設定します。

- 自動
- 使用しない

工場出荷時の設定：使用しない

トレイ設定選択

プリンタードライバーまたはコマンドからの設定か、本機の操作部での設定、どちらを優先させるかトレイごとに指定できます。装着しているトレイのみを表示します。

- 手差しトレイ

- ドライバー / コマンド優先
- 機器側設定優先

工場出荷時の設定：ドライバー / コマンド優先

- トレイ 2

- ドライバー / コマンド優先
- 機器側設定優先

工場出荷時の設定：機器側設定優先

- トレイ 3

- ドライバー / コマンド優先
- 機器側設定優先

工場出荷時の設定：機器側設定優先

トレイ指定時動作切り替え

7

PS3 カードが装着されているときのメニュー項目です。プリンタードライバーから給紙トレイを指定して用紙サイズ・用紙種類を指示した際に、指定した給紙トレイに指示した条件の用紙がなかった場合、自動用紙選択をするかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：しない

拡張リミットレス給紙

自動用紙選択ではなく、給紙トレイ指定時でもリミットレス給紙をするように設定します。

- する
- [する] を選択したときは、プリンタードライバーや印刷条件の「リミットレス給紙」の設定に関係なく、リミットレス給紙機能が有効になります。
- しない

工場出荷時の設定：しない

システム設定 (EM)

[プリンター初期設定] にある [システム設定 (EM)] タブの各種項目について説明します。

[システム設定 (EM)] は、エミュレーションで RPGL、RTIFF を選択しているときに表示されます。

白紙排紙

排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態である場合に、排紙するかしないかを設定します。

排紙コマンドを受信したときの動作と設定値との関係は、次のとおりです。

- する

白紙でも排紙します。

- スペース

排紙コマンドの前にスペースコード (20H、A0H、8140H) があるときは排紙します。それ以外のコードがあるときは排紙しません。

- しない

白紙を排紙しません。

工場出荷時の設定：しない

7

自動排紙時間

一定時間、パソコンからデータが送信されてこない場合、プリンター内に残ったデータを強制的に印刷するかしないかを設定します。

たとえば、改ページコードがなく [強制排紙] を押さないと印刷されないようなデータが自動的に印刷されるように設定できます。自動的に印刷する場合は、データが何秒間送信されてこなからたら印刷するかを設定します。

たとえば「10秒」に設定すると、10秒間データが送信されてこなからたら強制的に印刷します。設定時間が経過すると自動的に排紙されるので、同一ページ内のデータであっても、設定時間を超えて送信されてきたデータは、次のページに印刷されます。(1ページのデータを2枚以上に印刷します。) したがって、適切な時間を設定する必要があります。

- 自動排紙しない
- 10秒、15秒、20秒、25秒、60秒、300秒

工場出荷時の設定：自動排紙しない

不定形サイズ設定：トレイ1

トレイ1の不定形サイズを設定します。

- ヨコ：210～914mm
- タテ：280～15000mm

不定形サイズ設定：トレイ 2

トレイ 2 の不定形サイズを設定します。

- ・ヨコ：210～914mm
- ・タテ：280～15000mm

水平補正初期値

以下の数値で設定します。

- ・99.00%～101.00% (0.01%ごと)

工場出荷時の設定：100.00%

エミュレーションの RP-GL/GL2 が搭載されているときのみ設定できます。

垂直補正初期値

以下の数値で設定します。

- ・99.00%～101.00% (0.01%ごと)

工場出荷時の設定：100.00%

エミュレーションの RP-GL/GL2 が搭載されているときのみ設定できます。

PS 設定

[プリンター初期設定] にある [PS 設定] タブの各種項目について説明します。

[PS 設定] は、エミュレーションで PS3 を選択しているときに表示されます。PS3 カードが必要です。

ジョブタイムアウト

ジョブが中断した場合に、現在のジョブを中止するまでの本機の待機時間を設定します（秒単位）。

- ドライバー / コマンド優先

プリンタードライバーまたはコマンドによるジョブタイムアウトの設定が、本機の操作部による設定より優先されます。

- 機器側設定優先

本機の操作部によるジョブタイムアウトの設定が、プリンタードライバーまたはコマンドによる設定より優先されます。

[機器側設定優先] を選択したときは、0~999 秒の範囲でテンキーで入力します。

工場出荷時は「0」に設定されています。

工場出荷時の設定：ドライバー / コマンド優先

ウェイットタイムアウト

本機がジョブ終了を検知できない場合に、ジョブ受信を中止するまでの本機の待機時間を設定します。

- ドライバー / コマンド優先

プリンタードライバーまたはコマンドによるウェイットタイムアウトの設定が、本機の操作部による設定より優先されます。

- 機器側設定優先

本機の操作部によるウェイットタイムアウトの設定が、プリンタードライバーまたはコマンドによる設定より優先されます。

[機器側設定優先] を選択したときは、0~999 秒の範囲でテンキーで入力します。

工場出荷時は「300」に設定されています。

工場出荷時の設定：ドライバー / コマンド優先

白紙排紙

排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態である場合に、排紙するかしないかを設定します。

排紙コマンドを受信したときの動作と設定値との関係は、次のとおりです。

- する

白紙でも排紙します。

- しない

白紙を排紙しません。

工場出荷時の設定：する

データ形式

データ形式を設定します。

- バイナリーデータ
- TBCP

工場出荷時の設定：バイナリーデータ

この設定は、パラレル接続以外の場合に有効です。

パラレル接続で、プリンタードライバーからバイナリーデータを送ると印刷ジョブがキャンセルされます。

解像度

解像度を設定します。

- 300dpi
- 600dpi

工場出荷時の設定：600dpi

7

最大領域印刷

用紙サイズ最大可能領域に印刷するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：しない

印刷方向自動検知

データの印刷方向を自動検知するかしないかを設定できます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：する

PDF 設定

[プリンター初期設定] にある [PDF 設定] タブの各種項目について説明します。

[PDF 設定] は、エミュレーションで PDF を選択しているときに表示されます。PS3 カードが必要です。

PDF パスワード変更

印刷する PDF ファイルに設定されたパスワードを本機に設定したり、変更したりします。

白紙排紙

排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態である場合に、排紙するかしないかを設定します。

排紙コマンドを受信したときの動作と設定値との関係は、次のとおりです。

- する
白紙でも排紙します。
- しない
白紙を排紙しません。

工場出荷時の設定：する

最終ページから印刷

最終ページから印刷するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：しない

解像度

解像度を設定します。

- 300dpi
- 600dpi

工場出荷時の設定：600dpi

最大領域印刷

用紙サイズ最大可能領域に印刷するかどうかを設定します。

- する
- しない

工場出荷時の設定：しない

印刷方向自動検知

データの印刷方向を自動検知するかしないかを設定できます。

- する
- しない

工場出荷時の設定：する

インターフェース設定

[プリンター初期設定] にある [インターフェース設定] タブの各種項目について説明します。

受信バッファ

受信バッファのメモリーサイズを設定します。通常は変更する必要はありません。

- 128KB
- 256KB

工場出荷時の設定：128KB

インターフェース切替時間

パラレルインターフェース、または USB2.0インターフェースで、データの送信が終了してから、そのインターフェースを有効にしておく時間を設定します。ここで設定した時間を超えると、他のインターフェースからのデータの受信が可能になります。

- 10 秒
- 15 秒
- 20 秒
- 25 秒
- 60 秒

工場出荷時の設定：15 秒

設定時間が短すぎると、データの送信中にタイムアウトすることがあります。その結果、他のインターフェースからのデータが割り込んで印刷されたり、データの途中からエミュレーション検知が働いて、違うエミュレーションに切り替わったりします。

印字設定

[プリンター初期設定] にある [印字設定] タブの各種項目について説明します。

On / Off 設定

[機密管理ナンバリング]、[スタンプ印字]、[ユーザースタンプ印字]、[日付印字] のスタンプ印字をするか、それぞれ設定します。

- ON
- OFF

工場出荷時の設定：すべて OFF

機密管理ナンバリング

機密文書にナンバーの地紋を付けて印刷します。印字を開始する番号を 1~999 の範囲で指定できます。

工場出荷時の設定：1

スタンプ印字

あらかじめ登録されているスタンプを印字します。印字するスタンプの種類、位置、ページを設定します。

- 7
- 印字種類
 - マル秘
 - 回収
 - 複製厳禁
 - 至急
 - マル仮
 - 回覧
 - CONFIDENTIAL
 - DRAFT

工場出荷時の設定：マル秘

- 印字位置
 - 左上
 - 中央上
 - 右上
 - 中央左
 - 中央
 - 中央右
 - 左下

- 中央下
- 右下

工場出荷時の設定：左上

- 印字ページ
 - 全ページ
 - 先頭ページのみ

工場出荷時の設定：全ページ

ユーザースタンプ印字

よく使用する文字やマークを登録しておき、スタンプのように印字します。ユーザースタンプは40種類まで登録でき、印字するユーザースタンプの種類、位置、ページを設定します。

- 印字種類
 - スタンプ1～40

工場出荷時の設定：1

- 印字位置
 - 左上
 - 中央上
 - 右上
 - 中央左
 - 中央
 - 中央右
 - 左下
 - 中央下
 - 右下

工場出荷時の設定：左上

- 印字ページ
 - 全ページ
 - 先頭ページのみ

工場出荷時の設定：全ページ

ユーザースタンプの登録が必要です。ユーザースタンプの登録については、『コピー機能&ドキュメントボックス機能編』「ユーザースタンプ印字」を参照してください。

日付印字

印字する日付の印字書式、位置、ページを設定します。時計設定で設定されている日時が印字されます。

- 印字書式

- YYYY.MM.DD
- YYYY 年 MM 月 DD 日
- DD.MMM (アルファベット省略形) .YYYY
- MM/DD/YYYY
- MM.DD.YYYY
- DD/MM/YYYY
- DD.MM.YYYY

工場出荷時の設定 : YYYY.MM.DD

- 印字位置

- 左上
- 中央上
- 右上
- 左下
- 中央下
- 右下

工場出荷時の設定 : 左上

- 印字ページ

- 全ページ
- 先頭ページのみ

工場出荷時の設定 : 全ページ

8. 付録

プリンターやオプションの仕様、リサイクル部品、お問い合わせ先、商標について説明します。

仕様

プリンターやオプションの仕様一覧を示します。

項目	仕様
形式	内蔵型
プリントサイズ	<ul style="list-style-type: none">定形： 最大 A0口 (841.0×1189.0 mm)不定形： 最大 914.4×2000.0 mm (手差しトレイ) 最大 914.4×15000.0 mm (ロール紙トレイ)
連続プリント速度 (毎分/600dpi)	<ul style="list-style-type: none">A0 MODEL WG4 2.4 枚/分 A0口 4.4 枚/分 A1口A0 MODEL WG5 3.4 枚/分 A0口 6.4 枚/分 A1口
解像度	200dpi/300dpi/400dpi/ 600dpi
ページ記述言語	<ul style="list-style-type: none">標準: RPCSオプション: Adobe PostScript 3
エミュレーション	<ul style="list-style-type: none">標準: RTIFF、RP-GL/GL2オプション: PDF Direct
インターフェース	<ul style="list-style-type: none">標準: イーサネット (100BASE-TX、10BASE-T) USB2.0オプション: ギガビットイーサネット (1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T) IEEE1284 準拠双方向パラレル IEEE 802.11a/b/g (無線 LAN)
対応プロトコル	<ul style="list-style-type: none">標準: TCP/IP (IPv4、IPv6)、LPR、RSH、RCP、DIPRINT、 FTP、IPP、IPX/SPX (NetWare)、SMB、IPP-SSL、 WSD (Printer)

項目	仕様
USB インターフェース (標準)	<ul style="list-style-type: none"> 対応 OS: Windows 2000/XP/Vista/7, Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2, Mac OS X 10.3.3 以降 通信方式: USB2.0 規格に対応 接続方式: USB2.0 規格に対応したデバイス
対応 OS	<ul style="list-style-type: none"> 標準: Windows 2000/XP/Vista/7, Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 オプション: Mac OS X 10.2 以上
内蔵フォント	<ul style="list-style-type: none"> 標準: 明朝 L、ゴシック B、明朝 L プロポーション、ゴシック B プロポーション、Courier10、Prestige Elite12、Letter Gothic15、BoldFace PS、Courier4 書体、Arial4 書体、TimesNewRoman4 書体、Wingdings、Century、Symbol、OCR-B、漢字ストローク オプション: 平成明朝 W3、平成角ゴシック W5、PS 欧文 136 書体
バーコード	2of5 (Industrial)、2of5 (ITF)、2of5 (Matrix)、CODE128 (B)、CODE39、UCC/EAN128、CUSTOMER、JAN (短縮)、JAN (標準)、NW-7、UPC (A)、UPC (E)
変倍率	25%～400% (RPCS 時)

 **補足**

- Macintosh では本機標準の USB ポートのみ対応しています。Mac OS X 10.3.3 以降のサポート速度は USB2.0 相当です。

リサイクル部品について

本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

商標

ドキュメントボックス、RPCS、RP-GL/2、RTIFF、RPDL は、株式会社リコーの商標または登録商標です。

Adobe、Acrobat、Acrobat Reader、Adobe Reader、PostScript は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

Macintosh、Mac OS、TrueType は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

Microsoft®、Windows®、MS-DOS®、Windows Server®、Windows Vista®は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Monotype は、Monotype Imaging Inc.の登録商標です。

NetWare、IPX、IPX/SPX は米国 Novell, Inc.の登録商標、または商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国々における登録商標です。

- MS-DOS の製品名は、Microsoft® MS-DOS®です。
- Windows 2000 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 2000 Professional

Microsoft® Windows® 2000 Server

Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server

- Windows XP の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® XP Professional Edition

Microsoft® Windows® XP Home Edition

Microsoft® Windows® XP Media Center Edition

Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition

- Windows Vista の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Vista® Ultimate

Microsoft® Windows Vista® Business

Microsoft® Windows Vista® Home Premium

Microsoft® Windows Vista® Home Basic

Microsoft® Windows Vista® Enterprise

- Windows 7 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 7 Home Premium

Microsoft® Windows® 7 Professional

Microsoft® Windows® 7 Ultimate

Microsoft® Windows® 7 Enterprise

- Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition
Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition
- Windows Server 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition
Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition
- Windows Server 2008 の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise
- Windows Server 2008 R2 の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise

他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

索引

記号・数字

180 度回転 158

アルファベット

IPP ポート 21, 30
LPR ポート 23
Macintosh 135
NetWare (プリントサーバー) 37
NetWare (リモートプリンター) 37
Network Monitor for Client ポート 28
Network Monitor for Client ポート (設定変更) 33
On / Off 設定 170
PDF 情報リスト 153
PDF 設定 155, 167
PDF ダイレクトプリント (コマンド) 123
PDF パスワード設定 123
PDF パスワード変更 167
PDF ファイル送信 (コマンド) 123
PostScript 39
PostScript 3 プリンタードライバー (Mac OS X) 135
PostScript 3 プリンタードライバー (Windows OS) 131
PostScript 3 編 6
PS 情報リスト 153
PS 設定 155, 165
RP-GL/2 編 6
RPCS プリンタードライバー 127
RTIFF 編 6
Standard TCP/IP ポート 19
TCP/IP ポート 28
UNIX コマンド 123
USB 接続 41
USB 接続 (Windows 2000) 41
USB 接続 (Windows 7) 43
USB 接続 (Windows Server 2003/2003 R2) 41
USB 接続 (Windows Server 2008) 41
USB 接続 (Windows Vista) 41
USB 接続 (Windows XP) 41
Windows ネットワークプリンター 35
Windows の印刷ポート 13

WSD ポート 25

あ

圧縮データの解凍印刷 158
一時置き文書自動消去設定 158
一時置き文書全消去 157
一括リスト印刷 153
印刷準備 13
印刷条件 141
印刷条件 (エミュレーション切替) 142
印刷条件 (設定方法) 143
印刷条件 (登録方法) 146
印刷条件の設定 143
印刷条件 (プログラム削除) 148
印刷条件 (プログラム登録) 146
印刷条件 (プログラム内容印刷) 149
印刷条件 (プログラム呼出) 147
印刷条件リスト 153
印刷条件リスト (印刷) 144
印刷設定を表示する 51, 52
印刷中止 120
印刷中止 (印刷開始前) 121
印刷中止 (印刷途中) 120
印刷範囲 63
印刷枚数 158
印字設定 155
インターフェース切替時間 169
インターフェース情報 155
インターフェース設定 155, 169
ウェイトタイムアウト 165
エミュレーション切替 89
エミュレーション検知 158
エラースキップ 158
エラー表示設定 158
エラー履歴 122, 153
エラーレポート印刷 158
おことわり 8
おすすめインストール 17
オプション 9
オプションの設定 47

か

解像度 165, 167
拡大連写 81

拡張リミットレス給紙	158	双方向通信	47
画像エラー処理	158	ソート	83
カット紙トレイ	60	た	
簡単画面	11	正しくお使いいただくために	9
機能別ウィンドウ	49	試し印刷	96
基本的な印刷	64	試し印刷（文書消去）	99
機密印刷	99	蓄積文書	139
機密印刷（操作部からの印刷指示）	101	調整 / 管理	157
機密印刷（文書消去）	103	通常画面	10
機密管理ナンバリング	74, 170	データ形式	165
給紙トレイ	150	手差しトレイ	53, 58
クイックガイド	6	手差しトレイ（定形サイズ用紙）	54
この本の読みかた	9	手差しトレイ（不定形サイズ用紙）	56
コピー機能＆ドキュメントボックス機能編	6	テスト印刷	153
さ		テスト印刷禁止	157
最終ページから印刷	167	テスト印刷する	154
最大領域印刷	165, 167	登録プログラム一覧	155
システム構成情報	155	ドキュメントボックス	125
システム設定	155, 158	トラブル解決編	6
システム設定（EM）	155, 163	トレイ指定時動作切り替え	158
システム設定リスト	155	トレイ設定選択	158
システム設定リスト	153	トレーシングペーパー	58
自動排紙時間	163	な	
集約印刷	66	ネットワーク & システム初期設定編	6
集約印刷の種類	67	ネットワーク接続	13
受信バッファ	169	ネットワークプリンター	14
仕様	173	は	
使用説明書	6	白紙排紙	163, 165, 167
商標	176	はじめに	8
初期設定	151	パラレル接続	45
ジョブ一覧機能	115	日付印字	74, 76, 170
ジョブタイムアウト	165	フィルム	58
垂直補正初期値	163	複製、印刷が禁止されているもの	8
水平補正初期値	163	不定形サイズ設定：トレイ 1	163
スキャナー機能編	6	不定形サイズ設定：トレイ 2	163
スタンプ印字	70, 170	不定形サイズのセット	60
スプール印刷	84	プリンター機能編	6
セキュリティ一編	6	プリンタードライバー（インストール）	16
接続方法	13	プリンタードライバー画面	49
選択文書印刷	111	プリンタードライバー設定画面	50
全文書印刷	112		
操作部の画面	10		

プリンタードライバー（ダウンロード）	16	予約順印刷	115
プリンタードライバーのインストール	19		
プリンタードライバーのタブの概要	80	リサイクル部品について	175
		リモートプリンター	14
プリンタードライバーを使った印刷	64, 80	ローカル接続	15
		ロール紙トレイ	60
プリントサーバー	14		
プロパティを表示する	50		
分割印刷	81		
文書一覧画面	91	ワンクリック設定	49, 78
文書一覧画面（文書印刷）	96		
文書印刷機能	91		
文書印刷初期画面	91, 158		
分類コード	86		
分類コードの設定	87		
分類コードの入力	87		
ヘキサダンプ	153		
補助用紙サイズ	158		
保存文書	106		
保存文書自動消去設定	158		
保存文書全消去	157		
保存文書（操作部からの印刷指示）	107		
保存文書（文書消去）	109		
保留文書	103		
保留文書（操作部からの印刷指示）	104		
保留文書（文書消去）	106		
本機をお使いになる方へ	6		
本書についてのご注意	9		
ま			
マークについて	9		
メニュープロテクト	157		
メニューリスト	153		
や			
ユーザー ID 一覧画面	91		
ユーザー ID 一覧（文書印刷）	111		
ユーザースタンプ印字	70, 72, 170		
優先エミュレーション / プログラム	158		
優先メモリー	158		
用紙種類の選択	66		
用紙設定	155		
用紙の設定	47		
用紙のセット	60		
予約印刷明け渡し時間設定	158		

MEMO

MEMO

MEMO

使用説明書 <プリンター機能編>

